

学内広報

for communication across the UT



2008年(第58回)学生生活実態調査の結果

2009.12.4

No. 1393

目 次

| | | | |
|--------------------|----|--------------------------------|----|
| 調査の概要…………… | 2 | 第2部 学生生活の背景 | |
| 報告について…………… | 2 | 1 家庭の状況…………… | 19 |
| 第1部 学生生活の評価と将来の選択 | | 2 生活費の状況…………… | 21 |
| 1 入学・進学・学業…………… | 5 | 3 通学・住居…………… | 22 |
| 2 就職…………… | 11 | 4 奨学金…………… | 24 |
| 3 不安・悩み…………… | 13 | 5 アルバイト…………… | 25 |
| 4 大学への要望…………… | 15 | 6 サークル活動…………… | 26 |
| 5 特殊分析（不安・悩み）…………… | 17 | 具体的記述…………… | 28 |
| | | 資料1（第58回（2008年）学生生活実態調査票）…………… | 52 |

調査の概要

1. 調査票の作成

2008年（平成20年）5月から10月にかけて、学生生活委員会学生生活調査室で調査内容の企画立案を行った。

2. 調査の期間

2008年（平成20年）11月下旬～12月下旬。

3. 調査の対象及び抽出率

学部男子・女子学生。学部・科類別無作為抽出法で、在籍者数の1/4を抽出。

4. 調査の方法

郵送調査で行い、対象者自身が記入する（自記式）方法。

5. 調査の内容

I. 基本的事項、II. 入学・進学・学業、III. 就職、IV. 不安・悩み、V. 大学への要望、VI. 家庭の状況、VII. 生活費の状況、VIII. 通学・住居、IX. 奨学金、X. アルバイト、XI. サークル活動、XII. 具体的記述

報告について

1. 今回は、2007年（第57回）と同様に、学部男子・女子学生を対象として学生生活実態調査を行った。集計結果の分析に当たっては、学部学科間・年度間・男女間などの相違に注目し、特異な数値傾向の把握に努めた。
2. 学内広報掲載の報告については、資料2の集計表を省略した。集計表については、ホームページ掲載の報告を参照されたい。
3. 具体的記述については、記入したもののおよそ半数を掲載した。明らかに誤記と思われるものを除き、原文を尊重した。
4. 本文中の「ポイント」は、総数の百分率（パーセント）を表す。

グラフと表について

1. 今回、本文に掲載した経年変化のグラフと表については、1973年調査にまでさかのぼって取り上げた項目がいくつかあり、「表1」に1973年以降の調査の実施状況を表示した。
2. 本文中に掲げたグラフについては、それぞれの年の比較を見やすくするため「無回答」及び「その他の分類」の項目について若干の数値を省略したものがある。そのため、合計が100%に満たないものもある。また、個々の数値を四捨五入しているため、合計が100%に満たないものと100%を超えるものがある。
3. 1984年調査で抜本改正を行なった家計支持者の職業分類については、2002年調査に引き続き三重クロス集計（「職業」×「勤務先の規模」×「雇用形態」）の一元化を作成した。資料2「集計表V-5表」125ページを参照されたい。

表1 学生生活実態調査実施状況一覧表

| 回数 | 調査年月 | 対象学生 | 抽出率 | 対象者数 | 回収率 | 調査方法 |
|------|----------|---------|---|-------------------|----------------------|-------|
| 第23回 | 1973年12月 | 学部男子・女子 | 男子 1 / 15 女子 1 / 2 | 794 340 | 76.2 75.0 | 郵送自記式 |
| 第24回 | 1974年11月 | 学部男子 | 1 / 5 ~ 1 / 15 | 1,004 | 67.8 | 〃 |
| 第25回 | 1975年11月 | 学部男子 | 1 / 5 ~ 1 / 15 | 1,041 | 75.3 | 〃 |
| 第26回 | 1976年11月 | 学部男子 | 1 / 5 ~ 1 / 15 | 1,063 | 75.5 | 〃 |
| 第27回 | 1977年11月 | 学部女子 | 全数 | 811 | 75.8 | 〃 |
| 第28回 | 1978年12月 | 大学院学生 | 男子 1 / 4 女子 全数 | 862 315 | 66.1 66.3 | 〃 |
| 第29回 | 1979年11月 | 学部男子 | 1 / 5 ~ 1 / 15 | 1,069 | 78.6 | 〃 |
| 第30回 | 1980年11月 | 学部男子 | 1 / 5 ~ 1 / 15 | 1,064 | 73.8 | 〃 |
| 第31回 | 1981年11月 | 学部男子 | 1 / 5 ~ 1 / 15 | 1,031 | 74.2 | 〃 |
| 第32回 | 1982年11月 | 学部女子 | 全数 | 910 | 77.6 | 〃 |
| 第33回 | 1983年11月 | 学部男子 | 1 / 5 ~ 1 / 15 | 1,008 | 75.0 | 〃 |
| 第34回 | 1984年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 10 | 1,380 | 76.1 | 〃 |
| 第35回 | 1985年11月 | 大学院学生 | 男子 1 / 2 ~ 1 / 4 女子 1 / 2 OM・OD 1 / 2 | 968 165 249 | 69.8 67.9 51.4 | 〃 |
| 第36回 | 1986年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 10 | 1,385 | 72.6 | 〃 |
| 第37回 | 1987年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 10 | 1,432 | 73.9 | 〃 |
| 第38回 | 1988年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 10 | 1,459 | 70.9 | 〃 |
| 第39回 | 1989年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 10 | 1,480 | 78.5 | 〃 |
| 第40回 | 1990年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 10 | 1,504 | 63.1 | 〃 |
| 第41回 | 1991年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 10 | 1,530 | 62.2 | 〃 |
| 第42回 | 1992年11月 | 大学院学生 | 男子 1 / 2 ~ 1 / 6 女子 1 / 2 | 1,496 | 59.8 | 〃 |
| 第43回 | 1993年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 10 | 1,593 | 64.8 | 〃 |
| 第44回 | 1994年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 8 | 2,005 | 60.6 | 〃 |
| 第45回 | 1995年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 8 | 2,011 | 64.0 | 〃 |
| 第46回 | 1996年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 8 | 2,004 | 60.9 | 〃 |
| 第47回 | 1997年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 8 | 1,990 | 60.2 | 〃 |
| 第48回 | 1998年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 8 | 1,964 | 60.3 | 〃 |
| 第49回 | 1999年11月 | 大学院学生 | 男・女 1 / 4 OM・OD 1 / 4 | 2,099 | 49.5 | 〃 |
| 第50回 | 2000年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 8 | 1,917 | 54.4 | 〃 |
| 第51回 | 2001年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 8 | 1,900 | 49.6 | 〃 |
| 第52回 | 2002年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 4 | 3,749 | 37.2 | 〃 |
| 第53回 | 2003年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 4 | 3,700 | 40.6 | 〃 |
| 第54回 | 2004年11月 | 大学院学生 | 男・女 1 / 4 | 2,539 | 40.6 | 〃 |
| 第55回 | 2005年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 4 | 3,534 | 38.7 | 〃 |
| 第56回 | 2006年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 4 | 3,455 | 32.8 | 〃 |
| 第57回 | 2007年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 4 | 3,406 | 43.0 | 〃 |
| 第58回 | 2008年11月 | 学部男子・女子 | 男・女 1 / 4 | 3,506 | 45.2 | 〃 |

(注) 「休学者」「外国人留学生」は、対象学生から除かれている。1992年調査は「外国人留学生」を含む。

表2 2008年(第58回)学生生活実態調査回収状況一覽

| 学 部 | 男 子 | | | 女 子 | | | 全 体 | | |
|--------------------|-------|-------|------|------|-----|------|-------|-------|------|
| | 対象者数 | 回収数 | 回収率 | 対象者数 | 回収数 | 回収率 | 対象者数 | 回収数 | 回収率 |
| 教養学部(前期) | 1439 | 663 | 46.1 | 313 | 178 | 56.9 | 1752 | 841 | 48.0 |
| 文科小計 | 535 | 244 | 45.6 | 180 | 98 | 54.4 | 715 | 342 | 47.8 |
| 文科一類 | 195 | 105 | 53.8 | 41 | 20 | 48.8 | 236 | 125 | 53.0 |
| 文科二類 | 180 | 76 | 42.2 | 30 | 22 | 73.3 | 210 | 98 | 46.7 |
| 文科三類 | 160 | 63 | 39.4 | 109 | 56 | 51.4 | 269 | 119 | 44.2 |
| 理科小計 | 904 | 419 | 46.3 | 133 | 80 | 60.2 | 1037 | 499 | 48.1 |
| 理科一類 | 615 | 290 | 47.2 | 54 | 32 | 59.3 | 669 | 322 | 48.1 |
| 理科二類 | 245 | 109 | 44.5 | 74 | 46 | 62.2 | 319 | 155 | 48.6 |
| 理科三類 | 44 | 20 | 45.5 | 5 | 2 | 40.0 | 49 | 22 | 44.9 |
| 法 学 部 | 195 | 89 | 45.6 | 74 | 39 | 52.7 | 269 | 128 | 47.6 |
| 経 済 学 部 | 84 | 33 | 39.3 | 18 | 12 | 66.7 | 102 | 45 | 44.1 |
| 文 学 部 | 125 | 41 | 32.8 | 74 | 45 | 60.8 | 199 | 86 | 43.2 |
| 教 育 学 部 | 39 | 18 | 46.2 | 18 | 8 | 44.4 | 57 | 26 | 45.6 |
| 理 学 部 | 149 | 68 | 45.6 | 21 | 12 | 57.1 | 170 | 80 | 47.1 |
| 工 学 部 | 476 | 181 | 38.0 | 40 | 20 | 50.0 | 516 | 201 | 39.0 |
| 農 学 部 | 124 | 41 | 33.1 | 50 | 23 | 46.0 | 174 | 64 | 36.8 |
| 薬 学 部 | 33 | 17 | 51.5 | 12 | 7 | 58.3 | 45 | 24 | 53.3 |
| 医 学 部 | 95 | 37 | 38.9 | 29 | 15 | 51.7 | 124 | 52 | 41.9 |
| 教養学部(後期) | 67 | 22 | 32.8 | 31 | 16 | 51.6 | 98 | 38 | 38.8 |
| 合 計 | 2,826 | 1,210 | 42.8 | 680 | 375 | 55.1 | 3,506 | 1,585 | 45.2 |
| 2007年(第57回) 調 査 | 2,757 | 1,125 | 40.8 | 649 | 343 | 52.9 | 3,406 | 1,468 | 43.0 |

第1部 学生生活の評価と将来の選択

1-1. 入学・進学・学業

1-1-1. 入学について

入学の希望は「東大にどうしても入りたかった」58.4%
入学の動機は「社会的評価が高いから」51.4%
入学時に進学希望学部を決めていたのは57.2%

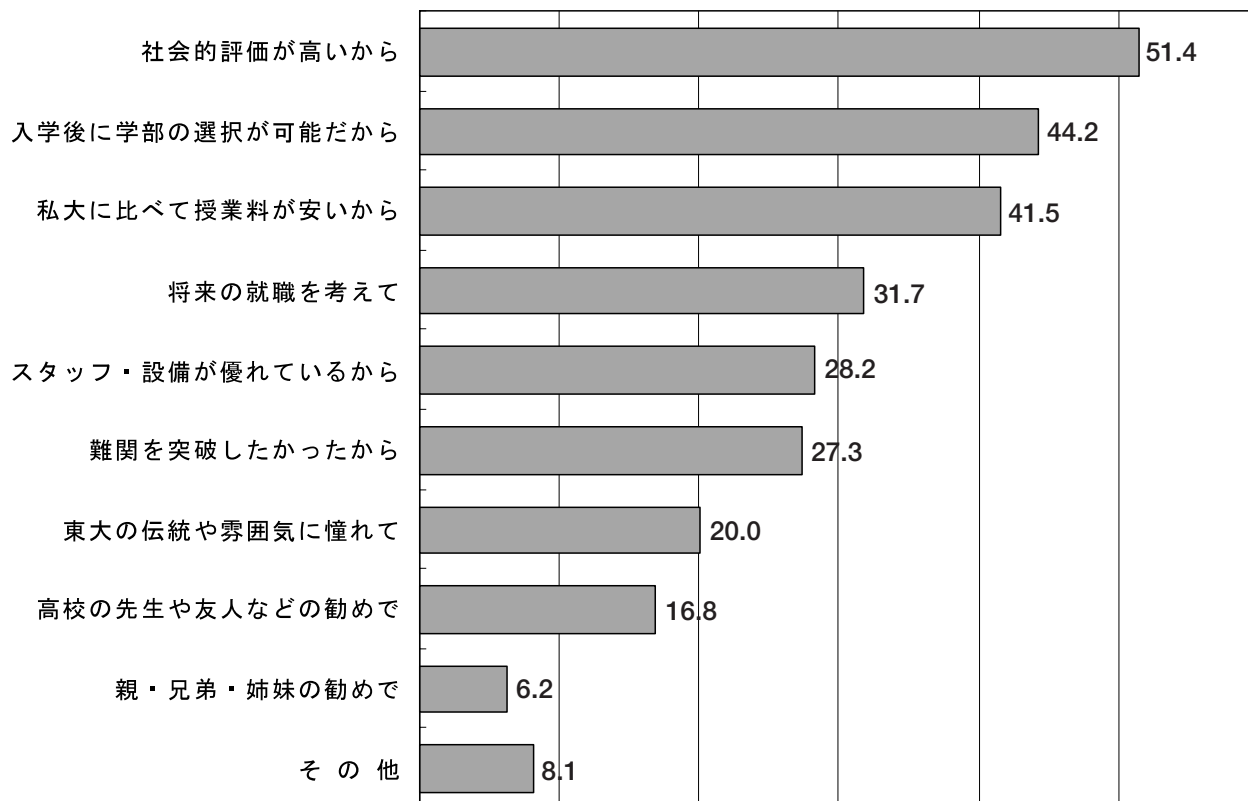
「東大に入学することをどの程度希望していましたか」の間では、「東大にどうしても入りたかった」という回答は、全体で58.4%、男子が59.5%で女子の55.0%を4.5ポイント上回り、「東大がダメなら他大学でもよいと思った」という回答は、女子が41.8%で男子の38.5%を3.3ポイント上回った。また、「どうしても入りたかった」という回答は、前回(2007年)調査と同様、男女共に文科系の方が理科系より高い割合となっている(集計表I-1表)。

「東大入学の動機」の間については、10の選択肢の中から3つを選ばせた。「東大の社会的評価が高いから」51.4%、「入学後に学部の選択が可能だから」44.2%、「私大に比べて授業料が安いから」41.5%が上位となっている(図1、集計表I-2表)。

「入学するときに進学する学部あるいは学科等を決めていましたか」の間に対しては、「学科等まで決めていた」23.4%、「学部のみを決めていた」33.8%、「学部学科等は決めていなかった」42.2%となっている。学部あるいは学科等まで「決めていた」学生は、文科系では66.0%で、理科系の51.1%より14.9ポイント多く、前回(2007年)調査より、文科系で3.7ポイント下がり、理科系で0.5ポイント上がっている(集計表I-3表)。

図1 東大入学の動機(3つまで選択)

単位：%



1-1-2. 進学について

「希望通り・ほぼ希望通り」進学決定（内定）したのは94.4%
在籍学部・学科等に「満足・まあ満足」している学生は76.8%
進学振分け制度「現行のままでよい」は41.2%

「学部・学科等の選択に際し、どのような点を重視しましたか」の間に対しては、7つの選択肢の中から2つを選ばせた。「自分が惹きつけられた学問分野であること」という回答が79.8%で、次に続く「就きたい職業に必要な能力を磨けること」27.9%、「社会に役立つ度合いの大きい分野であること」20.8%等の回答を大きく引き離しているのが注目される。

また、「最先端の学問が学べること」という回答は、教養（理系）では36.4%、理学部では38.8%、薬学部では33.3%であり、法学部および経済学部の2%台と比べて相対的に高い割合ではあるが、前回（2007年）調査より大幅に下がっている。

「自分が惹きつけられた学問分野であること」という回答も、文科一・二類・理科三類やその上の法学部・経済学部・医学部では40%台から70%台の割合であるのに対し、文科三類や理科一・二類とその上の専門学部では70%台から100%の比較的高い割合である。

「その学部・学科等の教員に魅力を感じること」という回答は、全体では11.2%の低割合であるが、前期課程では文科三類の23.5%が相対的に高く、他は概ね10%以下の水準である。後期課程でも、文科三類の上の文学部が29.1%、教養学部文科系が25.9%と比較的高い水準にある。

「社会に役立つ度合いの大きい分野であること」という回答は、全体では20.8%で、男女間の相違は目立たないが、法学部・経済学部・工学部・薬学部・医学部で20%台後半から40%台の比較的高い割合であるのに対して教養（理系）で0%、理学部で5.0%、文学部で3.5%と低割合なのが目立つ。

「就きたい職業に必要な能力を磨けること」という回答は、全体では27.9%であるが、文科一類で59.2%の高い割合であるのが目立つ（集計表I-4表）。

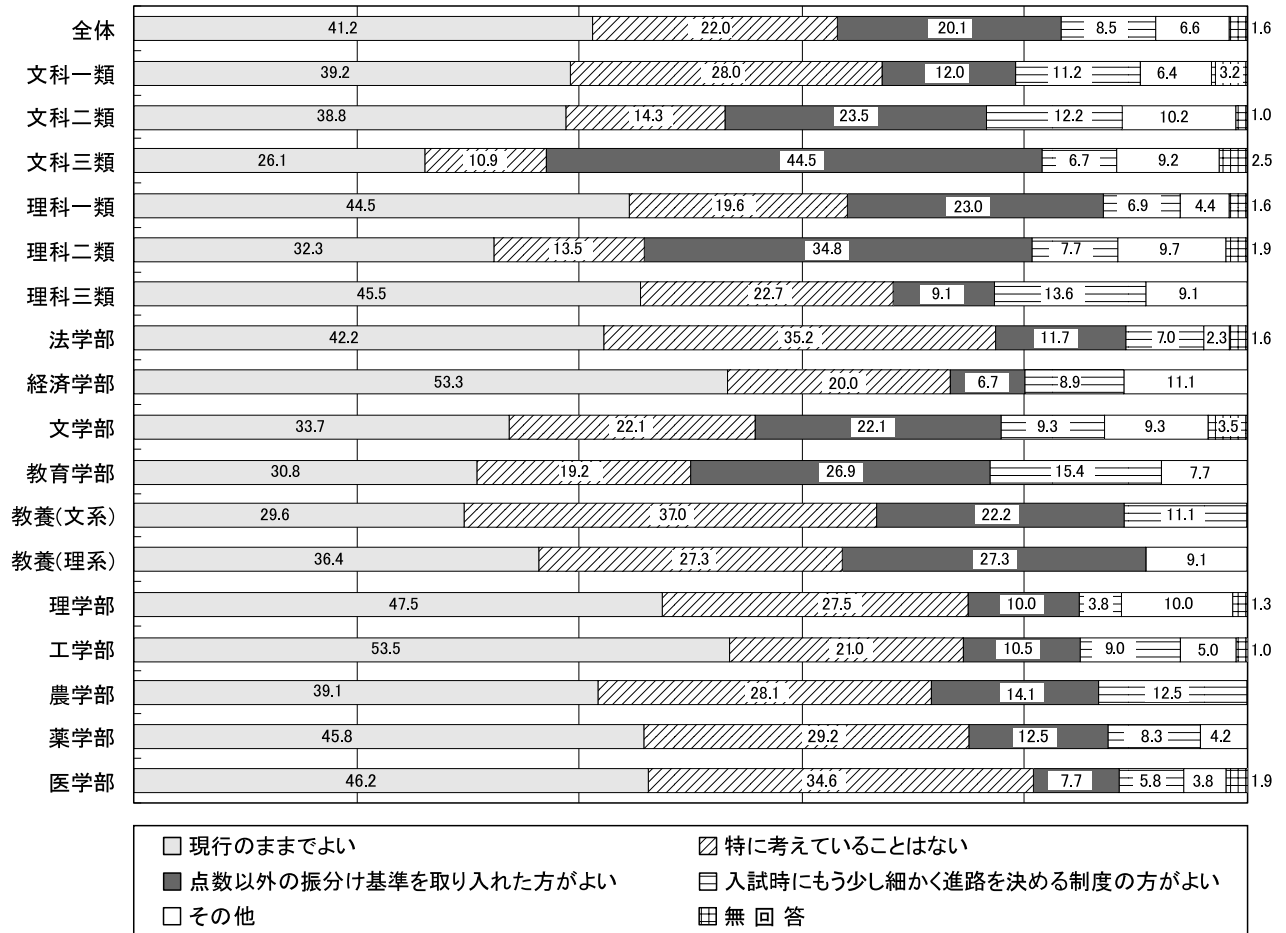
「進学の決定（内定）について」の間では、「希望通り決定（内定）した」「ほぼ希望通り決定（内定）した」「希望通りでなかった」の3つの選択肢から1つを選ばせたが、「希望通り決定（内定）した」80.2%と「ほぼ希望通り決定（内定）した」14.2%を合わせると、希望通り進学（内定）したと回答した学生が94.4%となり、前々回（2006年）調査の94.8%、前回（2007年）調査の93.9%とほぼ同様の高い値を示している。しかしその一方で「希望通りでなかった」と回答した学生が、文科二類で8.2%、理科二類で10.8%、文学部で8.2%、農学部7.8%と決して低くないのが目立つ（集計表I-5表）。

「現在在籍している学部・学科等（科類）に満足していますか」の間に対しては、「満足している」が35.7%、「まあ満足している」が41.1%で、これらを合わせると76.8%となり、1994年（第44回）調査以降70%前後の水準を保っている（集計表I-6表）。

「進学振分け制度についてどのように考えていますか」の間に対しては、「現行のままでよい」と「特に考えていることはない」を合わせた割合が1997年（47回）調査から2003年（53回）調査までは42.2%から50.8%であったものが前々回（2006年）調査で68.0%、前回（2007年）調査で71.1%と増加したが、今回（2008年）調査で「現行のままでよい」41.2%と「特に考えていることはない」22.0%を合わせた割合が63.2%で前々回および前回調査よりもやや減少している（図2、集計表I-7表）。

図2 進学振分け制度についての要望

単位：%



医学部本館前広場

1-1-3. カリキュラムについて

カリキュラムに「満足・まあ満足している」は59.2%
カリキュラムの消化が「できる・まあできる」は77.7%

「現在のカリキュラムに満足しているか」の間に対しては、「総じて満足」（「満足」と「まあ満足」の計）59.2%が「総じて不満」（「やや不満」と「不満」の計）19.2%を上回っている。90年調査では「総じて不満」が20ポイント程上回ったが、94年調査以降は逆転し、次第に「総じて満足」が多くなった。前回（2007年）調査ではその差が33.6ポイントであったが、今回の調査ではその差は少し広まり40.0ポイントになった。「総じて満足」が経済学部・文学部・教養（理系）・理学部で70～80%台と高いこと、「総じて不満」が教育学部で34.6%の高い割合であることなどが目立つ（図3-1、集計表I-8表）。

「カリキュラムは消化できるか」の間に対しては、「総じてできる」（「できる」、「まあできる」の計）と回答した学生は77.7%になり、前回調査より1.2ポイント下がっている。他方、カリキュラムの消化に困難を感じる学生は21.8%で、前回調査より2.7ポイント上がっている。「多少困難」という回答が理科二類の30.3%を筆頭に、複数の科類・学部で20%を超えているのが目立つ（図3-2、集計表I-9表）。

「カリキュラムの消化が総じて困難な理由」については、前回調査と同様に「講義の内容が高度すぎて理解できない科目がある」48.6%が第1位で、これに「授業の予習と復習の時間が十分とれない」41.3%、「授業への自分の意欲や努力が足りない」41.0%、「進学・卒業に必要な単位数が多過ぎる」27.2%が続いているが、3位までは前回調査と同じ内容になっている（集計表I-10表）。

図3-1 現在のカリキュラムに満足していますか

単位：%

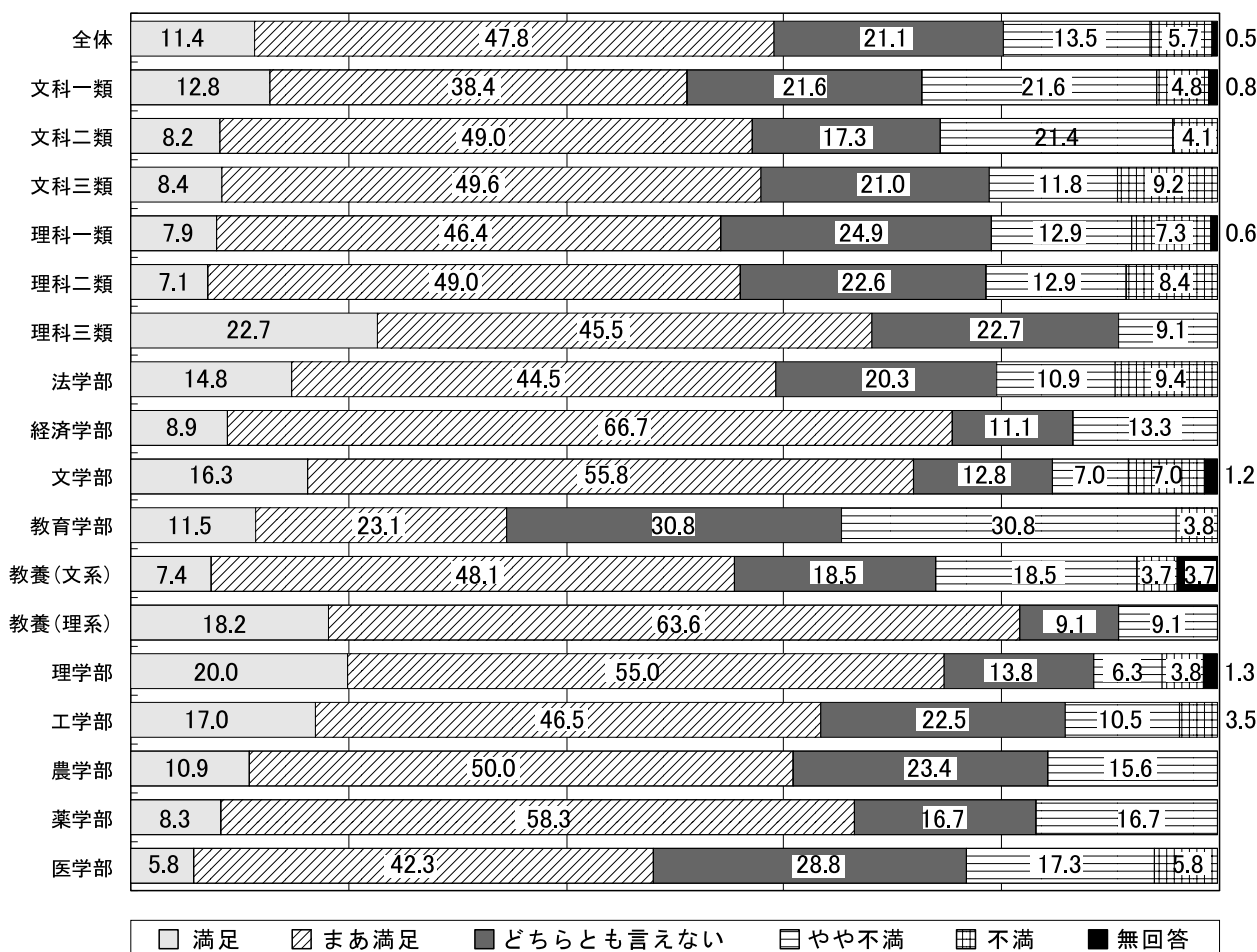
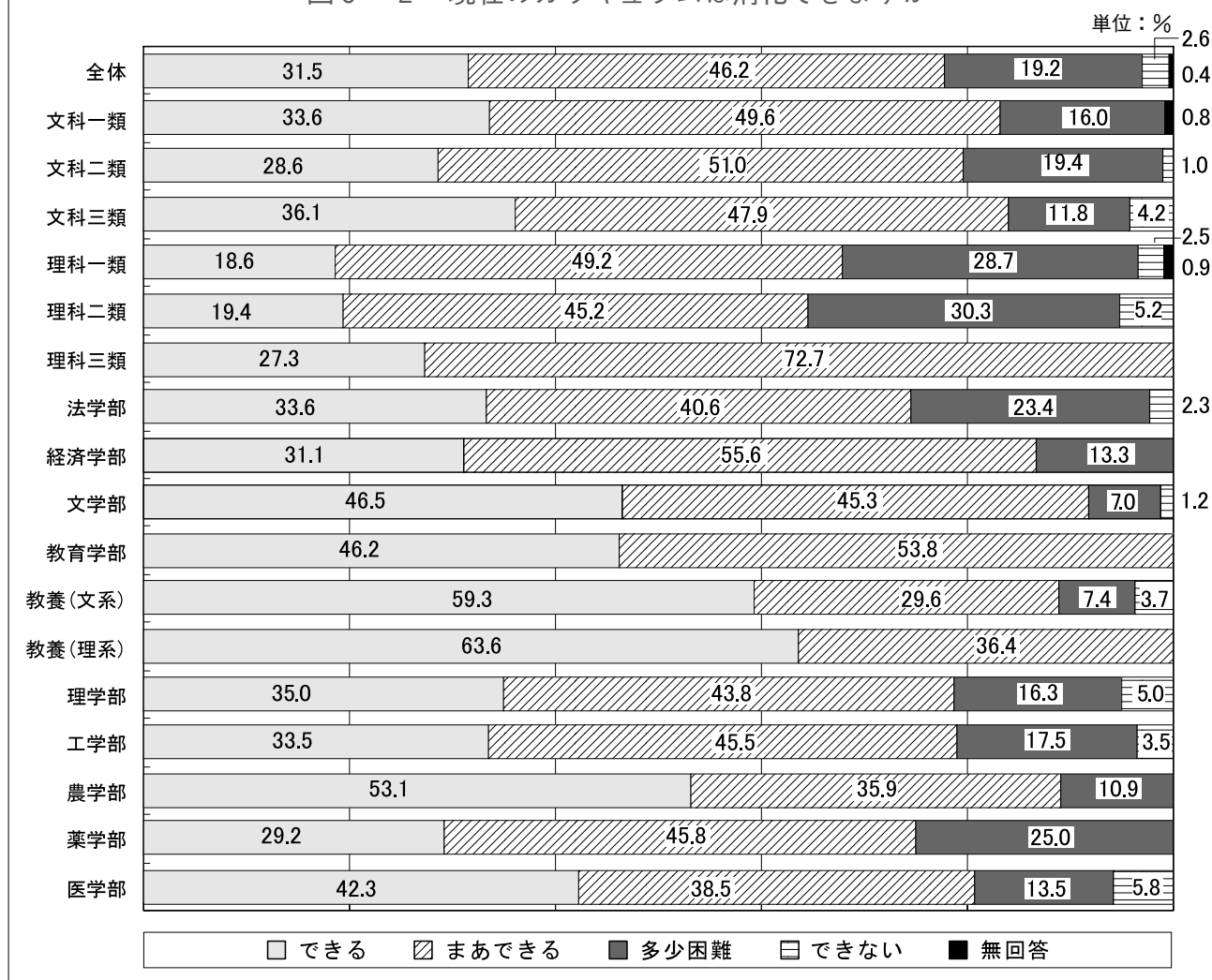


図3-2 現在のカリキュラムは消化できますか



1-1-4. 学部卒業後の進路予定について

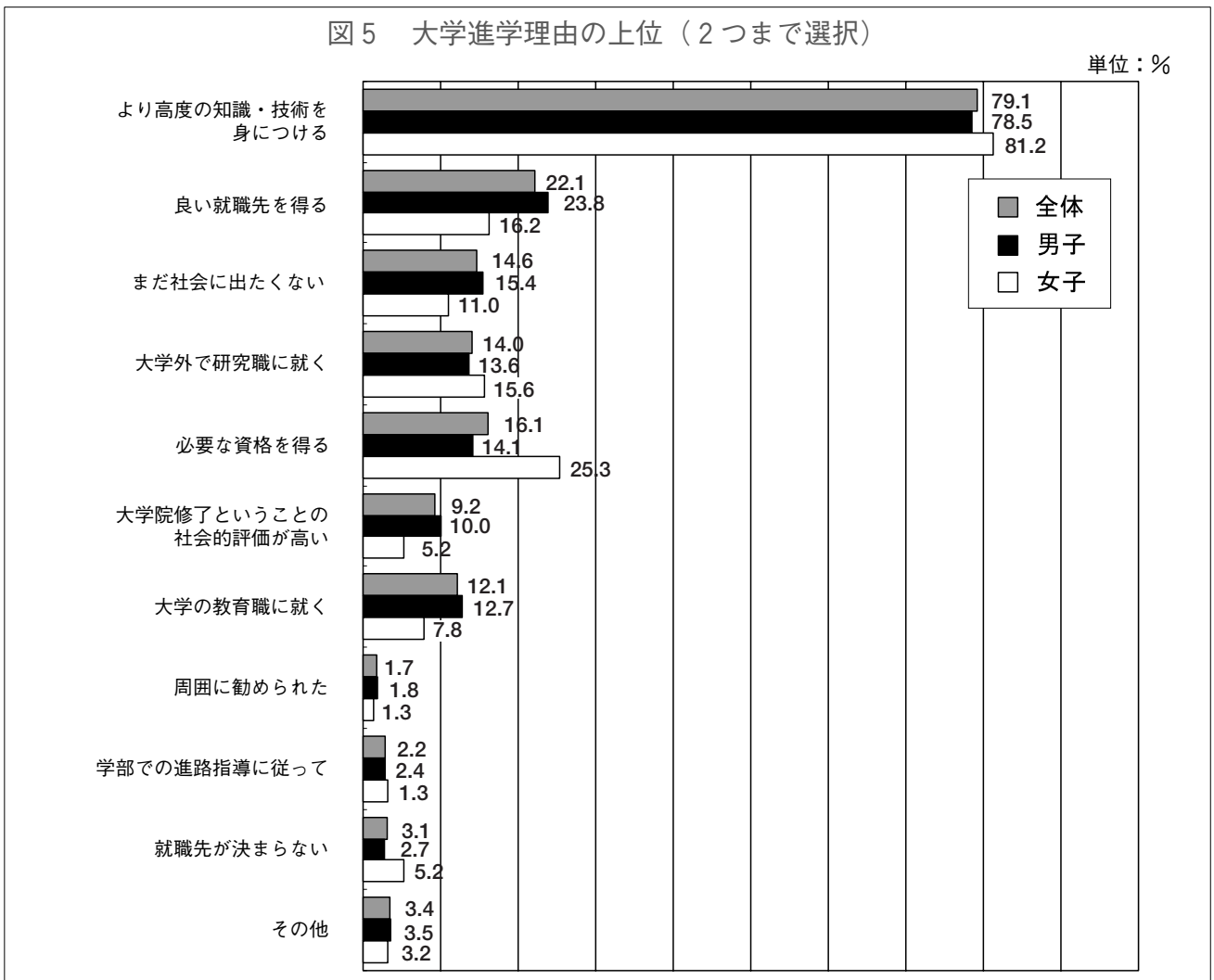
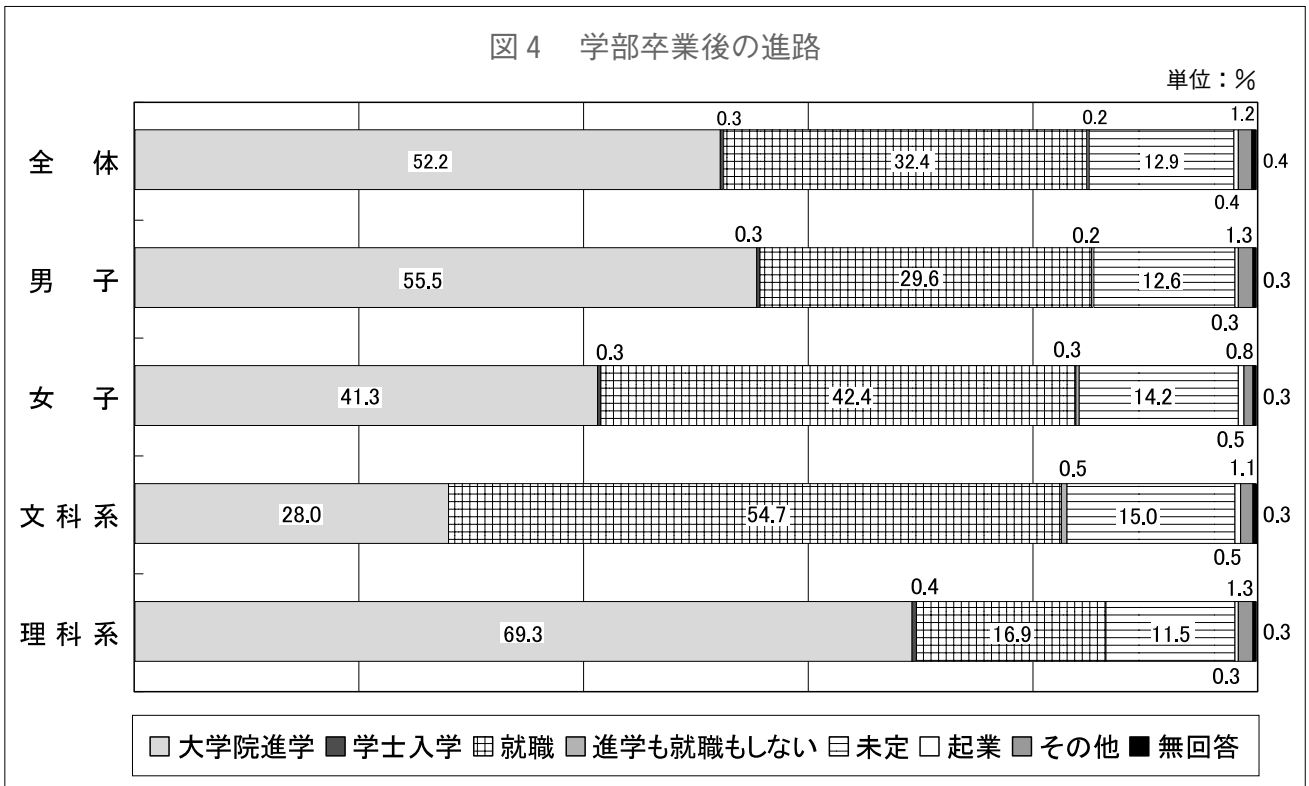
文科系は就職希望者が54.7%、理科系では大学院進学希望者が69.3%
 大学院進学希望者では、文科系の専門職学位課程を希望する者が30%を超える
 主な大学院進学の原因第1位は、「より高度の知識・技術を身に付けるため」で79.1%

「学部卒業後、どのような進路を予定しているか」については「大学院に進学する」52.2%、「就職する」32.4%、「まだ決めていない」12.9%で、前回調査より「学士入学をする」を含めた「進学する」が0.8ポイント減少し、「就職する」が3.7ポイント増加し、「まだ決めていない」が1.7ポイント減少している。文科系と理科系の比較では、「大学院に進学する」は理科系69.3%に対し文科系28.0%、「就職する」は文科系54.7%に対し理科系16.9%と、割合が逆転している(図4、集計表I-11表)。

「学部卒業後の進学予定」については、「大学院修士課程」までが66.3%、「大学院博士課程」までが24.2%、「専門職学位課程」までが8.2%となっている。文科系では、専門職学位課程への進学を希望するものが、30.1%に上っている(集計表I-12表)。

「大学院に進学する理由」については、2つまでを選択させたが、「より高度の知識・技術を身に付けるため」が79.1%で最も多く、「良い就職先を得るため」22.1%、「必要な資格を得るため」16.1%、「まだ社会に出たくないから」

14.6%と続いている。「必要な資格を得るため」が文科系男女に多く、「まだ社会に出たくないから」が男子および理科系の女子に多いのが目立つ（図5、集計表I-13表）。



1-2. 就職

希望職種は「企業等の研究職」39.5%、「大学・公的機関の教育・研究職」37.5%
 希望職種に就きたい理由は「自分の特技・能力や専門知識が活かせる」59.6%
 仕事や職場を選ぶ際に重視することは「やりがいがある」58.6%

どのような職業に就きたいのかの質問に対する回答としては、過去10年間（1998～2007年）では「大学・公的機関の教育・研究職」が最も多く、これに「企業等の研究職」が続いていたのに対して（例えば前回2007年調査では「大学・公的機関の教育・研究職」が40.4%、「企業等の研究職」が40.3%）、今回の調査では「企業等の研究職」が39.5%、「大学・公的機関の教育・研究職」が37.5%と、逆転が起こっている。「教育・研究職」を除くと、「行政職（公務員）」が29.1%、「専門職（医師、法曹、公認会計士等）」が26.3%で続いている。特に理科系は「企業等の研究職」を望む学生が男子63.4%、女子54.7%、「大学・公的機関の教育・研究職」を望む男子が47.0%、女子47.2%と研究職志向がかなり高いが、文科系は男子が「専門職」40.7%、「行政職（公務員）」40.3%を、女子が「行政職（公務員）」41.3%、「事務職」36.6%を主に希望している。（図6-1・2、集計表II-1表）。

希望の職業に就きたい理由は前回調査と同順で、「自分の特技・能力や専門知識が活かせる」が59.6%で最も多く、「人を助けたり社会に奉仕する」44.5%、「安定した生活が保証されている」32.4%がそれに続いている。職種の希望で文科系・理科系の差が大きかったのに比べ、ここでは両者の差が小さいことが特徴である（集計表II-2表）。

仕事や職場を選ぶ際に重視するものも前回調査とほぼ同順で、「やりがいがある」が58.6%、「能力が発揮できる」43.0%、「給料がよい」37.0%と続いている。また、「仕事を行う上で男女の差別がない」を選んだのが、男子の0.5%に対し、女子は22.3%と4位を占め、男女差が際立っている（集計表II-3表）。

就職活動をしたことがありますかの間には、「ある」と回答した学生が全体では19.4%、後期課程でも女子が50.5%、男子が36.7%と半数程度あるいはそれ以下である（集計表II-4表）。

就職活動としては、「企業等のセミナーや説明会に参加する」90.6%、「インターネット等で、情報を収集する」88.0%、が他の選択肢を大きく離している（集計表II-5表）。

就職する場所としては、前回調査と同様に「東京圏（東京近郊）を希望する」が54.4%と過半数を超えている。男女別では、男子の51.6%に対して女子が63.0%で6割を超えている。「海外を希望する」学生は低率ながら、前回の5.0%から3.8%に減少している。特に前期課程では男子で4.4%、女子で6.8%と比較的高いが、後期課程では男子で1.7%、女子で3.6%と激減している（集計表II-6表）。

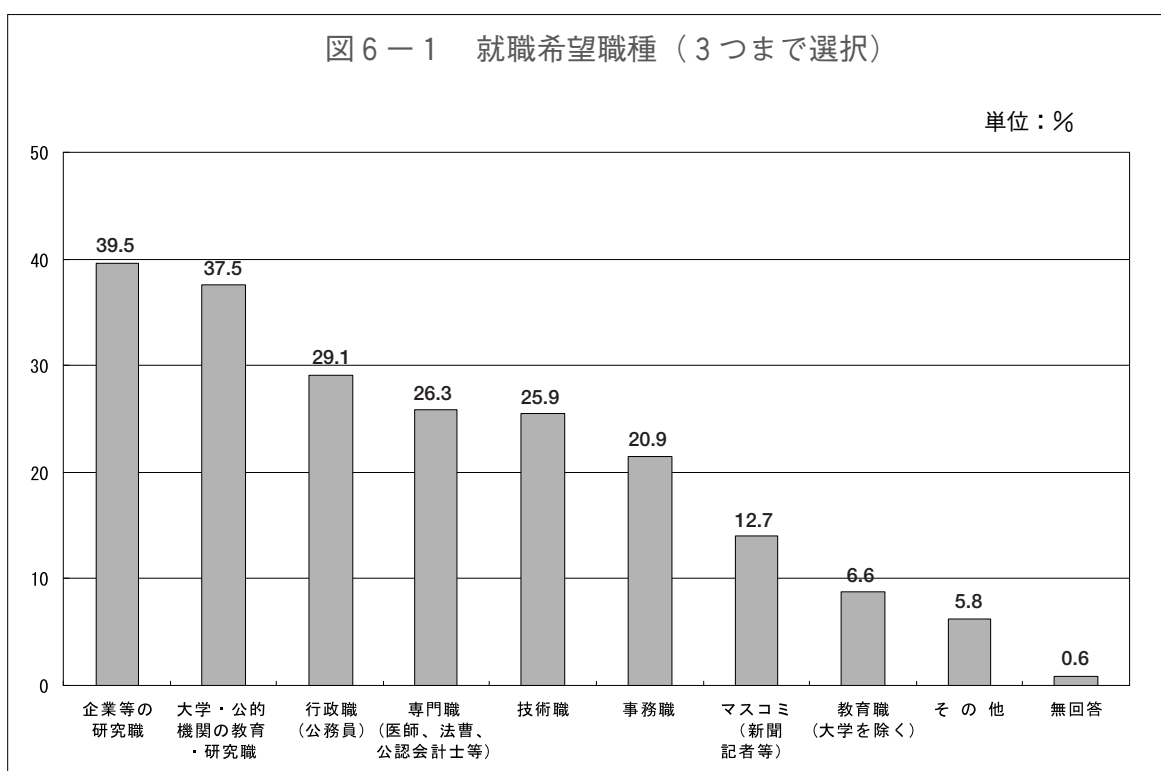
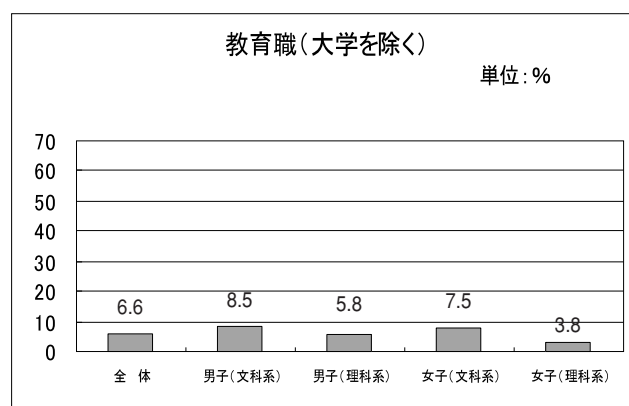
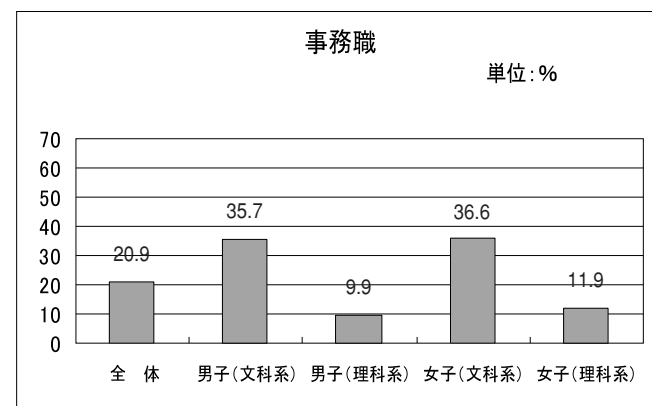
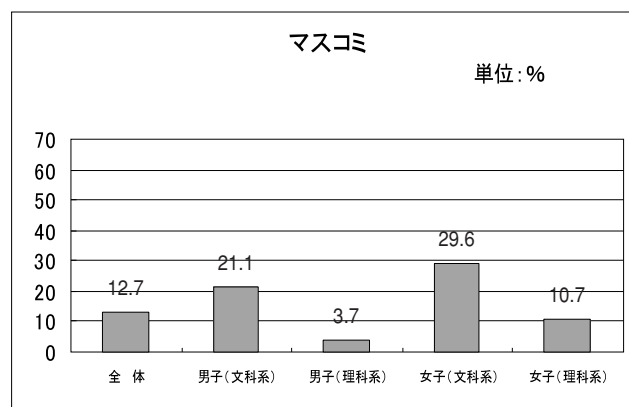
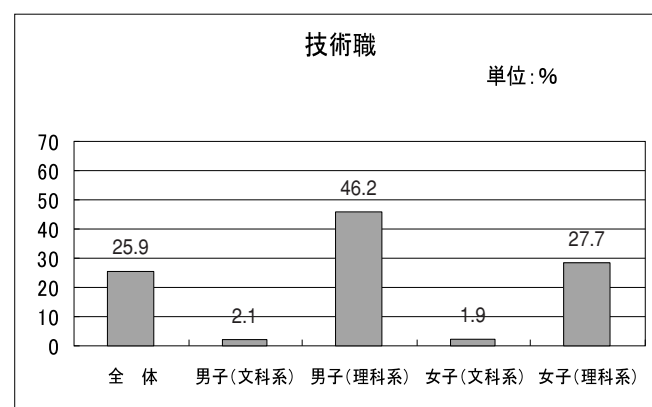
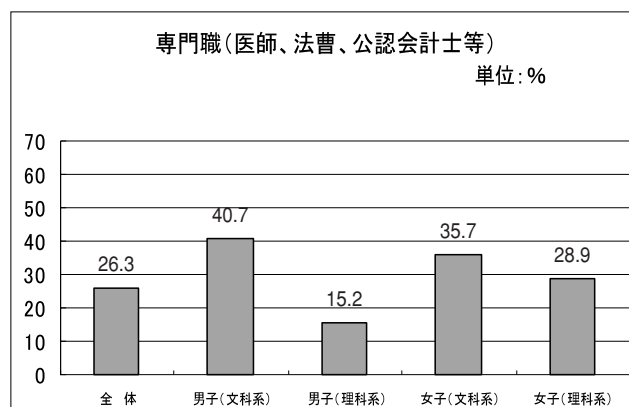
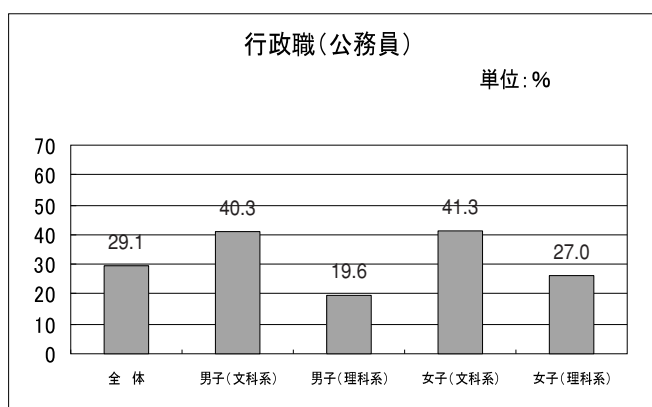
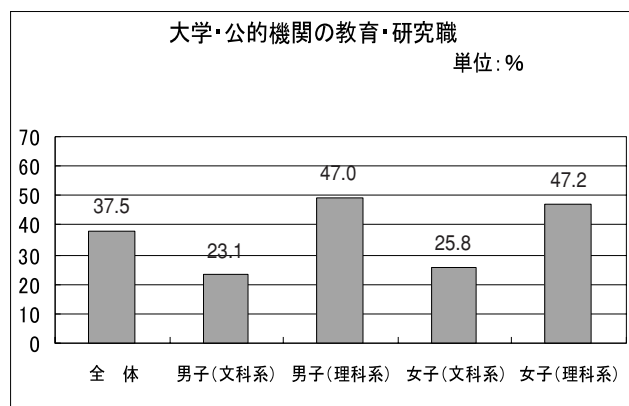
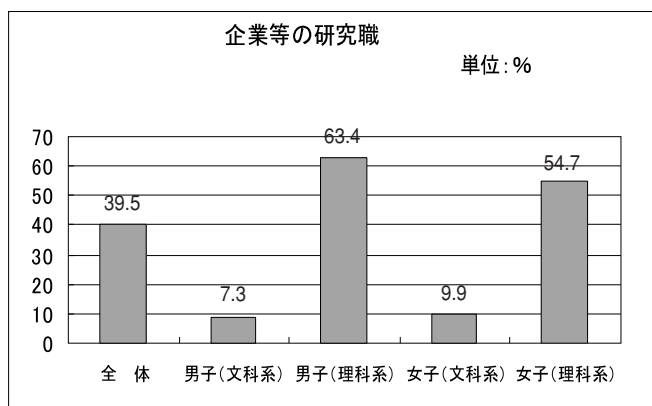


図6-2 就職希望職種（職種別内訳）



1-3. 不安・悩み

「将来の進路や生き方」に82.5%の学生が悩みや不安を感じている
「よく相談する」相手は、父母、学内のサークルや団体の友人、恋人
「経済的支援の強化」を求める学生が67.6%に達した

学生生活の中で悩みや不安を感じるものとして、「よく悩む」と答えた質問項目は、「将来の進路や生き方」が46.3%で最も多く、「就職」31.7%、「人生の意義・目標」26.2%、「勉学」25.4%が続き、前回と同様であった。今年はこちらに続いて「経済的なことや経済的自立」に25.0%が「よく悩む」（前回21.5%）と回答していた。「将来の進路や生き方」について悩む学生の割合は、「ときに悩む」を加えると82.5%に達した。（集計表Ⅲ-1表）。

不安や悩みの相談相手では、「よく相談する」相手は、前回同様「父・母」が15.2%と1位であった。これに「大学内のサークルや団体の友人」13.9%、「恋人」11.9%、「大学外の友人」10.9%、「学科や研究室の友人」10.7%が続き、これも順番は若干入れ替わったが前回とほぼ同様であった。これに対して「大学の教職員」は「よく相談する」が0.6%で、「ときどき相談する」と合わせても2.8%、反対に「全く相談しない」は81.6%におよび、特に前期課程で顕著であった（男性89.3%、女性89.8%）（集計表Ⅲ-2表）。

最近6ヶ月の間に、体験したり悩んだりしたこととしては、「よく体験した」「ときに体験した」と合わせると、「強い不安に襲われた」では52.3%、「気分が落ち込んだり、何にも興味が持てなくなった」で41.1%、「やる気がなくなり、無気力状態（アパシー）になった」で38.9%で、前回と同様であった。なおこれより頻度は少ないが、「イライラしたり、物を壊したり、人を傷つけたい衝動」を「よく」あるいは「ときに体験した」が合わせて25.8%に達した。また「乗り物に乗るのが怖かった」と広場恐怖を示唆した学生が4.5%おり、同様の症状である教室や講堂への入りづらさ等についても今後調査する必要があるように思われた（集計表Ⅲ-3表）。

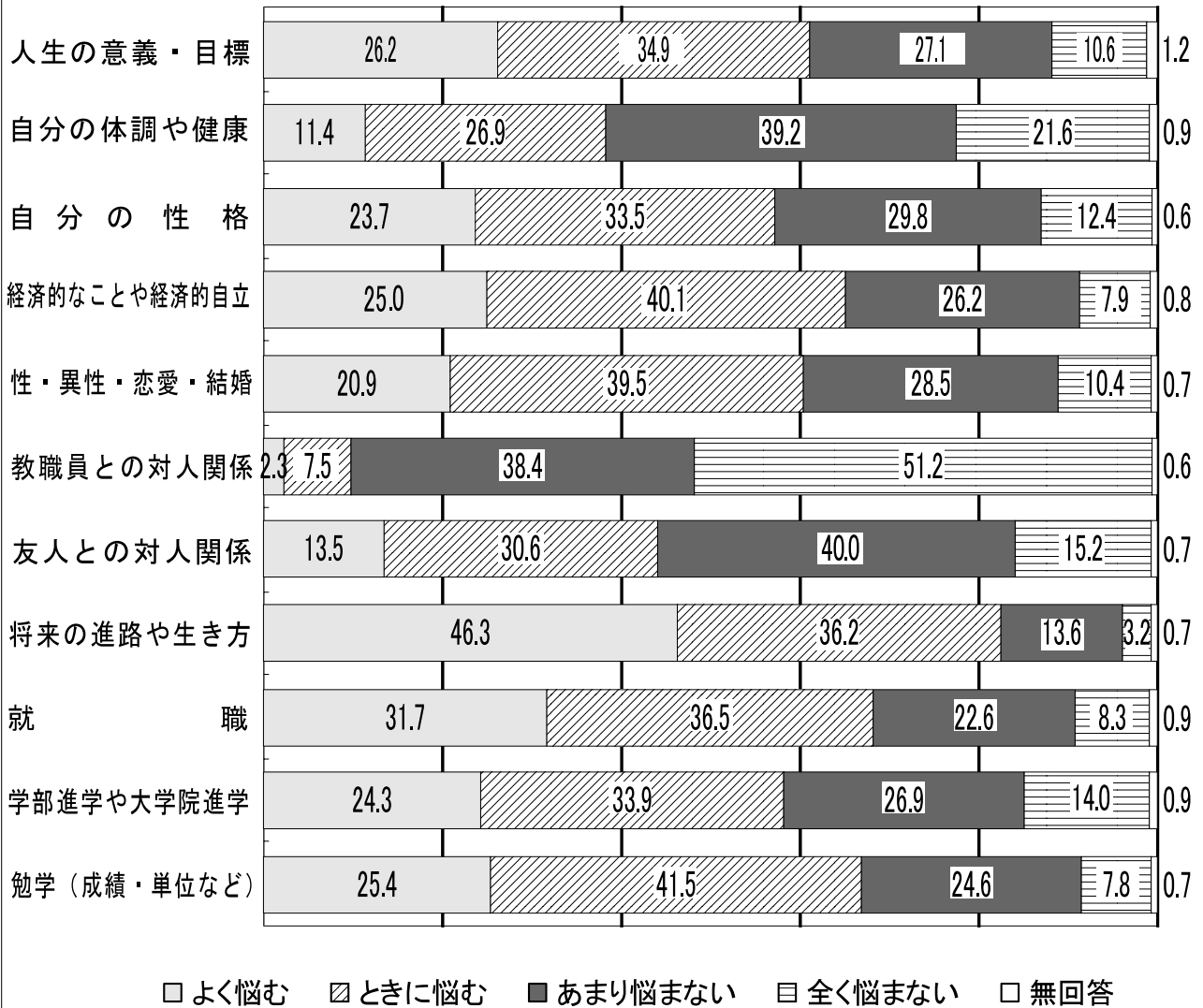
悩みや不安を解消するために大学の対応として望むこととして「全くそう思う」「まあそう思う」と回答した学生を合わせると、「奨学金の充実や授業料免除など、経済的支援を強化する」67.6%がトップで、「就職指導や進路相談を充実させる」64.7%、「学部進学や大学院進学について相談機能を充実させる」59.9%、「健康相談や保健センターの機能を充実させる」53.9%がこれに続いた（集計表Ⅲ-4表）。



御殿下グラウンド

図7 悩み・不安の程度

単位：%



1-4. 大学への要望

「授業の方法の工夫・改善」が第1位、「奨学金（育英資金）・育英貸付金などの拡充や増額」が第2位
「カリキュラムの改革」、「就職対策の充実」、「教室の充実」「図書館の充実」「単位認定や学年試験を緩やかに」
が続く。
大学の社会的貢献では「基礎研究を充実させる」、国際化では「研究者の交流をより積極的に進める」が第1位

大学への要望や期待することは、主なものを3つまで選択という形式で調査を行ったが、「授業の方法の工夫・改善」が38.2%で前回（2007年）の調査と同様最も多く、次いで「奨学金・育英貸付金などの拡充や増額」が29.3%、「カリキュラムの改革」が27.3%、「就職対策の充実」と「教室の充実」が23.3%、「図書館の充実」が20.5%、「進学振分け制度の改善」が20.0%、「単位認定や学年試験を緩やかに」が19.0%で、上位を占めている（集計表Ⅳ-1）。

前期課程については、全類にわたって「授業の方法の工夫・改善」と「カリキュラムの改革」の要望が極めて高い。また、前期課程文科Ⅱ類の進学内定者に「進学振分け制度の改善」の要望が著しく高い点は特筆すべきであろう。一方、後期課程では、法学部・経済学部・教育学部・教養学部（理系）・理学部・工学部・農学部・医学部など大半の学部で「授業の方法の工夫・改善」、さらに教育学部では「教育スタッフの充実」、医学部では「カリキュラムの改革」を求める声が大い。また、文学部・経済学部・教育学部・教養学部（文系・理系）・農学部では「就職対策の充実」、文学部・教育学部・教養学部（文系）・理学部・工学部・薬学部でも「奨学金（育英資金）・育英貸付金などの拡充や増額」に対する要望が強く、現在の厳しい経済状態を反映する結果となっている。また、法学部・経済学部で「教室の充実」、農学部・特に薬学部で「実験室や実習室の充実」、医学部で「図書館の充実」を求める声が高く、さらなる施設の充実が期待されている（集計表Ⅳ-1表）。

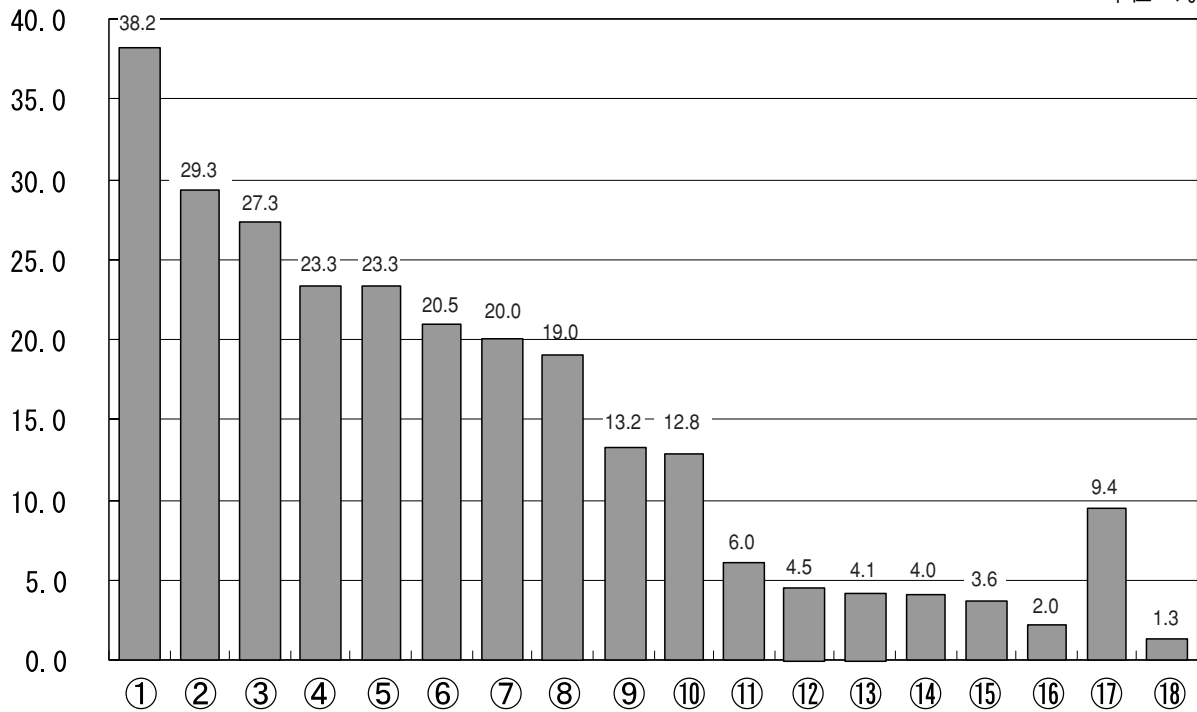
大学の社会的貢献の促進に関連する事項としては、「非常に重要」「かなり重要」「重要」を合わせてみると、前回（2007年）の調査と同様に、「基礎研究を充実させる」86.2%、「産学協同をより推進する」77.3%が上位となっている。また、研究の国際化を推進するために必要な事項として、「非常に重要」「かなり重要」「重要」を合わせると、「研究者の交流をより積極的に進める」92.8%、「国際共同研究を推奨する」90.9%が9割以上を占めた。また、教育の国際化を推進するために必要な事項では、「日本から外国へ留学する機会をもっと拡大する」が90.2%と高かったが、「外国からの留学生を一層受け入れる」が81.8%とやや低く、大学執行部が目指す国際化の方向とやや距離が認められる（集計表Ⅳ-2表）。



安田講堂前広場・芝生の養生

図8 大学への要望や期待（3つまで選択）

単位：％



- ①授業の方法の工夫・改善 ②奨学金の拡充や増額 ③カリキュラムの改革 ④就職対策の充実
- ⑤教室の充実 ⑥図書館の充実 ⑦進学振分け制度の改善 ⑧単位認定や学年試験を緩やかに
- ⑨実験室や実習室の充実 ⑩教育スタッフの充実 ⑪小人数教育の実施 ⑫キャンパスの拡大・移転・統合
- ⑬単位認定や学年試験を厳しく ⑭カウンセリング・相談体制の充実 ⑮学生自治に対する適切な助成と助言 ⑯学生自治の尊重
- ⑰その他 ⑱無回答

1-5. 特殊分析 東大生の不安・悩み

1. はじめに

今回の特殊分析のテーマは、昨年に引き続き東大生の不安・悩みである。2年連続して同じテーマを選択したのは、これが現代の東大生の現実を知る上でとても重要なテーマだからである。青年本来の不安や悩みをもつことはいうまでもない。それに加えて東大生というブランド、あるいは他者からの期待を背負っていることが重荷と感じる人もいるだろう。また、本学には入学しても厳しい進学振り分けがあり、多くの東大生は進路進学に関して悩む時期がある。また、大学卒業後に就職か大学院進学かで迷う学生が多いのも東大生の特徴であろう。

本実態調査では、このテーマに関しては、これまで「不安・悩みについて」と題した質問項目があり、そこで直接尋ねている。しかし、学生の不安や悩みは、直接意識できるレベルのものだけでなく、学生生活をする中で日々体験していくレベルのものもある。そこで、本稿では、他の項目の質問も含めて東大生の不安・悩みについて総合的な検討を加えることにした。

2. 学生は、どのように不安や悩みを意識するのか

「1-3 不安・悩み」で解説されているように、学生生活において何に悩みや不安を感じるのかという問に対して、「よく悩む」として挙げられたものをみると、最も高いのが「将来の生き方や進路」の46.3%、次が「就職」で31.7%となっている。「よく悩む」と「ときに悩む」を加えた割合をみると、やはり「将来の進路や生き方」が最も高く82.5%、次に「就職」が68.2%となっている。このことから、東大に入ったからといって学生は、自己の進路に満足したり、将来に対して安心することがなく、むしろ不安や迷いを覚えていることが明らかとなっている。

では、そのような悩みや不安はどのような形をとって顕れるのだろうか。悩みや不安が強い場合には、精神症状として顕れてくる。調査項目の中には「最近6ヶ月の間に、次の項目について、体験したり悩んだりしましたか」というものがあり、ここでは精神症状の体験の有無が取り上げられている。以下に回答率の多かった質問項目を示した。()には、「よく体験した」と「ときに体験した」と答えた者の割合の合計を示し、その割合が30%以上のものを高い順に並び替えると、「強い不安に襲われた」(52.3%) / 「気分が落ち込んだり、何にも興味が持てなくなった」(41.1%) / 「人と話していてとても緊張したり、不安を感じた」(40.3%) / 「やる気がなくなり、無気力状態(アパシー)になった」(38.9%) / 「自分でもバカらしいと思う考えが浮かんだり、自分のすることを何度も確かめてみなければならなかった」(33.3%) / 「人と一緒にいてもさびしい感じがした」(33.0%) となる。

以上の結果から分かるように、不安や抑うつを感じる人が多くなっているといえる。ただし、これは、東大生に限られたものではなく、一般の学生や青年にみられる傾向である。特徴的なのは、性差を見た場合、全体として女性のほうが不安や抑うつを感じる割合が高いということである。不安や抑うつについては、女性のほうが体験しやすいといえよう。

3. 勉学・進路に関する不安や悩み

上述したように東大生が学生生活において最も悩みや不安を感じるテーマは、「将来の進路や生き方」であった。東大への入学希望の質問に対して「東大にどうしても入りたかった」と答えた人は、全体で58.4%となっている。少なくとも東大生の半分以上は、大学入学に関しては自分の強い進学希望を実現できたということになる。しかし、それで、進路・進学の悩みが解消したというわけではない。入学時に進学する学部あるいは学科などを決めていたかという質問に対して「学部学科等を決めていなかった」は42.2%となっている。このように多くの東大生は、東大を入学希望の大学としているが、だからといって学部学科等を決めていないわけではない。むしろ、決めないで入学してくるのである。これは、東大には、進学振り分け制度が存在するからである。

ここで、東大生は、入学後に再び進路決定と関連して自らの“成績”が評価されることになる。それと関連して希望に満ちて大学に入学した学生がまず直面するのは、大学の学業の難しさである。高校生のようにクラス単位で授業時間が決まっているわけではなく、しかも担任が指導してくれるというわけではない。学生は、必修科目等を勘案して自らが選択する授業科目を決めていかなければならない。しかも、授業は、かなり高度である。進学振り分け制度があり、学業成績によっては、自らの志望する進路に進むことができないことも十分にありえる。このような状況の中で学生の不安や悩みが高まってくることは容易に想像できる。

カリキュラムは消化できるかという問いに対して、「できる」と答えた学生は31.5%であり、逆にカリキュラムの消化が「多少困難」、あるいは「できない」と答えた学生は21.8%である。消化が困難な理由は、「講義の内容が高度すぎて理解できない科目がある」という反応が48.6%となっている。約5人に一人の学生が授業の内容についていくのに困難を感じており、これも学生の悩みや不安の種となっていると考えられる。

進学振り分けは、本学に特有な専門課程の決定方法であるが、そのシステムが、全科類枠を設けるなど2007年度から大きく変わった。しかし、その影響が特にあったとは言えない。進学の決定(内定)に関する質問に対して「希望通り

決定した」と「ほぼ希望通り決定した」を合わせて94.4%となっており、大方の学生は進学振り分けの結果には満足しているといえる。一昨年度が94.8、昨年度が93.9%であったので、システム変更による変化は数字の上には出ていない。その点で進学振り分けに対する不安はあるにしても、その結果は、学生の不安の主要な原因になっているとはいえないだろう。

4. 進学や就職に関連する不安や悩み

就職活動は、学生にとっては最も重要な関心事であろう。年々、“就活”と呼ばれる就職活動の開始時期が早くなっている。最近では、大学3年生のはじめ頃から活動が始まっている。そのような中で東大生の場合、進学振り分けが終わったかと思った矢先に、就職活動に取り組みなければならない状況になっており、その点で進学・就職が悩みや不安の種になっている可能性が十分に考えられる。

学部卒業後どのような進路を予定しているかについての質問に対しては、「大学院に進学する」が52.2%、「就職する」が32.4%、さらに「まだ決めていない」が12.9%となっている。東大生の特徴として、大学院に進学するのかが、卒業後の進路を決める際の重要な判断となる。なお、大学院進学については、理系が69.3%、文系が28.0%となっている。したがって、特に文系の学生は、理系の学生に比して就職活動を幅広く考える傾向があり、その点で就職に関する迷いや悩みが生じる可能性が高いと考えられる。

5. おわりに

以上、実態調査の結果をもとに東大生の不安と悩みの状態を探ってみた。世間一般からは、「東大生の多くは、希望の大学に合格して好きな勉強をしているのだから不安や悩みなどはないであろう」とみられているのかもしれない。しかし、実際には、東大生もさまざまな不安や悩みを抱えている。そこには、普通の青年としての不安や悩みもある。また、東大生ゆえの不安や悩みもある。おそらく、東大生の悩みや不安は、他大学の学生に比較して学業や進路に関する内容が多くなっていると考えられる。そこで、本稿では、その点を中心に検討した。しかし、多くの現代青年がそうであるように友人や恋人をどのように作るのかといったテーマも、不安や悩みの種となっていると考えられる。



法文1号館付近

第2部 学生生活の背景

2-1. 家庭の状況

家庭の所在地は61.3%が関東
 家計支持者は「父」が91.0%、「母」が29.5%
 職業は「父」の「管理的職業」が42.3%、「母」の「事務」が23.9%
 年収額は950万円以上が53.4%

家庭の所在地は、「東京都」28.3%、東京都以外の「関東」が33.0%、合計すると61.3%であった（図9-1・2、集計表V-1表）。

男女共同参画時代を考慮して、今回より家計支持者を複数回答で問うた。家計支持者は「父」が91.0%、「母」が29.5%であった（集計表V-3表）。

「父」の職業は、「管理的職業」42.3%、「専門的、技術的職業」23.3%、「教育的職業」9.7%で、「母」の職業は、「事務」23.9%、「教育的職業」23.5%、「専門的、技術的職業」20.1%であった（集計表V-4表）。家計支持者の雇用形態は、「父」では、「民間企業に勤務」58.5%、「官公庁に勤務」19.6%、「経営者・役員又は人を雇用している」12.7%で、「母」では、「民間企業に勤務」56.0%、「官公庁に勤務」23.7%、「経営者・役員又は人を雇用している」6.6%であった（集計表V-5表）。

世帯の年収額の分布状況は、「750万円未満」が31.3%、「750万円以上1,050万円未満」が32.2%、「1,050万円以上」が36.5%となっている。前回調査との比較では、「750万円未満」は22.5%から8.8ポイント増加し、「750万円以上1,050万円未満」は32%から0.2ポイント増加し、「1,050万円以上」が45.5%から9ポイント減少している（図10、集計表V-6表）。

世帯の年収額のうち「950万円以上」は、53.4%であった。男女別に見ると、男子における「950万円以上」の比率が50.2%であるのに対して、女子における比率は64.3%であり、男女差が顕著である（集計表V-6表）。

図9-1 家庭の所在地の推移（男子学生）

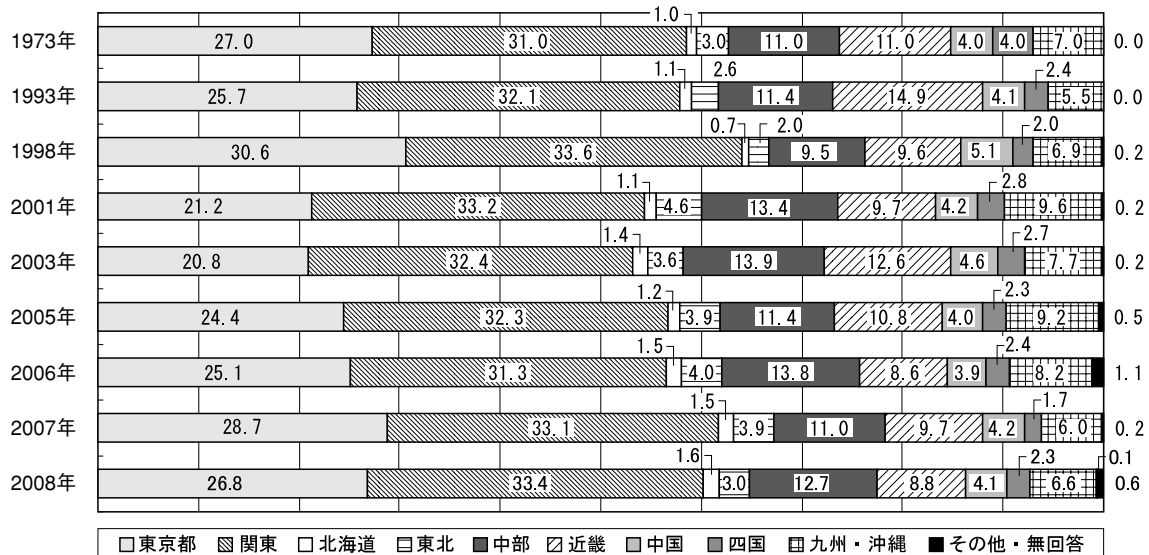


図9-2 家庭の所在地の推移（女子学生）

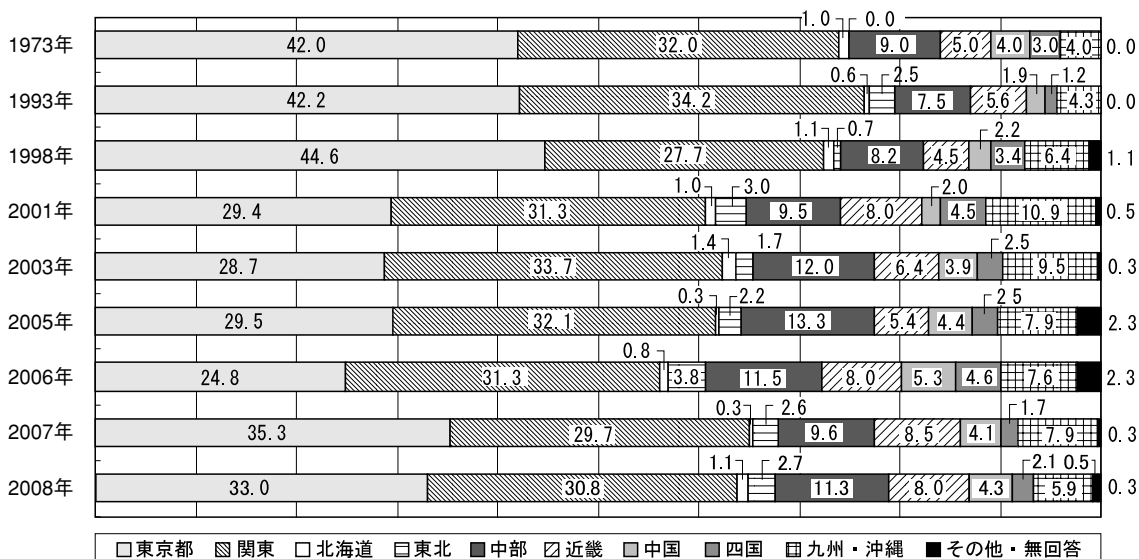
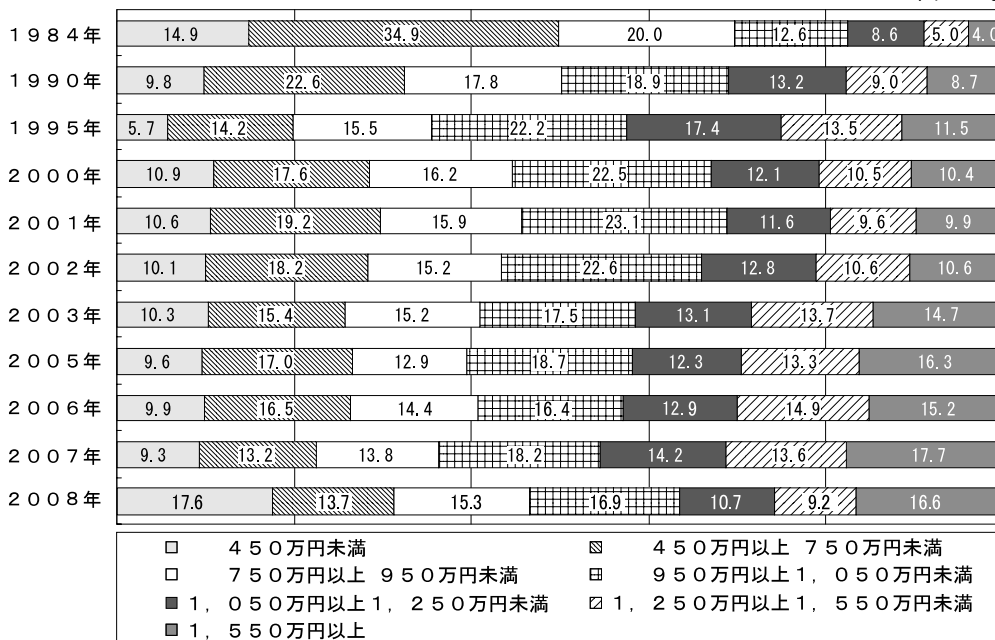


図10 世帯の年収額分布

単位：%



※2002年以前は、主たる家計支持者の年収額

2-2. 生活費の状況

生活費は自宅生63,000円、自宅外生141,300円

自宅外生の「住居費」は支出総額の48.3%

収入で大きな割合を占めるのは、自宅生が「アルバイト・雑収入」、自宅外生が「家庭からの仕送り・小遣い」

1か月当たりの生活費（100円未満四捨五入）をみると、「支出総額」は、自宅生63,000円、自宅外生141,300円で、前回（2007年）調査と比較すると自宅生が8,500円、自宅外生が2,300円減っている。

自宅外生の「住居費」は、68,300円で、前回調査と比べ1,800円増えている。支出総額に占める割合は2ポイント増えて48.3%になっている。「通学費」は、自宅生9,500円、自宅外生3,700円で、支出総額に占める割合は自宅生が15.1%、自宅外生は2.6%である（図11、集計表VI-1・2表）。

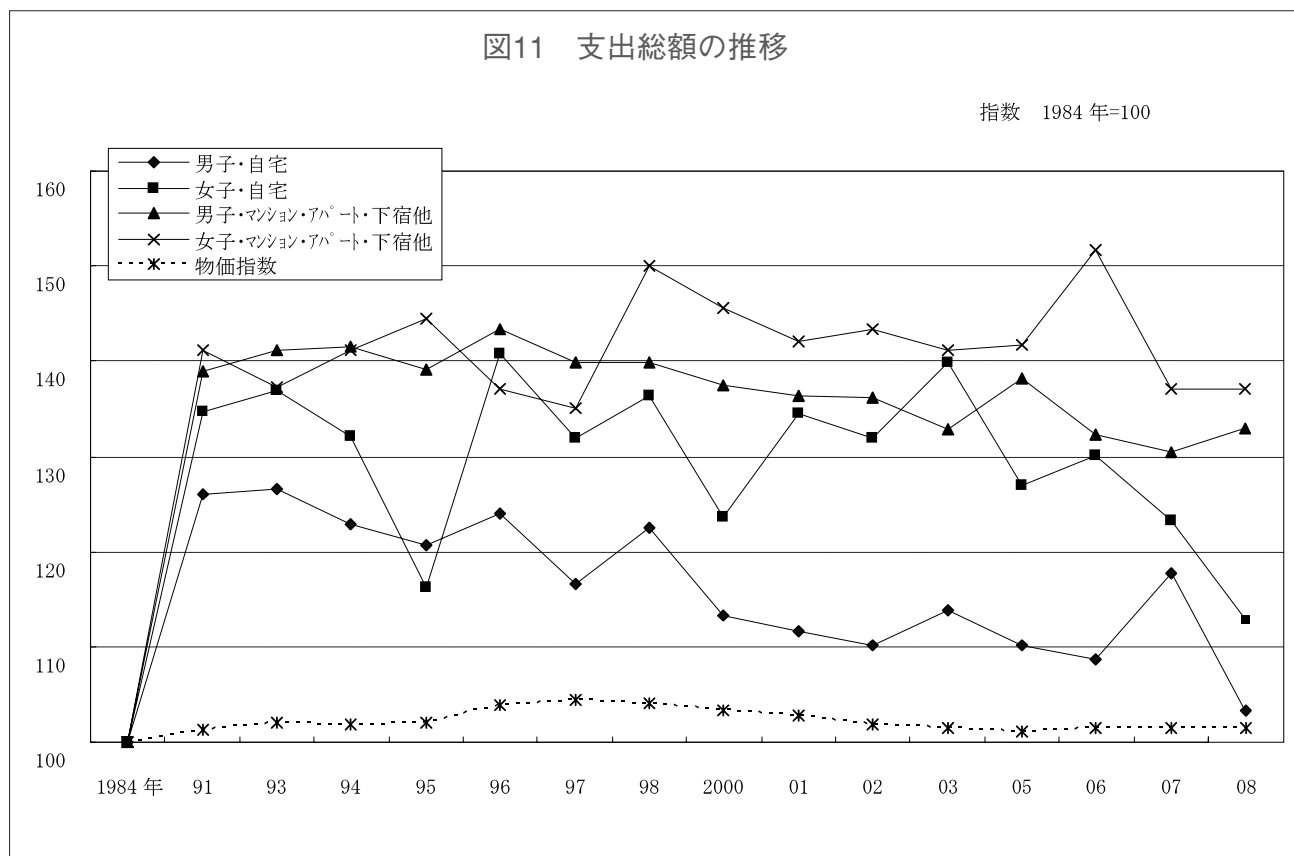
一方、「収入総額」は、自宅生62,500円、自宅外生145,400円で、前回調査と比較すると、自宅生で3,700円、自宅外生で4,900円減っている。自宅外生の生活費は自宅生に比べ、支出総額では前回調査より0.2ポイント増えて2.2倍、収入総額は前回調査と同じ2.3倍となっている。

収入のうち、「家庭からの仕送り・小遣い」は、自宅生26,400円、自宅外生94,700円で、前回調査と比較すると、自宅生が800円、自宅外生が4,500円減っている。「アルバイト・雑収入」については、自宅生35,500円、自宅外生30,700円で、前回調査と比較すると自宅生が900円増えて、自宅外生が2,400円減っている（集計表VI-3表）。

収入形態の推移をみると、「仕送り+アルバイト・雑収入」が最も大きな割合を占めている（集計表VI-4表）。

授業料の捻出は、83.5%が「家庭からの仕送り」で占めている。自宅外学生の全体を平均してみると「奨学金」が6.8%、「授業料免除」が7.5%であるが、「東大学寮・三鷹国際学生宿舎」の男子は「授業料免除」が31.4%、また、女子はそれが36.8%と他の自宅外学生よりも高い割合を示している（集計表VI-5表）。

図11 支出総額の推移



2-3. 通学・住居

大学に近いリーズナブルな学寮・学生宿舎があればと思っているのは自宅外生に限らない
本郷の自転車通学が例年より減る

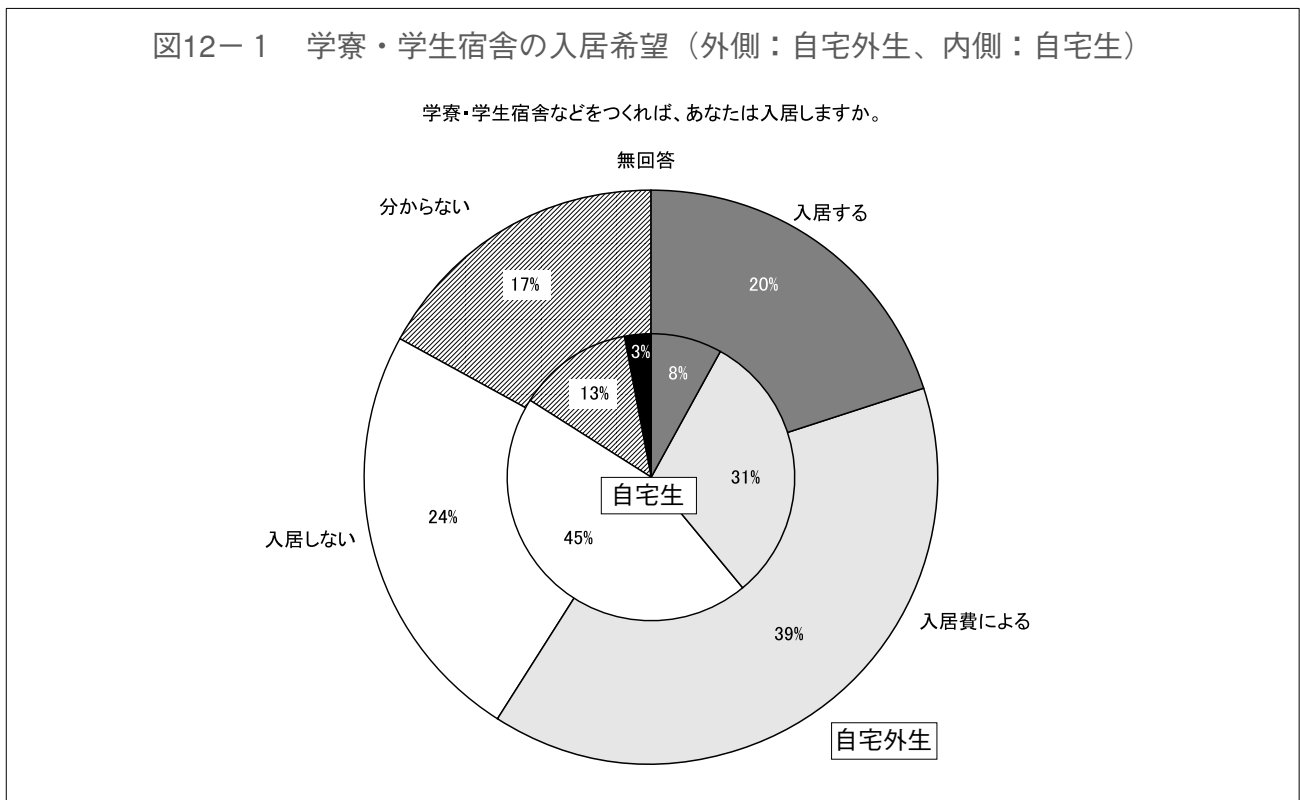
調査回答者のうち、自宅生の現住所分布は、東京都49.3%（23区内36.1%、23区外13.2%）、神奈川県26.8%、千葉県11.3%、埼玉県10.1%、の順である（集計表VII-1表）。前回（2007年）調査との比較では、23区内で1.8%減、埼玉県で1.5%減、千葉県で0.9%増となっている。

自宅外生の住居区分は、例年同様「賃貸マンション・アパート（バスつき）」が68.2%と最も多く、2番目が「その他の寮」10.7%である。昨年前者で微減、後者で微増したものが、例年並みに戻っている（集計表VII-3表）。

通学所要時間は、片道平均49.3分で、自宅生は自宅外生30.8分の倍以上の66.0分を要しているなど、例年通りである（集計表VII-6表）。

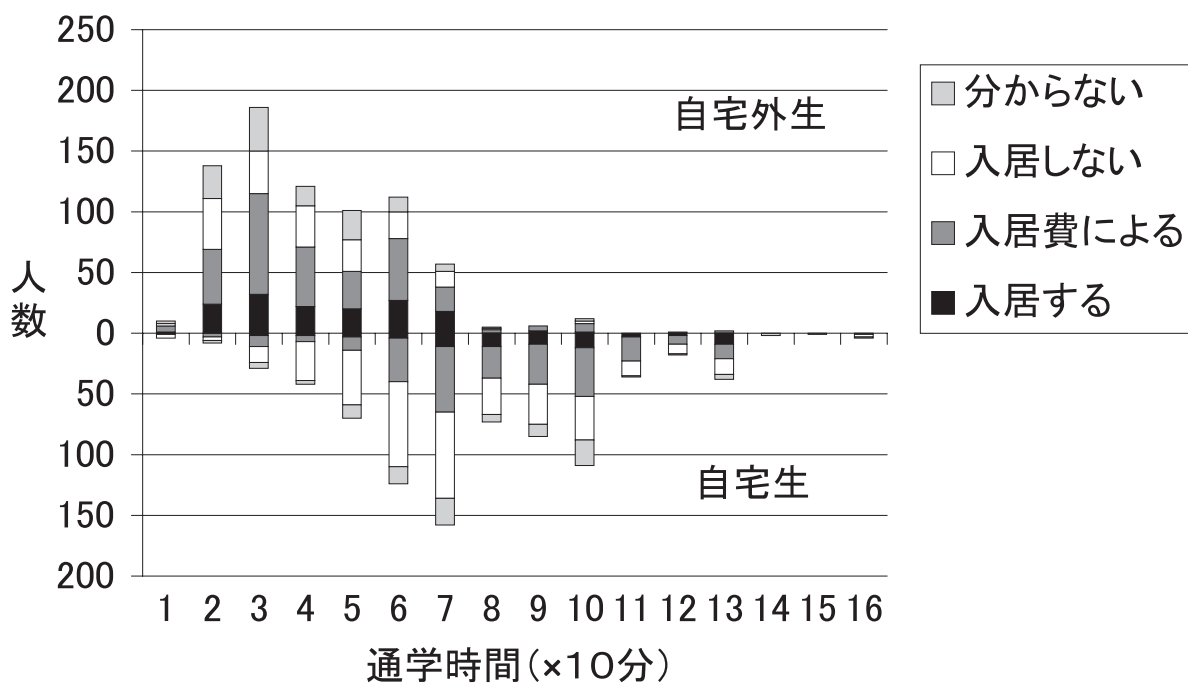
今回新たな設問として設けた「学寮・学生宿舎などを作れば、あなたは入居しますか」との質問に対し、図12-1に示すように、自宅外生では「入居する」が20%いる一方で、「入居しない」が24%もあり、「入居費による」と答えている学生が39%と最も多い。逆に、自宅生でも「入居する」が8%、「入居費による」と答えた学生も合わせると39%もの学生が適当な学寮・学生宿舎があれば入居したいと思っていることが分かる。

図12-1 学寮・学生宿舎の入居希望（外側：自宅外生、内側：自宅生）



この理由として通学時間との関係を見るために、自宅外生と自宅生にわけて、それぞれ学寮・学生宿舎への入居希望の分布を調べた結果を図12-2に示す。この結果から、自宅生でも通学時間が1時間を超えると学寮などに住みたいと答える学生が多くなることが分かる。

図12-2 学寮入居希望と通学時間の関係



これらのことから、学寮・学生宿舎の条件として、単に入居費が安いことだけではなく、通学時間が短い場所に所在することが重視されていることがうかがわれる。

通学に利用する交通手段では、「自転車」の利用が前期課程から後期課程に移ると大幅に増える（男子で10.5%→27.6%、女子で5.1%→16.3%）点は例年どおりであるが、男女合わせた全体で昨年と比較すると、前期は1.2%（相対比で15%）増加しているのに対し、後期は6.3%（相対比で24%）も減少している。調査時点では自転車駐輪料金の徴収制度が本郷構内でまだ始まっていなかったことから、この変化が駐輪有料化の影響かどうか即断できないが、今後注視していく必要があるようである。

2-4. 奨学金

奨学金を希望している学生は36.2%

利用学生のうち圧倒的多数は日本学生支援機構から貸与を受けている
用途は「生活費」、「授業料」、「教養・勉学費」が中心

奨学金の利用に関しては、「受けている」21.8%「受けたいが受けられなかった」14.4%合わせて36.2%となり、前回(2007年)調査の結果(36.4%)とほとんど変わらない(図13、集計表Ⅷ-1表)。

「受けたいが受けられなかった」あるいは「受けたくない」と回答した理由は、「貸与なので申請しなかった」がもっとも多く(35.1%)、「資格がない」(24.0%)、「出願したが採用されなかった」(9.1%)が続いている(集計表Ⅷ-2表)。また、「書類を期限までに整えられなかった」または「貸与なので申請しなかった」と回答した学生のうち、「これから受けたい」と回答した学生が46.8%、「受けたくない」と回答した学生が41.1%であった(集計表Ⅷ-3表)。

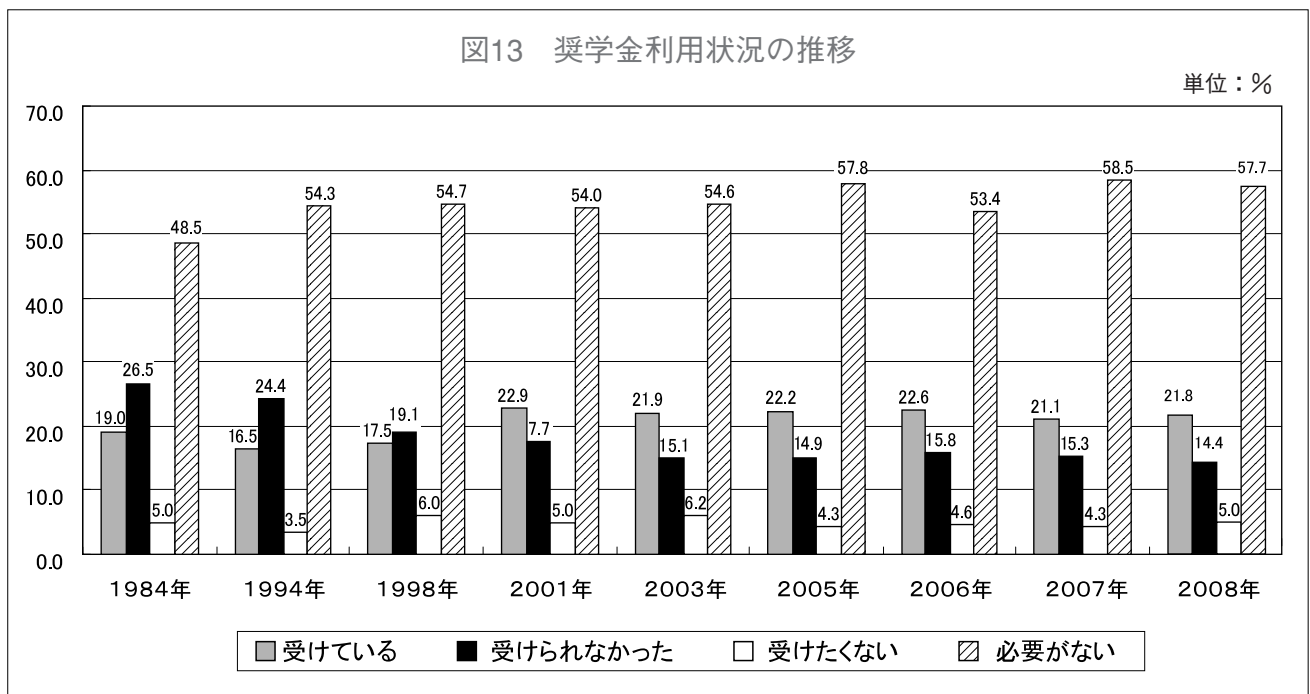
利用している奨学金の内訳は、「日本学生支援機構第一種奨学金(無利息)」が52.2%であり、同機構第二種奨学金(利息付)が42.3%であった。一方、その他の公益法人等地方公共団体の奨学金を利用している学生は22.6%であった(集計表Ⅷ-4表-2)。これら奨学金を併用している例もあるが、奨学金の多くが日本学生支援機構によるものであることは、これまでと同様である。

奨学金の主たる支出目的(用途)(3つまで選択可)は、「生活費(衣・食・住居費)」76.8%、「教養・勉学費」44.3%、「授業料」31.9%、「娯楽費」24.1%、「預貯金」16.5%の順になっている(集計表Ⅷ-6表)。前回調査との比較では、「娯楽費」の割合が9.4%減少している。さらに、「生活費」の割合が3.3%増加し、「授業料」が5.2%低下している。

また、奨学金はどのように役に立っているのか(2つまで選択可)については、73.3%が「家庭の経済的負担が軽減される」と回答し、「奨学金があるので生活が成り立っている」38.3%、「多少ともゆとりのある生活ができる」26.1%が続いている(集計表Ⅷ-5表)。

図13 奨学金利用状況の推移

単位：%



2-5. アルバイト

アルバイトをしている学生が80.3%
 アルバイト収入の使途としては、「娯楽費」が63.3%、「生活費」が45.7%
 紹介先はインターネットが定着 週に11.2時間、月額で47,000円

アルバイトをしていると回答した学生は、全体の80.3%（「継続的」54.3%、「臨時」8.4%、「継続的+臨時」17.6%）で、前回（2007年）調査との比較では全体で1.3%の減少となっている。また、男子学生の79.4%に対し、女子学生は83.4%で、前回調査と同様女子が男子を上回っている（集計Ⅸ-1表）。

アルバイトの種類は（2つまで選択可）「塾講師」37.9%、「家庭教師」36.6%、「販売・セールス・サービス業」27.3%が上位で、男子の場合は「塾講師」40.8%、「家庭教師」33.7%、「販売・セールス・サービス業」23.5%、「試験監督・採点」17.2%と続き、女子では「家庭教師」44.4%、「販売・セールス・サービス業」38.9%、「塾講師」27.0%、「試験監督・採点」16.7%と続いている（集計表Ⅸ-2表）。

アルバイトの従事時間数は1週間当たり11.2時間、1か月当たりの収入額47,000円で、前回調査と比べると、時間では週当たり約0.3時間増えているものの、収入では月額約400円の減少となっている（集計表Ⅸ-3表）。

アルバイトの紹介者（2つまで選択可）は「友人・知人等」37.4%、「インターネット」35.7%、「アルバイト先と直接」26.9%、「新聞広告・アルバイト広告誌」13.0%、「大学の担当事務」9.7%と続いている。インターネットによる紹介や友人・知人による紹介が減少し、「アルバイト先と直接」が増加している（集計表Ⅸ-4表）。

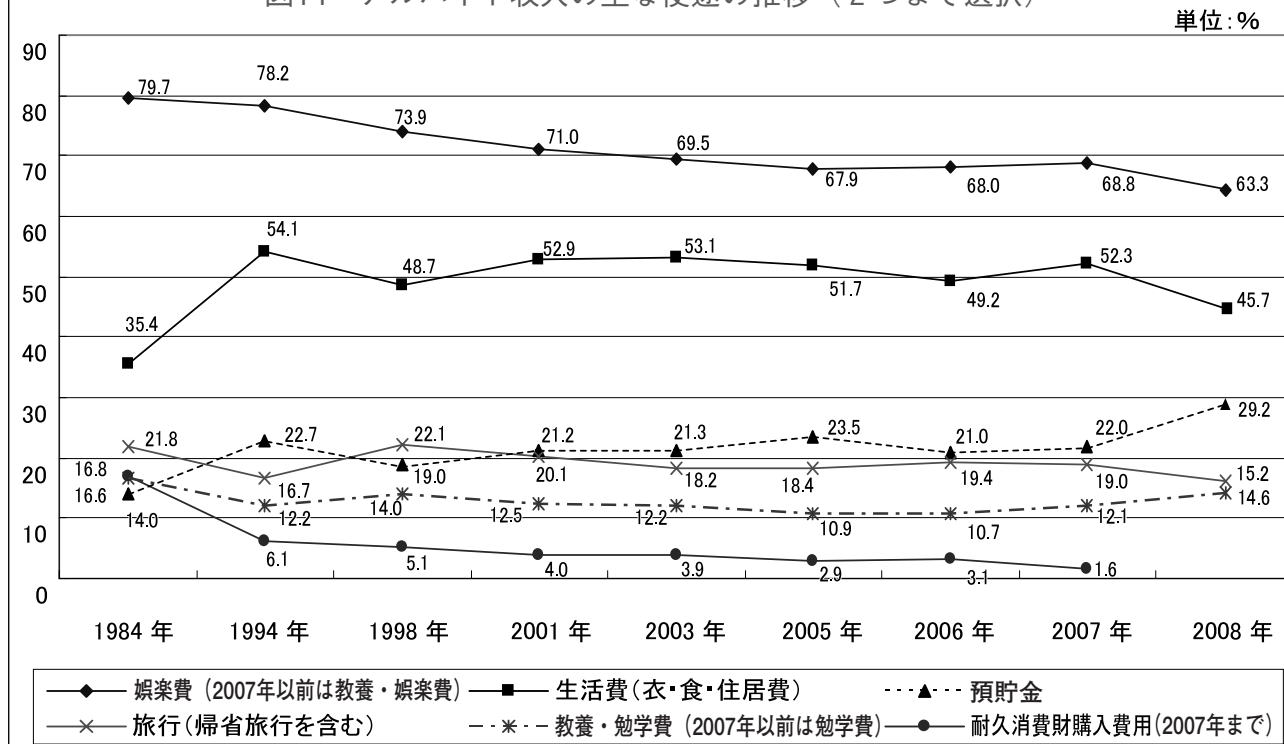
アルバイトをした理由では、「生活費を稼ぐため」を挙げている学生が32.8%で最も多く、「学生生活を楽しむため」32.4%「社会経験のため」24.2%となっている（集計表Ⅸ-5表）。

アルバイト収入の使途は、「生活費（衣・食・住居費）」が45.7%で、1994年に54.1%に増えて以来50%前後に定着していた割合が、減少した。また、「娯楽費」も前回調査の68.8%から63.3%へと着実に減少している。一方、預貯金は、前回の22.0%から29.2%へと増加している。（図14、集計表Ⅸ-6表）。

「継続的アルバイトが勉学の妨げになりませんか」という問いに、「かなり妨げになる（なった）」と回答した学生と「多少妨げになる（なった）」と回答した学生を合わせると56.5%になるが、前回調査より2.7ポイント増加している（集計表Ⅸ-7表）。

現在の暮らし向きについては、77%の学生が普通以上であると答えていて（「かなり楽な方」24.5%、「やや楽な方」22.0%、「普通」30.5%）。前回調査より3.8ポイント減少している。反面、16.2%の学生が苦しいと答えており（「やや苦しい方」13.2%、「大変苦しい方」3.0%）、前回調査より1.7ポイント増加している（集計表Ⅸ-8表）。

図14 アルバイト収入の主な使途の推移（2つまで選択）



2-6. サークル活動

サークル加入は66.4%
「スポーツ同好会」38.7%、「芸術・趣味のサークル」38.4%、「運動部」23.0%
活動時間は、週11.1時間、費用は月額10,700円

調査時点で学内外のサークルに「入っている」学生は66.4%で、かつて「入っていた」学生20.9%をこれに加えると87.3%になり、9割に近い学生がサークル活動を経験していることになる(集計表X-1表)。サークル活動が大学生活の中で重要な位置を占めていることが裏づけられた。前回調査(2000年)に比べると、サークルに「入っている」学生が8.5ポイント増えた一方、「入っていた」がやめてしまった学生は7.7ポイント減っており、サークルへの定着率が高くなっていると言える。

サークルの種別を回答の多い順にあげると、「スポーツ同好会」38.7%、「芸術・趣味のサークル」38.4%、「東大運動会加入の運動部」23.0%、「学術的なサークル」10.3%となっている。前回調査に比べると、「スポーツ同好会」が10ポイント近く減少している一方、「東大運動会加入の運動部」は3ポイントほど増加している(1人の学生が複数のサークルに所属していることがあるため、百分率の総計は100%を超える)。男女別でみると、スポーツ関係のサークルが男子で63.7%、女子で54.0%、芸術・趣味ないし学術的なサークルが男子で45.8%、女子で57.6%となり、男子の方がスポーツ関係のサークルに女子より多く加入している(集計表X-2表)。

参加目的は、「活動内容そのものをやりたい」79.3%、「友人を得たい」58.6%、「サークルに入ると大学での居場所ができる」28.1%、「体力をつけ健康を増進させたい」21.7%、「精神生活を豊かにし人間性を磨きたい」16.5%の順となっている。前回調査と比べると、「知識・技能を得たい」が8.1ポイント、「友人を得たい」が6.3ポイント、「体力をつけ健康を増進させたい」が6.4ポイント、それぞれ減少しているのが目を引く。男女別でみると、「友人を得たい」では男子が55.8%、女子が67.3%で、女子の方が10ポイント以上高くなっているが、「異性と交際する機会を持ちたい」となると男子11.0%に対し、女子がわずかに0.6%であるのは興味深い(集計表X-3表)。

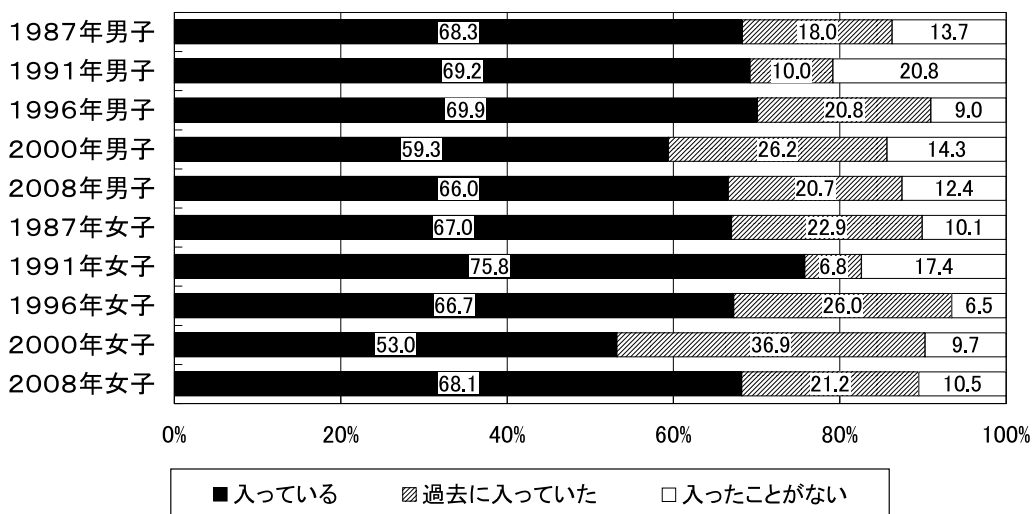
満足度については、「満足」53.5%、「どちらかといえば満足」33.6%で、両者を合わせると87.1%に達する(集計表X-4表)。前回調査と比較すると、「満足」が1.8ポイント減少した一方、「どちらかといえば満足」は5.3ポイント増加している。

活動の時間およびそれにかかる費用は、週平均11.1時間で月平均10,700円となっている。前回調査と比べると、活動時間が2.7時間増えたのに比例して費用も2,300円増額している。男女別でみると、活動時間は男子の方が週平均で2.64時間長く、費用も月平均で3,040円多くかかっている(集計表X-5表)。

サークルをやめた理由は、「その他」30.8%が最も多く、これに「学業と両立しない」29.9%、「活動内容に興味を失った」21.5%、「人間関係の不和」14.8%、「サークルの方針に不満」13.9%、「出費が多い」11.8%が続く。前回調査と比較すると、「学業と両立しない」が4ポイント、「活動内容に興味を失った」が6ポイント、それぞれ減少している。男女別でみると、「体力的に苦しい」(男子9.7%、女子16.5%)、「能力が足りない」(男子10.5%、女子6.3%)、「出費が多い」(男子13.8%、女子6.3%)、「家族の反対」(男子0.4%、女子6.3%)などに有意の差が認められる(集計表X-6表)。

サークルに入ったことのない11.9%の学生の、入らない理由は、「個人的にできる趣味・娯楽で満足だ」33.0%、「入りたいと思うサークルがない」29.8%、「人間関係が煩わしい」23.9%、「学業と両立しない」21.8%の順となっている。前回調査と比べると、「個人的にできる趣味・娯楽で満足だ」が6.9ポイント、「学業と両立しない」が4.3ポイント、それぞれ減少した一方、「人間関係が煩わしい」は5.1ポイント上昇している。男女別でみると、「学業と両立しない」(男子20.3%、女子28.2%)、「個人的にできる趣味・娯楽で満足だ」(男子35.1%、女子25.6%)、「人間関係が煩わしい」(男子25.7%、女子17.9%)などでかなりの差が見られる(集計表X-7表)。

図15 サークル活動「加入状況」の推移



大学生活で困っていることや心配していることがありましたら、具体的に記入してください。

〔文I男性〕

- ◆ 今の生活に意味があるのか不安になることがある。若くて何でもできる（と思える）この時期に大学にいて、社会から見れば必ずしも役に立つわけではないことをしているのかと悩む。友人ができなくて困っている。大学の性格上、顔見知りの人はいる。でも、考えや悩みを本音で話し合える友人はいない。表面的な関係だけの人しかいないと思い、寂しくなることがある。
- ◆ 自分の将来に対する考え方や、学び方が合っているのかどうか。合っているのか、というのは、このような考え方のままで、果たして自分が将来の目標に到達できるのか、ということである。どうも周りと比べて、将来を楽観視しすぎているような気がしてならない。
- ◆ ロースクールまでいくと多大な金と時間がかかる上、社会に出るのが遅くなる。また、試験（院試、司法試験）勉強もしなければならない。そのような大きな負担を強いられながら、混迷する大学院・司法試験制度の中できちんと資格がとれるのか、不安である。
- ◆ 東大は他大と比べ、周りの学生の頭が良く、故に善くも悪くも勉強に気が抜けない。それが時に重いプレッシャーとして精神にのしかかってくる。自分には一人でそれを解決することは難しく、結果留年か休学する事態になってしまった。今は学生相談所を利用することである程度緩和されているが、単位のとり方、アドバイスを教務課から最初にもっとアドバイスしてもらえればと今でも悔やむ。
- ◆ 人間関係。東大自体の他大との交流機会がほぼ皆無である上、やはり同質な人間が多く、新たな視点・発見が少ない。サークルに任せきりでなく、学校を挙げて学生同士を結びつける動きがあってもいいと思う。馬鹿げたことかもしれないが、男女比も大きな問題である。互いのためを考え、もう少し女性を多く受け入れる、あるいは外部から東大への交流を奨励するなどしない限り、数多く激戦にさらされる男性諸君はむくわれぬ。晩婚化・子供化などの一翼を担っている東大の学生に栄光あれ。
- ◆ 学生会館は耐震工事をするくらいなら学部主導で抜本的に建て替えてもらいたいと思います。反対しているのは自治会のみで一般学生は、それほど反対していないと思います。大量のビラや立て看板を見かけますが、床にまでまきちらされていることが多々あり美しくありません。なんらかの対策をして頂きたいです。駒場キャンパスの学食が狭すぎなので広くしてほしいです。

- ◆ わざわざ大学へ出向いてまでマスプロ授業を受ける気が起きない。教科書があると尚更。授業が他人事のように感じられることがしばしば。あと、とにかく家族全体として家計が厳しく、バイトせざるを得ない。そんな時間があつたら本当は勉強したい。
- ◆ 進学に関する情報提供に関して、教養学部の教務課の対応が他学部と比較して行き届いていない。特に進振りに関して提出すべき書類などの重要な件については、U-TASKや掲示板にのせると同時に、正門にもその知らせを告知する看板を設置すべき。
- ◆ 最も困っているのは、生計を立てることである。他にも兄弟がいるため親に頼ってばかりはいられない。一方、東京で暮らす以上それなりの出費（特に住居費）は避けられないため、常に金銭のやりくりを配らなければならない。講義の予復習についても不安を持っている。高校の学習内容とは質・量共に大幅に異なるため未だに学習方法が確立できないでいる。
- ◆ 法学部の授業についていけるか不安。法学部砂漠と呼ばれている法学部生間の人間関係の希薄さは悪しき伝統だと思う。懇親会などの機会を増やすべき。就活で落ちこぼれる学生に対するセーフティネットは存在するのか？
- ◆ 学費は半額免除になっていますが、それでも年間26万円+教科書代の負担は重すぎます。学費は仕方ないにしても、教科書は高価すぎて、4000円もする本を何冊も買うことはできず、興味のある講義も諦めざるを得ないのがつらいです。しかも、東大出版の本は、高い、つまらない、分かりにくいと悪評高い割に、教科書に指定され、買わされることになるのが納得できません。心配といえば、学費が上げられることです。半額免除がなくなれば、もう大学に残るのもつらいです。成績はそれなりにとっているのですが、大学の成績でも学費免除していただけると、バイトの負担も減って良いのですが、それはぜいたくですよね。
- ◆ 法科大学院への進学が当面の大きな目標であるにも関わらず、運動会の活動にのめりこんで、大学生活に大きな矛盾をきたしてしまいました。運動会の活動にも意義を感じつつも、本来の目標に対する前進にはなっていないことに焦りを感じる。両立は困難。人生は取捨が必要ですね。
- ◆ 守衛の人にあいさつしない東大生を見て、このままでいいのかと思う。

〔文I女性〕

- ◆ 教室に時計を置いてほしいです。
- ・授業中におしゃべりをしている人がいまだにいて授業に集中できません。先生方ももう少し厳しい対応をとってほしいのではないのでしょうか。

- ・ロッカーは1人1つ必要です。
- ・友人が文三に在籍しているのですが、方法基礎で抽選ではずれたために不当に厳しい先生にあたってしまったそうです。遅刻1回（交通機関による遅延を含め）で不可というのは（他のクラスとのバランスを考えると）行き過ぎではないでしょうか。

◆ 法学部に内定した2年生なので、900番教室で法学部開講の授業を受けている。講師、授業内容には満足しているが、授業の環境に納得がいかない。大勢を1つの教室につめこみ、遠い黒板を眺めさせ、生徒がざわつくと講義も聞こえなくなる。日の当たらない場所で冬は寒いし空気はこもって陰鬱な感じだ。せっかく同じような授業料を払っているのに、この環境は不当ではないでしょうか。

（私自身、改善策が思い浮かばないので、無責任な発言となり、すみません）

〔文Ⅱ男性〕

- ◆ 奨学金の申請などは自己責任でしなければならないと思うが、授業や部活で忙しくてアドミニ棟などに行けなかったり、どこに掲示してあるのかがよくわからなくて、申請を忘れていないか心配している。
- ◆ あやしげな団体がうろついているので、7時位からは巡回を強化して欲しい。
- ◆ 遠距離通学のため移動に時間がかかり、学生生活の多くに制限がかかっている。都内に移住したいが、在学中に父が定年退職を迎え、中学生の妹がいる中では経済的に困難を極める。こうした状況を打開するための制度的枠組を、大学側に是非、用意してもらいたい。
- ◆ 進学振り分けで希望する学部にいけるか、非常に不安である。
- ◆ アジアの他の大学を見ていると、欧米を中心に1年などの交換留学を行っているところが多い。留学なしに4年間過ごすことで視野が狭くならないか。

〔文Ⅱ女性〕

- ◆ 教務課の対応が不親切。雰囲気相談しづらい。部活の関係で強制的に授業を休まなければならないことがあった。また部の財政が良くないので渉外活動が多い。
- ◆ 精神的悩みを相談したくても、相談所が学内にありますので行きません。現在は病院のカウンセリングへ通っていますが費用が高く、大変です。行きやすいカウンセリングを作っていたら、非常に助かります。
- ◆ お酒の席のおつき合いにたびたび悩みます。私は未成年なので飲酒はしませんが周囲の人は平然と飲み、酔い潰れ、度を越している状態が度々あります。私もつきあい上、そのような場に同席することは多々ありますが、ソフトドリンクの割に出費がかさむこと、倫理的うしろめたさ等から、これらのおつき合いを一切断つべきかそれとも黙認・我慢がいいのかでいつも悩

んでいます。

- ◆ 大学生生活は楽しい。だが、主体性を欠くと、何も得られないまま4年間が終わりそうで怖い。私は単位を取得するためにわざわざ東大に入ったのではない。大学生生活の自由さとう向き合うかが今一番の心配事である。

〔文Ⅲ男性〕

- ◆ ・大学の周辺に充実した書店がない。生協だけでは、十分でないと思う。
- ・教務課・学生課の受付時間を延長してほしい。五限、六限後でも大丈夫なように。
- ・一人で、真っ暗な寒い家に帰るのは非常にさみしいものがある。
- ・いくら寝ても睡眠不足のような気がする。このようなテーマに絞って、保健センターで講座などを開いてほしい。
- ◆ 未成年の飲酒。自分のクラスでは四月時点で28人が未成年だったが、1人を除く全員が何の抵抗もなく飲酒している。
- ◆ 国立であるにもかかわらず学費が高すぎます。教科書代などを含めると相当の額となっており、生活の苦しい状況です。可能であれば値下げをお願い致します。
- ◆ 学生同士が真剣に話し合えるような場を設けていただきたいです。困っている、というわけではないのですが、学部外の友人が増えにくいことを残念に思っています。
- ◆ 私は、自分の専門分野に関する情報を得ることに非常に苦労している。基本的な事柄は自分で本を読んで学べばよいが、駒場では進学先（本郷）の研究室と交流する機会が非常に限られているため、先輩や専門の先生方に個別的・具体的なアドバイスを求めることが難しい。そこで最近ではわざわざ他大学の学術イベントに参加することで情報を得ている。できることなら駒場（前期課程）と本郷（後期課程）との間の垣根をもっと低くしてほしい。
- ◆ 運動会の活動が活発すぎて、勉強がおろそかになってしまう。しかし、今退部しても、2年生から入れるようなサークルはあまりないのでやめられないでいる。部活動よりも授業を優先してよい制度を整えて欲しい。
- ◆ 保健センターの精神科について。通院者の見方になってほしい。私達を機械的に「処理」しないでほしい。有料でもいいので話を聞いてほしい。なぜ保健センターで話したことを学生課の先生が知っているのですか？ いつ、誰が来たかということも全部筒抜けになっていることを知りました。屈辱です。
- ◆ お酒が全く飲めないため付き合いが表面上になりがちである。また酒の席では参加してもいつもノンアルコールのものを飲んでいるが、いつか強要されるのではと不安である。
- ◆ 文三に所属しているが文三の学生の語学水準が非常

に高すぎて私には到底ついていけるような気がしないので困っています。落ちこぼれた学生をサポートするような制度を各語学部が作った方がよいと思うのですがいかがでしょうか。

- ◆ 法学部の授業と教育学部のゼミのために、文字通り寝る間も惜しんで（当然スポーツする暇もない）いそしんだ結果、健康に大いに不安を覚えるようになったが、家族は本気にしてくれず、医者に行っても原因不明で、もはやどこに相談し、どう対処していいのかわからない。

〔文Ⅲ女性〕

- ◆ 銀杏並木から雌株を撤去してほしい。銀杏が臭くて歩けない。
- ◆ 学部留学を希望しているのですが、AIKOMは利用できないため、一般留学をしなければいけません。しかし、東大の場合、一般留学をすると休学や留年をせざるを得ず大変悩んでいます。AIKOMの枠を拡げるか、新しい留学制度を導入し、留学しやすい環境を作ってほしいです。
- ◆ 自分は教養学部の国関に進学したいのに、夏学期の平均点があと2点足りなかった。冬学期、2年の夏学期でもっとがんばらなければならない。私は国関で学びたいことがたくさんあるし、留学もしたい。それなのに、今進振りのせいで点数かせぐためにとりたいた授業（例えば国際関係論や近現代史など）がとれていない上に、進学できる確証がない。さらに、サークル3つ、バイト、飲み会、友達・家族・恋人との時間、旅行などやりたいことが多過ぎて、キャパ越えしかけている。
- ◆ 東大にまさか本当に合格すると思ってもなく、ICU（国際基督教）の自由に学部を制限なしで選べるというのに惹かれていたが東大に合格してしまった。1学期は自分の置かれた状況が信じられず、また初めての一人暮らしということで体力的にも精神的にも厳しくあまり勉強できなかった。今、2学期になりコマ数を少し減らし自分の将来を考えたり読書する時間ができ、様々な本を読んでいるが、生物を勉強したいと思うようになった。進学先も、生物を勉強できるところへ行きたいと考えているが文科生の私が3学期だけで要求科目を履修しきることができるかととても不安である。
- ◆ 学生の理解度を無視した講義がままある。教員が一人よがりにより90分板書し話しつづけることがある。

〔理Ⅰ男性〕

- ◆ 進学に必要な単位が足りているか、U-TASKでは数値しか表示されず、不安になる。また、進学者発表が3/24と、遅い。
- ◆ 部活動によって自分の時間がほとんどとれない。今のままでいくと4年間全く勉強できずに終わってしまう気がする。実家からの仕送りがあまり期待できない

のでアルバイトをしなければならず、ただでさえ少ない勉強時間がさらにけずられている。親にお金を払ってもらって東京に出てきて大学に通っているのに何も勉強していないのはとても申し訳ない。

- ◆ 自分が一生がんばれる学問を見つけられるかどうか心配。一年後、自信をもって進振りの希望を出せるかどうか分からない。
- ◆ 金がない。授業料全免や奨学金の収入制限の条件が前年度の収入では、退職した次の年の経済状況が厳しくなりすぎる。
- ◆ 早く社会に出たいと考えていたが、東大は教養課程の1年半の分だけ他大学の学生よりも専門知識が不足しているという点で就職後に活躍しにくいと言われた。院試を受けるにしても同様な理由で東大生は不利とされていて、何の苦勞をして東大に入ったのかと、いたたまれないし、将来がひどく不安だ。
- ◆ サークルに入りそびれたため休日かなり暇である。特に楽しいことがないため、別にいつ死んでも良いと思っている。彼女ができない。
- ◆ 進路・就職についての方針・指導が積極的に行われるとは思えず、進路が漠然としている。勉強についていくことや試験を克服することに対する心配は常にあり、具体的に取得しなければならない単位や勉強法について専門課程でも指導してほしい。それと学内からの大学院進学についても情報がほしい。
- ◆ 月曜日～日曜日まで1～5限目に授業が入っており、土日でも部活動があるため、趣味や旅行に費やす時間がとれない。
- ◆ 東大は女子が少なく異性と知りあう機会が少なくてこまる。大学の授業をもう少しよいものにしてほしい。学術サークルに入るとき、そのサークルがカルトでないかたしかめるシステムがなくてこまる。
- ◆ 自分は反2ch、反ニコニコ動画という立場をとっているのだが、東大生にはこれらのユーザーが多く困っている。そういったサイトの“用語”が教室内を飛び交うだけで胸糞悪い。
- ◆ 家庭教師のアルバイトがしたいが、求人情報が少ない。また条件が厳しいため採用されない。
- ◆ 大学へ入学したら、勉強だけでなく友人を作って楽しい大学生活にしようかと思ったが、思うようにいかずに大変困っている。
- ◆ 学科の授業には理論と演習があるのだが、その内容が全くかみあっていない。そのことを教員も知っていながら、あえて放置している。これでは全く授業の意味がなく、すでに学習内容の知識を持っている者のみが理解できる演習の内容になっている。もちろん追いつけるように努力はしているが、せめて授業とのリンクをとったり、授業範囲外はその場で教えたりするような演習をしてほしい。（物理学科）
- ◆ 将来結婚できるのかどうか不安である。先生方はど

のようにパートナーを見つけていらっしやるのだろうか？

- ◆ 自分は中・高と親の言いなりになって、結局ここまで来てしまった気がする。このような人物には、自主性、自立性が欠けており、健全な大学生活を営むのは難しい。今までは「頭がいい」というだけで自然と友達ができていたが、大学ではそのようなアドバンテージはなく、苦労している。同じクラスにK君という男子がいた。彼も自分と同じようにレールに乗ってここまで来たらしいが、彼が人と話しているのを見たことがない。彼を最後に見たのは夏学期の追試のときだが、噂ではほぼすべての必修科目の追試に来ていたらしい。それから彼を必修の授業で見ることがなくなり、これからも来ないだろう。クラスでも存在を忘れられている。自分は彼のようになりたくない。
- ◆ 以前スポ身の授業の時に打撲をして、保健センターに行ったら、既にやっていた。後で調べたら、そもそも症状によってやっている曜日が違うことを知り、愕然とした。一体何のための保健センターか。
- ◆ 「優3割規定」の影響であるのかもしれませんが、先生方の中に教えるという目的を忘れて、生徒間に差をつけることのみで心血を注いでいらっしやる方がいるように思います。
- ◆ 進振りについての説明が少なすぎるので不安です。地方出身で何も分からないまま上京し、あれよあれよという間に時がたってしまうますが、最初から進振りのことについてよく知っておかないと、履修の関係で点数的に不利になってしまったり、不要な心労を招いたり、逆にすべき心配をしなかったばかりに大変な事態に陥ったり…というようなシチュエーションになりかねません。いつでも聞きに行ける機関があると、心強いです。あるならもっと広報してほしいです。
- ◆ ・保健センターの開館時間を拡大してほしい。(駒場)
・インフルエンザなどの予防接種の手配をして欲しい。(駒場)
- ◆ 4学期の先生方が学生の学力を過大評価しすぎていて授業のレベルが高すぎる。要望科目にすら入っていない分野のことを知っててあたりまえという感じで授業を進めるので、非常に困る。
- ◆ 履習について、制度を誤認していて単位が足りず、現在留年の瀬戸際に立たされているので、履習制度をわかりやすく(必要な単位etc.)周知させてほしい。
- ◆ いわゆるオタクが、クラスの大半を占めているが、自分はそのような人々と友人関係を築けないため友人をつくることができず困っている。趣味がアニメ関係に偏っている人物が多く、趣味を共有できるような友人がいない。また、将来について真剣に考えていたり、夢をもっている人も少ない。世間で言われている以上に、勉強ができるから入学したような人が多く、人として魅力を感じることでできる人物はまれで、幻滅を感じるばかりである。

- ◆ 理系は男女比が異常であるため同性の恋人ができてしまい、異性の恋人を作る機会がない。
- ◆ ・駒場キャンパスでのことですが、生協食堂をもう少し大きくは出来ないのでしょうか？ 昼休みは混みすぎて入りたくなくなります。
 - ・図書館にもう少し新書を増やしてもいいのではないかと思います。
 - ・サークル活動で朝早く11号館裏のトイレを利用したりするのですが、たまに掃除をしていて困ります(笑)。できれば、授業中などもう少し利用者の少ない時間帯にお願いしたいです。
- ◆ 学部に進学後、友人関係が狭くなるのではと少し心配です。かといってサークルやバイトに時間を割いてしまうと勉強の時間が削られてしまいそうなので、サークルやバイトをするのはためらっており、勉強とそれ以外をうまく両立できていないことがもどかしいです。(ふっきて、どちらかに専念できれば良いのですが)
- ◆ 東京大学がある立地は、快適に生活するためのコストが非常に高い地域です。にもかかわらず、大学による住居の支援が不足しています。学生運動の温床になるなどの懸念があるのかもしれませんが、それは適切な人事配置で対応を試みるものであって、後ろ向きに先延ばしする問題ではありません。
- ◆ 理科一類(1年)の英語二列で実施されているALESSは、生徒に過度の負担を強いており、他の科目を学習する時間が減り、幅広い教養を身につけることの妨げになっている。
- ◆ 精神病について認知され始めた昨今だが、未だに偏見や誤解も多く、不利益を被ることがある。教員、学生問わず正しい理解で接してほしい。
- ◆ 経済的理由により大学院への進学は諦めざるを得ないことが悲しい。授業料半額免除と、学生支援機構の奨学金によって私自身の学費については何とかなるが、弟の大学進学や祖母の体調を考えると、学部卒業後はすぐに就職して賃金を得なければならない。また、その奨学金も、要は「借金」であるわけで、数百万円の借金を抱えた状態で社会に出ることは不安である。

[理I女性]

- ◆ 神奈川県に住んでおり、試験期間に自宅付近は雪や台風で交通機関が止まっているが、東京は天候がよく、何の問題も起こっていないということがよくありました。その場合、遅刻や欠席などで一部の人がやむなく不利となるので、何か明確な対策があればいいなと思っています。
- ◆ 将来について。自分がどういう仕事にむいているのかが分からず、仕事とは何かがいまだによく分からない。仕事説明などを文面で読んでも、それが一生続ける仕事になるということが想像できない。他の東大生徒の能力差を感じる。

- ◆ 男子が多くて友達を作りづらく、悩みがあったときにすぐに相談できずに困っている。

〔理Ⅱ男性〕

- ◆ 自分の単位が足りているのか不安になることがあります。履習登録の時点で、登録されている授業では全て単位を取っても進級できない、といった場合には、連絡してもらえると、大変助かります。実際、一年時に総合科目を8単位そろえなければならないのを知らずに、留年した人がいるようなので。
- ◆ 入学したての頃、クラスの人間とうまくやっていけず、学校にもいけなくなり憂鬱になった。勉強する気力もなく留年してしまった。誰に相談したらよいか分からず、死のうとして、手首を切ったこともあった。何を勉強すればいいのか分からなかった。入試では科目になかった物理系の単位がなかなかとれなかった。
- ◆ 必修科目が難しい。入試が化学+生物受験だと、力学、電磁気学の授業がわからない。
- ◆ ①周囲の有能さと自らの平凡さに苦しむ毎日が続くあまり、自己の精神が解離を起こす様を眺める毎日が続く。
- ②数多くのコミュニティに籍を置くあまり、自分の居場所が掴めず孤独感にさいなまれている。一人暮らしということもあり、真っ暗な玄関に出迎えられた際の絶望感が襲う。
- ③ある女性に振られた傷が癒えず、それをひきずったまま駒場祭の激務につぶされる。もはやアイデンティティの確立ができずにmixiでSOS信号を送り続けるも誰からも気付かれることなくここに終わろうとしている…。
- ◆ 数学について、「厳密、厳密」と長々とわれ、直観の説明があまり得られず、大学に入ってむしろわからなくなった。そもそも、理Ⅱ後期(旧)で入試であり数学を使っていないのに、数ⅠのA、Bすらも選べず一方的に実質「A」の授業がされており、理解できない。このことが、単位取得上異常にネックになっている。また、住居費も地元の3倍(それでも近辺では安い)、三鷹寮は遠すぎる、という状況で、住居費がそのまま生活を圧迫している。本郷に移るとさらに高くなるので非常に心配である。また点数も思うように取れず、そもそも行ける学科に進みたいと思える分野があるかどうか心配になっている。
- ◆ 地方から東京に出て来まして、現在一人で寮暮らしな訳ですが、やはり孤独を感じる事がままありまして…。恋人がいてくれればいいんですがね…なんてない物ねだりをしては仕方ありませんね(苦笑)。まあこんな個人的すぎることは置いておきまして、理Ⅱから医学部への進学に一言。枠が少ないため、どうしても必要な点数が高くなるのはわかりますが、平均90弱ということは、情報やら数学やら身体やらでも「優」が大体必要な訳で…。もう少し何か医者になるために必要なことがあるんじゃないかな…なんてたまに悩む

今日この頃。点数も足りなさそうだし(泣)

- ◆ 理系の研究者を目指していますが、「ポストク問題」などの話を聞いて将来のことを不安に思っています。
- ◆ 数学の内容が高度過ぎてついていけない。数学が成績の足をかなり引っぱってしまう。進学志望の学科は特に高度な数学を要求するわけではないのだが。
- ◆ 教科書の値段が高く、履習している全ての科目の教科書をそろえることができず、自習が思うように進まない。
- ◆ 奨学金とかの手続のアナウンスをもっとしてほしい。危うく奨学金アウトになるところだった。授業を病欠してもふつうの欠席扱いになるのをどうにかしてほしい。
- ◆ ・資金繰りがきびしい。借金は奨学金免除の査定にかかわらないため、生活が苦しくともそれらの恩恵を受ける資格がなくなってしまう。それをバイトで稼ごうとすれば平日も土日もバイトをフルにやらないと1月分の生活を稼げないし、ましてや授業料や入学金など払うことは通常のバイトではむり。今は(自炊できる環境ではないが)親類宅にいたので住居費が0なのでなんとかまわっているがこれが下宿になった日にはもう首が回らない。
- ・大学に来る以上そこで学ことをメインにすえたいが、たとえばPCが要ったり本が高かったりと学び自身に金がかかる。だからといってバイトのためだけに大学に居る(と揶揄されても仕方がない)状況にはなりたくない。
- ・どうあっても地方出身者と地方の差はやはりはっきりとある。それと資金力の差は…あるとないとで大違い…。
- ◆ 進振りで理系から法学部に内定したもののだが、専門科目が3学期から始まっていて、しかも必修の授業がその中に含まれていることを知らなかったため、法学部の授業は4学期から受け始めた。それ故、授業についていけず、単位が取得できるか非常に心配している。法学部も経済学部のように専門科目を4学期から始めるようにし、文一以外の科類からの進学者に配慮すべきだと思う。
- ◆ 単純に時間が足りな過ぎる。いくらあっても足りない。また、東大ということもあり、学問はもちろん芸術などその他の分野でも自分をはるかにしのぐ存在がいて、一時も気が休まらない(それが東大の美点でもあるのだが)。
- ◆ 授業についていくのは問題ないのだが、それに加えて必要な勉強を自分でやる時間を確保するのが難しいので、1年ほど休学して自分で勉強したいと思うことがある。が、奨学金を受け学生宿舎に住む身の上なので、気軽にそういうことが出来ない。

〔理Ⅱ女性〕

- ◆ ・自分の意志で授業を休む友人にノートを貸すように言われ、断れない自分自身がイヤだ。

- ・体調管理を正しく行う方法が分からないと思う。
- ・大学生になって人間関係や生活形態の自由度が大幅に上がったので、墮落した気がする。このあと社会に出ていけるのか不安だ。

- ◆ 学業とサークルと、と活動していると、忙しくて十分に予復習する時間も休養をとる時間もなく、毎日をごさすのが精一杯で日々に満足感を得ることができていない。
- ◆ 入学に際して何らかの制限があるならともかく、社会人経験者に該る年齢の人間も平等に入試の得点で入学させてくれるので、奨学金について「本人が借りるのは不可」という扱いがあるのは非常におかしいと思います。前期教養では進振のために皆高得点を狙っていて、その中でただでさえハンデのある年配者（能の働き方が多少とも衰えてくるのは当然なので）が勉学と仕事を両立させるのは大変で、だから奨学金がとても欲しいと考えてしまうのは自然なことだと思います。学生になるなら家庭の事情を問わず仕事をしてはならない、経済的余裕のない者は大学に入ってはならない、という暗黙の前提があるようですが、それなら奨学金制度などそもそもナンセンスです。本人が本人の責任で借り、必ず返却するというのが、むしろ本質的には理に適っているのではないのでしょうか。経済的に、とても困っています。
- ◆ 駒場・本郷とも、個人用ロッカーが欲しい。
 - ・駒場図書館の照明を明るくしてほしい。
 - ・冬期、暖房がはいるのが遅くて授業中コートを着ていなければならない程寒かった。
 - ・駒場の食堂は、本郷並みに安価にしてほしい。

〔理Ⅲ男性〕

- ◆ 必修科目での点数の取りやすさが教官によって非常に大きなばらつきがあることに困っています。ある力学の教官は、授業中に質問をした生徒には非常に高い評価をつけました。それだけならある程度良いことだと思いますが、質問内容がひどく、非常に簡単で大学生なら当然知っていて然るべき関数や文字の質問は評価の対象になるが、向上心ある学生が授業に関連が深い専門的な内容について意欲的にした質問は評価の対象外だとその教官はおっしゃいました。また、数学Ⅱのある教官は、その授業には3つのクラスが含まれており、その1つのクラスでレポートの丸写しがあったからとして、他のクラスの学生についても、レポートを提出した者は20点減点、未提出の者には加点も減点もなしになったそうです。これでは学習意欲がそがれます。

〔法学部男性〕

- ◆ 単位取得状況や履修状況をネットで確認するようになったのは良いことであるが、もっと機能を増やして欲しいと思う。例えば卒業にあと何単位（あるいはいくつの必修課目が）必要であるとか「学割証」をあ

何枚使えるか等。中途半端な機能しかないのではしばしば確認することがなく、新たな情報が得にくい。少なくとも、掲示板に掲げられる情報はすべてネットで確認できるようにしてほしい。

- ◆ 1. 孤独な学生生活を送っています。人とのつながりがなく、毎日むなしく過ごしています。ほとんどの授業が講義形式のため人と会話することなく一日を終えることもあります。
- 2. 特に法学部について
 - 多くの学生がロースクール進学希望者であるにもかかわらず、学部側は何も進学支援や相談を行っていません。その結果、多くの学生が高額な授業料を払い、予備校に通っています。また、どこのロースクールにも合格せず、留年する人もいます。
- ◆ 本郷キャンパスでキリスト教関係の勧誘が多いこと。一人で食堂で食事をしていると、前に座って勧誘してくる。
- ◆ ①法学部の講義に明らかに有資格者でない不審者がいる。安心して学習をしたい。
- ②法学部の講堂はちゃんと換気しているのか？
- ③26番教室の天井を直して下さい。
- ④25番への階段を広くして下さい。
- ⑤重要な情報を掲示板の分かりやすい所にはって下さい。分かりにくくてたまったものではない。掲示物の種類別でなくて、（もしくは追加して）新規の情報を掲示するスペースがあるべき。被る不利益と比べて、あまりに掲示が分かりにくい。それを「成年でしょ」の一言で片付けるのは責任放棄。
- ◆ 自転車置き場に自転車をおいてあっても、勝手に他の場所に移動整理されていることがまあり、特に夜間は見つけにくくて大変不便である（ついでに、あれだけのリソースを自転車整理に割いているのは、至極不適當ではないかとも思う）。

〔法学部女性〕

- ◆ 大学院へ行けるか、心配している。
 - ・図書館等、自習施設が狭く、空調もよくないことがあって学校で勉強したいがしがないことが多い。
 - ・教育実習の資格取得について、教育学部以外では大変わかりにくく、困った。

〔医学部男性〕

- ◆ 大学入学が遅かった上に、留年を繰り返し、もはや自分は何をすればいいのか、何をしなければならないのか分からなくなり、行きづまっています。保健センター、学生相談所、学部のチューター制度を利用して解決にならず、お手上げです。この歳で中退すれば将来が厳しいことは分かっていますが、大学生活を続けるのが苦痛です。
- ◆ 私は幸いそうではないが、昨今の経済状況を考えるに本学を受けたくても受けられない学生が多くいることについてもっと制度を充実させるべきである。そも

そも、東京圏以外の学生は、一人暮らしにかかる、敷金礼金なども含め、その負担は目にみえにくいものもふくめると多く、私の教え子をはじめ、多くの周りの者が、本年、本学を受けることを経済的に断念している。東大が、東京の国立大学ではなく、日本の東京大学であることを自覚し、行動に移してもらいたい。

- ◆ 医学部の4学期の講義がほとんど本郷で開かれていることについて、事前の連絡がなく、本郷近くに引越すまで非常に苦労させられた。
- ◆ 今6年生だが、思えば駒場時代は自分の中では無かったようなものかもしれない。まず1学年160人だった高校からいきなり1学年3,000人超の中に放り出されて居場所を失わないはずがなく、結果ほとんど常にキャンパス内では高校時代の友人と過ごしていた。駒場時代の知り合いで今も友人と言える人は皆無である。これが学年に同じ高校卒が自分しかいないような地方高出身だったらと思うと恐ろしい。さらに決定的だったのは酒が全く飲めないことだった。駒場のクラスやサークルで酒の場になじめない人は相手にされない。結果、家と大学を往復するだけの毎日、大学では授業に出るだけ、話すのもたまたま会う高校の友人のみ、という高校時代と全く変わらない(が比較的暇な)生活を1年半送ることとなった。後期課程に進学してからはだいぶましになったが、駒場の頃、こんな感じの微妙に満たされない生活を送っている人は意外に多いのではないかと思う。

〔医学部女性〕

- ◆ いつまでも成績が発表されない。

〔工学部男性〕

- ◆ やりたいことが多すぎて授業に出られない。生徒のライフスタイルを教員が頭ごなしに否定する。
- ◆ 自分の能力を活かしきれない。(あまり重要でない雑事ばかりが多く、本当にやりたいことができない)
- ◆ 就活の雰囲気が無い。
何か技能が身についているのか(何も得ていないような気がする)。
- ◆ 御殿下の開館をもっと早くして欲しい。10:30~でも需要はあるのではないか。
- ◆ 将来(就職)については常に不安。大学院の修士課程進学が決まっているがほんとうにそれで良かったのかと思うこともある。
- ◆ 運動会運動部に真剣に取り組もうとすると、それに必要となる気力、体力、時間、金銭は相当なものです。身体づくり、体調維持、事故防止の為に食事や睡眠を充分にとることだけに限っても、運動部に在籍しない人には全く想像のつかない量になると思います。学業に大きく影響してしまうこともあります。運動会にはそれだけのものをかける価値があります。
学業が学生の本分であることは間違いありませんが、運動会に所属し、学業が一時停滞している学生に対し

て寛大な処置を頂けると嬉しいです。

- ◆ 学部4年で、博士課程への進学が内定している。アカデミック・ポストに就きたいが、博士課程に進むと潰しが利かないように思える。特に、私は知識・頭脳の面で劣っているの、余計に迷ってしまう。
- ◆ 授業内容が高度でついていけない。
 - ・課題提出が多くて、復習することができない。
 - ・アルバイトをする時間がない。
 - ・学外での自習に頼らないと、ついていけないカリキュラムだと思う。
- ◆ このご時世なので、勉強した内容が就職先で使っていけるか、就職できるか、運動会を続けたまま研究ができるか、など。
- ◆ 就職活動を現在しているのですが、東大は、授業数が私大に比べて多いので、私大生に比べて不利を被る。海外では、インターンとして、数ヶ月企業に行く場合もあるのだから、もう少し就職活動に融通の利くシステムになってほしいと思います。
- ◆ 学部1年、2年と3年以降では忙しさが全く違う。負荷分散をしてほしい。後期課程で急に学生の負担を増やしておきながら学生の精神面のサポートなどと言わないでほしい。
 - ・学費が高い。周囲には経済的に苦しい友人も多い。
 - ・事務が昼休みに学生と同じ時間帯に休むのは不合理であり、授業時間帯に事務は休みをとるべきでしょう。学生には授業に出ずに事務に來いと言うのですか。

〔工学部女性〕

- ◆ 家賃が高い。
 - ・学生時代に学んだことが就職に生かされないのが不満。
どれだけ良い研究をしても、企業はそれを評価しないし、3年(院は2年)生から就活に時間を取られて、全く専門の勉強ができない。
- ◆ 教室が寒い。すさまじい風があるためだと思う。整備を充実を!!
- ◆ 工学部の単位が1.5単位というのを変えてほしい。毎日1~4限(午後は必修の実習)を毎学期、しかもほとんど落とせないという状況はきつすぎる。また、自分は就職活動をしているのだが、企業のセミナーや説明会・試験が平日に多くあり、必修と重なり参加できない事が多い。院に進学しない生徒のことも考えてカリキュラムを作ってほしい。
- ◆ 本郷にきて部室がなくなり活動がしにくく、居場所もなくなった。
 - ・自転車利用が不便である。規制だけでなく利用者目線での駐輪場整備をしてほしい。

〔文学部男性〕

- ◆ 単位不足。講師の授業内容や、伝えようとする気持ちの無さから欠席につながる事が多い。興味深い授

業とそうでない授業との差が激しく感じる。シラバスの題名と内容から、授業を選択するわけだが、当たりでない時には悲劇。代替が利かないのが残念。もっと詳しい内容を載せるか、2回以上導入授業があればと思うが非現実的か。つまらない教員が多い。あるいは自分の興味を持っている話題・研究と大学教員の興味とが離れていただけか。

〔文学部女性〕

- ◆ 自分の単位取得状況をいつでも簡単に調べられるようにしてほしい。せっかくweb上で履習登録ができるシステムがあるのに、成績を見られる期間が非常に短い。卒業をひかえる時期に自分が本当に単位が足りるかどうかは誰もが不安だと思うので、前学期までに自分が取得した単位数を、キャンパス・スクエア(?)で調べられるようにしてほしい。
- ◆ 入学以来寮に住まわせていただいておりますが、寮でできた友人も多くとても感謝しているのですが、お風呂のない生活がそろそろ辛くなってきました。おそらく私が寮にいる間には無理だと思いますが、もし新しく寮を建てることになったら是非浴室を共同でいいの作って下さい!
- ◆ 大学生活4年間、経済的不安との格闘の日々だったように思います。仕送りゼロで自分一人地方から出てきて、バイトと「奨学金」で自活しながら、学業に励むのは、自分のやりがいと喜びでもあり、それ以上に苦しいときもありました。意欲があり努力もしているのであれば、勉学に専念できる状況が保証されてほしいと思います。
- ◆ 先日、たまたま共同研究を行うことになった学生から心無い仕打ちを受け、トラウマになるような体験をしました。事務局の方、指導教員の先生と今後についてご相談させていただき、一段落しましたが、こういった事態はそもそも起こるべきではないと思います。大学ではただ高度な専門教育を行うだけでなく、学生の人間性を育む役目を果たしていただきたいです。どんなに学力が高くても、社会性に欠ける学生の存在は同じ東大生として恥ずかしく思います。
- ◆ 文系で大学院修士課程への進学を予定しています。修士課程終了後の進路について考えているのですが、専修課程の教授陣や先輩方になかなか相談しにくいと感じています。キャリアサポートセンターなどで個人情報伏せた上で、もっと細かい情報が得られるようになるの嬉しいです。
- ◆ 私は文学部で、就職に関して、大学側のサポートはあまりなかったように思います。1・2年生の段階から就職に関するセミナーや授業があれば、自分の進路をもっと早く決めることができ、就活期にあせらなくてもすんだと思います。
- ◆ 文学部には個々人で使える机やロッカーが一切ありません。学費が同じでも理系にはあるそうです。文学部は建物も古く、本郷キャンパスの中でかなり恵

まれていない学部だと思います。もっと、公平にして欲しいです。文学部はどうでもいい学部だと思われる気がします。

- ◆ 進路などに関して研究室などに相談できる人を教えて欲しかったです。居るには居るらしいけど、居ることや相談出来る(話をきいてくれるか)かということがはっきり伝わっていなかったように思います。
- ◆ 文学部ラウンジによく、生徒ではなさそうな怪しい男性が居ます。特に何もありませんが、あまりマナーがよくないので不快に思うし、少し危険だなとも思うので、もう少し厳しく入校者を見てもいいと思います。
- ◆ 自分が大学生活において本当に学習・成長しているのか、ということが、特に就職活動の時期になって、しばしば不安になる。以前授業中の雑談にてある教授が「大学くらい出ておくべきという現代の風潮は良くない」とおっしゃっていたが、確かにそう思う。私はこの大学に、「東大出身」というステータスのためだけに来ているのではないかと感じる。特に理系の友人が専門的知識を得ていることを聞くと、文系の自分は雑学を得ているだけに思え、無力感を覚える。だからといって、改善の希望が具体的にあるわけではないのだが。
- ◆ 研究室の融通がきかず(開・閉室時間など)、不便に感じる場合があります。また、私は直接被害にあったわけではありませんが、同じ学科でアカハラやセクハラにあった人がいるようです。少数の例外を除いては、やはり被害にあった方が研究者の道から追われることになるようで、もっと何とかならないものかと思えます。それから学生の中に授業妨害をする人がまれにいますがきちんと対処してください。
- ◆ 教職を取ろうとする学生にとって、各学部で開講されている教職用の科目に関する情報を、各学部のシラバスを入手して調べるのは大変苦労がいることに加え、そもそもどうやって他学部のシラバスを閲覧できるのかすら知らない学生もいるのではと思います。教職ガイダンスのような、教職を取るまでの過程や情報へのアクセス方法等を2年の前期に行ってもらえれば嬉しかったです。また、全学部の教職用の科目のみを集めた教職用シラバスを作ってもらえれば、大変助かります。
- ◆ 全体的に、東大は大学院を重視しているため、学部生に対する対応がいまいち充実していない気がした。交換留学制度が文学部になかったのも不満だった。

〔理学部男性〕

- ◆ 景気悪化による就職難により、就職活動が厳しくなることが予想されるが、大学院に行って就職活動しながら研究をできるのが不安。また所属先の学科が就職についてあまり考慮していないので、就職で不利になるのではないかと心配です(理学部)。

- ◆ 学生寮の拡充を強く求めます。東京都心の家賃は高く、支出の大部分はそちらに使われます。授業料免除以上に重要と思います。
- ◆ 現在理学部に属していますが、来年から所属する研究室の希望が決まらないです。自分でそろそろ調べますが、多少大学側から情報を提供していただけると助かります。
- ◆ 年度が変わる際のスケジュールが変更の有無を事前に関ることができず、立てづらい。また大学院進学後、アルバイトをする時間が取れるか不安で、金銭面で若干の不安がある。
- ◆ 昼休みに食堂に入れない。

〔理学部女性〕

- ◆ 保健センターの精神科に通院しています。診療には満足していますが、授業の関係上、昼休みにしか受診することが出来ず、いつも予約がとれません。（本来ならもっとこまめに通院すべきでしょうが、昼休みに予約のとれる日、医師という制限のため、1ヶ月～1ヶ月半に1度の受診になっています。）医師の方も大変でしょうが、昼休みにもっと受診可能な日を増やしてほしいです。

〔農学部男性〕

- ◆ 将来大学で研究したいが、安定した生活ができるか心配。
- ◆ 卒論指導研究室の配属で制度の変更により下限人数が設定されたため、皆選び方が素直に希望にもとづくというより、無難なところを選びがちになっている気がする。

〔農学部女性〕

- ◆ 図書館の長期閉館、貸出停止は東大としてありえないと思う。
- ◆ 他人の様子をうかがいながら希望を出す（複数回の調査が逆に予測を複雑にしている）現在の進振り制度が心配。かといって解決策は提案できないのですが…。少なくとも後期課程の先生・先輩と話す機会をもっとあった方がよいと思う（年一回では、前期学生も忙しく参加できない）。

〔経済学部男性〕

- ◆ 学校が広すぎて経済学部棟から書籍部、御殿下のジムまで遠い。つかれる。
- ◆ 理系の科類から経済学部に進学したので、人脈が少なく、多くの人を利用していると思われる試験対策プリントを利用しにくいほか、就活に対して同じ学部の人々がどう考えているのか全くわからない。また専門の授業は1コマ100分と長すぎて集中力が続かない他、語句などの暗記に重点が置かれすぎていて、高校までの文系科目の素養が必要だったり、理系出身の人間にとって不利な部分が多い。

〔経済学部女性〕

- ◆ 高校までの教育課程の縮小で、公立の学校に通っていた生徒は、大学教授の思っているほど学習内容が多くありません。その点を考慮して授業をしていただきたいと思っています。教授が既習として当然のように授業で使用する定理が、分からないまま進んでしまう授業が、いつも不安で一杯です。
- ◆ 就活の始まりが早く、教養に1年半割かれていると専門を1年も学ばないうちに就活に取り掛からなくてはならない。特に文Ⅱは駒場の経済Ⅰ、Ⅱが基礎的な内容ではなく、2年後半になりやっと…という感じであった。1年冬から2年夏にかけて大分暇だった印象がある。少し内容の前倒しを増やしていいのではないか。

〔教養学部（文系）女性〕

- ◆ 就職活動を始めているが、本郷にはキャリアサポートセンターがあるのに対し、駒場には就活支援の場がなく残念。就活イベントもほとんどが本郷で行われ、仕方はないと思うが後期教養学部生に情報がまわって来ず不安。
- ◆ 大学院進学を希望していますが、将来の学資が心配です。両親の給料は大幅なカットが決まっており、それでも進学を支援してくれていますが、心苦しくて悩みます。海外では、両親の収入等にかかわらず、優秀な学生には授業料、生活費などの大規模な支援体制があることも多く、そのような話を耳にするたび、自分の現状を省みて、がっかりします。奨学金等の都合がつきしだい、大学院での留学を希望していますが、将来の就職の幅がひろがることに加えて、ひとつには学資の工面という点での期待があります。
- ◆ 勉強、アルバイト、サークルと多忙であるのに、授業料免除申請には非常に煩雑な手続きを経る必要があり、毎回大変だった。学生のマナーが年々悪くなっており、図書館の前で座り込んで昼食をとる者や、食堂のプレートを外まで持ち出す者がいて、見ていて非常に不愉快だった。図書館の利用時間や他の部局の図書館との連携がもっと柔軟であれば、もっと利用しやすかったと思う。

〔教養学部（理系）女性〕

- ◆ 理系から文系に転じた学生は、文系の学生が1、2年次に受けるような方法論基礎を学ぶ機会がなかったので、そのような学生のサポートをするチューターがいると良いと思う。
- ◆ 研究職を目指す人たちに囲まれていて、自分も目指してきていたけれど、本当にそんなに情熱があるのか、自分にやっていきけるのか、最近心配になってきました。

〔教育学部男性〕

- ◆ 卒業後、就職して社会に出ることに嫌気を感じる。
- ◆ カリキュラムの不十分さ。

とりたい授業がない。

- ◆ 困っている、というよりは困っていた話。現在、一時的に実家に戻ってきているので（「生活費の状況」や「通学・住居」について一人住まいの時と実家暮らしの時とを混同してマークしているのでご迷惑をおかけします）、自宅生・自宅外生の両方を経験してきたこととなります。二つの状況を比較すると圧倒的に自宅生が経済的に楽です。通学に便利な場所に学寮を設けるとか、授業料に差をつけるとか、極度な困窮状態に置かれている訳ではないので目立たないですが、自宅・自宅外の差は大きいのでこれを是正する策を講じて欲しいです。
- ◆ 卒論が書けるか（興味がわいてこない）。
就活、孤独な気がして不安。
- ◆ 周りの学生が真面目すぎて困っています。
日本が面白みのない国になってしまわないか心配です。
- ◆ 福利厚生を充実させてほしい。
前期課程では、三鷹寮に居住できていたが、後期課程へ進む際に豊島国際学生宿舎へ出願したらはじかれた。
三鷹寮は六百人収容できるように作られているが、豊島の方は収容人数が百人台で作られている。庭のスペースを多少削ってでも収容人数を増やして、経済的な心配をせずに勉学に集中できる環境を整えてほしい。

〔教育学部女性〕

- ◆ 東大には精神的な健康を害しやすい人が多いように思う。進振りなどの制度はそういう人に悪影響を与えないだろうか。

〔薬学部男性〕

- ◆ 落ち着いて勉強に取り組める場所が少ない（特にテスト前の時期には図書館も混雑するので）。開館時間も短いので、途中で移動を強いられたりなかなか集中できない。
- ◆ 就職に関する情報を、大学側でどこで提供しているのか分からず不安である。
経済的に裕福で無い為、大学院進学後の生活が不安。
- ◆ 父親が今春定年になり、収入が両親の年金と臨時パートのみになる一方で、4年生で研究室配属となりアルバイトの時間を確保する余裕がなくなる。これまでには希望学部への進学のために長期間の継続アルバイトを避けていたため、学費や生活費の面での金銭的不安がある。なお、博士進学志向の強い学部であるため、修士卒で就職するか博士課程へ進むかを決める際に、経済的制約が選択肢を限定するのではないかと、という不安もある。
また、周囲の友人の能力の高さにやや自信を失うことがままある。

〔薬学部女性〕

- ◆ 後期課程に進学したが、なかなか勉学に身が入らず授業についていけず、周りがやっている姿を見るとあせりを感じている。単位もおとしてしまったたりして、自分なんてここで勉強する資格はないんじゃないかと感じることもある。4月からは研究室での生活が始まるが、ついていけるか不安である。夜遅くまで研究していること、研究室内での人間関係などについて不安がある。進学しようと思っているが、経済的にできるかどうか不安がある。

その他特に大学への要望やこの調査に対する意見がありましたら、具体的に記入してください。

〔文I男子〕

- ◆ 帰国子女が有利な入試形態に疑問を持ちます。
- ◆ 130周年記念事業としてモニュメントを作ったりしているようだが、もっと学生に直接関わる部分にお金を使ってほしい。学生寮の充実や、座り心地の悪い古い教室の改築など、学生が学びやすい環境を作っているほしい。
アドミニ棟の事務の人の対応が冷たい。
本郷の中央食堂が汚い。改築してほしい。
- ◆ 進振り制度は、明らかに授業の取り方の良し悪しで、生徒間格差が生まれていると思う。点数以外の審査基準を作るのもよし、成績算入科目の変更をするのもよし、とにかくこのままの状況では、「優秀な生徒」の意味が、単に要領のいいというだけの意味にならざるを得ないと思う。
- ◆ カリキュラムについてですが、開講時間に偏りがある点が不満です。毎回特に2、3限に開講される授業が非常に少ないか、また種類が語学だけなどと限られています。代わりに5限（とくに金曜5限等）にはかなり多数の講義が集中しています。そのため、受けたい授業がいくつも重なる代わりに意味のない空きコマが増えることになってしまいます。例えば同じ分野の講義は分散するなどすれば、知識を深めたい分野の授業を多く受けることができます。特に2限と3限の授業が少なすぎるのは改善すべきです。「教養」学部を謳っているのなら数多くの教養を身につけられるカリキュラムに適正化を図って欲しいものです。
- ◆ 授業料の軽減をより拡充してほしい。大学単体での努力のみでは対応が難しいのであれば、他大学との連携などを行いながら、政府に要望を行って学生への金銭的援助・学生の負担削減に積極的に取り組んでほしい（現在の学費免除・半免制度では援助が必要な者全てに対応できているとは言い難い）。
講義についてであるが、学習方法（参考書・問題集の使い方・指定を含む）を具体的に指示して、学生が学習方法について迷い無駄な時間を使うようなことを防いでほしい（学生が大学での勉強においては大半が“初心者”であることを考慮してほしい）。この調査についてだが、学生の声を積極的に聴こうという姿勢が見てとれ、非常に良い取り組みだと思う。
- ◆ 駒場キャンパスの野球場をもっと整備してほしい。スコアボードやSBOを設置してほしい。プレハブを立派なものに建てかえてほしい。
シャワー棟を定期的に清掃してほしい。シャワー室内にゴミを放置する利用者に厳しい対応をしてほしい。
理系と文系の学費が同じというのはおかしい。文系は

もっと学費が少なくていいはず。法科大学院の学費も高すぎる。

- ◆ 教務課の職員の対応が機械的で人間味を感じない。マニュアル通りの対応しかできておらず、お役所仕事の様な冷徹ささえ感じるので改善してもらいたい。
- ◆ 海外留学制度を充実させてほしい。
駒場・本郷間でもっと密接にやってほしい。
- ◆ 進振りでも全科類ができたが、少数でいいので文系→理系（文Iから理物とか、よくわかりませんがそんなかんじ）の指定科類枠をもうけてほしい。実際、文→理、理→文の進振りは点数的にむりな人が大半な気がする。
誰でも行ける制度にする必要はないと思うが、もう少し選択肢を広げてほしい。
- ◆ アンケートの回収率を上げるのなら、回答者に対して図書券など、何らかの報奨があるべき。
- ◆ 図書館の24時間開館は、条件が整っているのなら是非とも実現してほしいと思う。一月から京大で実施されるそうなので、それをモデルケースとしてほしい。
食堂の座席が少ないことも不満である。昼時だけでも少しテーブルを多く置くようにすればかなり改善されるはずだ。
- ◆ 駒場の総合科目の時間割がアンバランスである。
- ◆ 語学の教員は比較的やる気があったので、「東京語学学校」と改名するのが良いのではないか。
- ◆ 語学教育を充実させてほしい。
- ◆ 東京大学は進学振分け制度があることで有名であり、入学後に進路を決められることから、文理を超えた、視野の広い人間を育成することが期待されているように感じるが、実際に入学してみると、文転や理転（特に理転）はカリキュラム上不可能に近いことも多い。制度の改善が必要のように思う。
- ◆ 英語でのコミュニケーション能力を向上させる授業をもっと増やしてほしい。
- ◆ 勝手に送り付けておいて締め切りを守れというのは横暴である。内容も妥当ではない。

〔文I女性〕

- ◆ 「大学への要望」でも記入した通り、銀杏並木の通りの道のタイルがガタガタかつすきまだらけで、女子としてはヒールがタイルのすきまにはさまって非常に危険な状態。早急になおしてほしいです。本当に困っています。
- ◆ ・留学生との交流が持てません。
・文I2年の法学の授業は900番教室で行うそうですが変更できないのでしょうか。教室が広い上に他の大教室のようなモニターもなく、目が悪い人にとってはあまり望ましい環境ではありません。1年生時の法I・IIの成績をもとに習熟度別・少人数クラスを組んで頂けるとベストです。

- ◆ アンケートの量が多すぎるように感じました。もう少し少しくなくて下さい。
- ◆ 入学金・学費が高いように思う。ここ数十年で費用は増加の一途ようであるが、その明細を知りたい。学生にも知ることができるのなら、知る方法を教えてほしい。そうした費用が有用に遣われているのなら今の学費にも納得するが、有用とは言えない用途に費やされてはいまいか、不安である。たとえば和館という施設は果たしてその存在意義があるのか、あるとしても、あそこまできれいな様相である必要はあるのだろうか。同様にコミュニケーションプラザ北館についてはどうであろうか。ともに現代的な佇まいで美しい建物であることについては確かに誇りに思うものの、その維持費が普段そうした施設を使用することのない者からの入学金・学費等からも賄われているのかと思うとどうも釈然としないものがある。使用する者への十分な課金等、無駄遣いと言える出費を抑えれば入学金・学費はもう少し下げられるのではなかろうか。
- ◆ 法学部に内定が決まった、現在2年生の学生です。いつも900番講堂に閉じこもって、教授1人対学生200~300人という授業を受けています。大学の授業ってこういうものかなーと思っていましたが、教養学部など他の学部に進学が決まった人の話を聞くと、法学部とは全然様子が違うので驚いてしまいます。少人数制の授業、教授と学生の対話、定期的に出される課題など、法学部の一方的に「受ける」タイプの授業とは大違い。人数が多いから難しいのはわかっています。でも、法学部だけじゃなくて、駒場の他の授業も!!もう少し、なんとかならないでしょうか… 1対100の受動的な授業では、得るものも少ないと思います。

[文Ⅱ男性]

- ◆ 新・進振り制度の下では、文系の自由度が極端に低い。「優秀な理系」を心理学系学科へ、という方針により、文学部社会心理学や教育学部教育心理には理系の指定科類枠が設けられたが、そこでおかしなことが起こっている。文Ⅲの枠の底点と理系枠の底点を比べてみると、後者の方が明らかに低いのだ。果たしてこれで「優秀な理系」を心理系統に回すという当初の目的が達成されたと言えるのだろうか。甚だ疑問である。その他、社会学や後期教養へも、文Ⅲからと比べて文Ⅰ・Ⅱや理系からは非常に低い点数で進学できる。現在の進振り制度はこのあたりのことを考慮に入れた上で、見直される必要があるのではなかろうか。
- ◆ 調査内容が多すぎるため、学生からの返信が減るのだと思う。
- ◆ ・就職やキャリア／スキルアップ、留学等の情報を集めたいので、そのような情報を提供してくれる場を設けてほしい。
- ・特に文一生、文二生には別段他学部への進学を希望しない限り、進振りは関係ないので、自分の志望する学部へ行けないような制度はいらないと思う。

- ◆ 文2のカリキュラム、4学期に授業まとめすぎなので、3・4学期に専門科目を分散させてほしい。食堂が狭く、人が多いので昼前の授業が長引くとカップ麺等ですまざるをえない。(並んでいるうちに食べる時間がなくなるので)食堂を広くしてほしい。
- ◆ 非常に有意義なアンケートでした。また機会があればやりたいと思います。
- ◆ 僕は前期教養学部にも所属しておりますが、今の制度の下では幅広い教養を身につけるのは難しいと感じています。確かに他大学よりは広く学べるのは嬉しいですが、いくつかの分野、しかもその分野の限られた部分を学ぶことができるだけで、包括的ではないため、授業が終わった後の発展性に欠けると感じます。また、進振りを有利にする為にはコマ数を減らしてそこに集中的に時間をかけねばなりません。色んな授業をとってみたいくても、取れば取るほど不利になります。この2点の改善、できますならお願いいたします。
- ◆ 900番/1323/1313などを使う授業はなるべく減らし、基本的に10人前後の授業にしてほしい。英語で行う授業(語学ではない)を増やしてほしい。図書館を24時間化寮の拡充(全寮制でよくないか?)
- ◆ 留学情報をもっと1、2年生にも提供してほしい。海外の大学との単位交換制度をもっともっと充実させてほしい。今は、学部に進まない留学の情報は分からない状況で憤りを感じる。なぜ自分の大学の学生に外の世界を見る機会やその情報をもっと与えないのか。東大内という小さな世界にとどまっているからダメになる。どうかしてもっと国際化を、口先で言うだけでなく、実行してほしい。

[文Ⅱ女性]

- ◆ 第2外国語を必修にする際、集中学習クラスと普通(標準クラス)とを分けたらどうでしょうか。特に文1、2クラスは第2外国語に対するモチベーションが人それぞれで、私のようにしっかり身につけたい人間と、最低限で済ませ、他科目に時間を割きたい人と二分されています。大学は高校までと異なるので、その両者の立場が尊重されると嬉しいです。現状では、先生もやりづらそうで、帯に短したすきに長し、という中途半端な感じがします。
- ◆ 教務課の営業時間が短い。授業がフルに入っている日のために朝もあけてほしい。食堂が混雑時、席が全然足りない。椅子だけでもふやしてほしい。図書館が休館だと快適に勉強するスペースがない。京大のように24h使える自習室がほしい。一部に流れないトイレがある。どうかして下さい。

[文Ⅲ男性]

- ◆ 学生寮の枠を拡げてほしい。学費を安くしてほしい。「初年時支援センター」なる謎の建てものを建てる金

があったら、学費を安くして下さい。一号館と八号館の床・トイレの掃除をちゃんとやって下さい。すごく汚いです。

◆ 前期課程のカリキュラムについてです。教養前期はリベラル・アーツ教育実践の場ということで、その趣旨は非常に共感できます。しかし、リベラル・アーツといいながら、その内容はというと、

- ・選択必修科目が教官の専門分野に終始して、当該学問領域の全体像がつかめない
- ・マス授業が多く主体的参加がしにくい（ゼミ形式がもう少し多くてもよい）
- ・そもそも「大学で学問することとはどういうことか」ということを教えられぬままカリキュラムの大海に投げこまれるなど、問題が多いと思います。総長交代を機に本学の教養教育の改革が行われることを切に望みます。

※調査はネット上で参加できると回答率も上がると思います。

◆ 2年次に学部を選べる進学振り分け制度は入学前は大変魅力的なものに思えたが、結局点数を取った者が希望する学部に行けるので、その為に興味もないのに点数の取りやすい授業を選んだり、教科書を読まずシケプリのみで勉強する輩が目につく。これは学問の本来の姿から大きくかけ離れているように感じられる。そのため進振り制度を廃止し、入学時点で学部を決めた方が、学生も学問に没頭でき、より優秀な学者を輩出できると思う。

◆ 文系と理系の学費が同じなのは不公平と言わざるを得ない。他大学（私大）を見習うべし。文系の方が7万円くらいは安くしてかかるべきだろう。

学内の不必要な工事が目に余る。近年ではアドミニストレーション棟の近くに何か小さな小屋を建てたが、利用者を見たことがないし、利用方法も知らない。無駄な工事をするなら外国の10倍も高い学費を安くすべし。学期末に集中する無駄工事・無駄設備工事を毎年見させられると、大学と業者の知られざる関係を疑わざるを得ない。

◆ 500円ほど謝礼があればもっとすすんで回答すると思う。

進学振り分けに関してだが、教養学部等一部の学部で、分科を志望している文科3類生が内定せず、経済学部に行けずあまり進学を志望していない文科2類の人が進学する例がある。教員も学生の熱意の差にとまどっているようだった。正直いって、大学に入るまでは進学振り分けはよいものだと思っていたが、授業の受け方（点数がもらえるといわれる授業をうけにくい等）学業とは、本来かかわりのないと思われる所に頭をつかわなくてはいけないことや、受験勉強の延長のような1年半は思っていたものとは全くちがった。進学は志望通りになったが、進学先をみるだけではわからないひずみが制度にある。

◆ 進学振り分け制度の改善を要望する。第1に透明性

を求める。優、良、可、不可、欠席ではなく具体的に何点であったのか各科目で詳細に明示すべきである。現在は、情報公開室までわざわざ出向き、その後1ヶ月もかかってようやく自分の得点が判明するということになっている。これでは平均点を上げたいと考えても、履習登録の際に自分の得点が分からず、困る。第2に杓子定規な優3割規定はやめてもらいたい。語学のクラスの構成が優秀な人ばかりだと、いくら頑張っても79点の良しか出ないという事態が発生する。第3に科類による進振りの大変さの不平等をなくすべきである。大して努力もしていないのにラクに希望の学部に行ける者と、ものすごく努力しても行けない者がいる。全科類枠を今以上に拡大して努力が認められる制度にすべきである。

◆ ロッカーは2人で共有よりも、多少狭くとも1人1つあった方がよい。共有だと貴重品や大事な書類などを入れにくい。

・アドミニストレーション棟は閉まるのが早すぎると思う。せめて5限終了後（6時30分頃）まで開いてほしい。

◆ トイレをキレイにしてほしい（1号館のように）。

・1号館のイスを座り心地のよいものに替えてほしい。まず、2つずつくつついたイスをやめてほしい。（以上駒場）

・以上をふまえると、大学内の施設の設備の充実、学生・教員視点での改善。後者は扱いやすい設備にするなど。

・毎年同じような内容を長いこと教えるような教員は減って欲しい。そのためにも、授業評価by学生は必要だし、場合によってはby教員やby学外の人も、場合によってアリだと思う。せっかく研究は最先端を行っている（はず）のだから、授業に反映させてほしい。

・前期入試（大学の）に小論文を課すのもよいかと（文科のみとかで）

◆ 教養学部前期と、その他の後期学部の連携を密にし、足踏みをそろえるべきだと思います。曜日を振り替えて行う授業に関しては、教養前期と他学部の予定が異なることで数多くの休講を生じさせることとなります。最も困ったのは、教養前期の事務が「教職として認定される科目」を知らず、誤った掲示を出したことです。検討よろしくお願いします。

◆ 進振り制度の最も改善すべき点は、文Ⅲの人気学科に文Ⅰや文Ⅱからのほうが入りやすいということだ。そのせいで文Ⅲの一部の学生は点数の稼げる講義を選んでいかななくてはならなくなっている。それでもあきらめざるをえなかった学科に文Ⅰ・文Ⅱからすつと入れるというのはおかしい。教養学部後期で特に顕著だ。どの科類でもある程度進学先が保証されるように望む！

◆ 教職免許制度について、この大学はかなり軽視しているように感じます。「取得可能」としている以上、

もう少しわかりやすくできないのか。例えば「高校地歴科の教科に関する科目」について、学部横断的にまとめた一覧がほしいです。さらに、教職科目は1年生のときから履習できるようにならないでしょうか。私は文系ですが、主に理系の人は専門の実験などで5限の教職科目が受けられないそうです。

- ◆ 昼に生協の食堂が人が多すぎてなかなか利用できないので、改善してほしい。購買も混んでいるので、食堂や食べ物を売る所をもっとふやしていいと思う。
- ◆ 学期の成績開示のてどりをもっと簡潔にしてほしい。

[文Ⅲ女性]

- ◆ 大学構内での犬の散歩を、できれば禁止してほしいです。犬を連れてくる人は、必ずしも掃除用具の類を携帯しているとは限らないため、キャンパスの環境を美化するためにも、対策を講じてほしいです。
- ◆ 私立大に比べて留学先の大学の数が少なすぎる。(特にアメリカ・カナダ)
 - ◆ もっと有名大学との交換留学も充実させてほしい。
- ◆ もっと海外の大学生との交流の機会を持ちたい、又は、短期、長期間問わず留学をしやすくしてほしい(金銭面の援助、手配など)。そのような機会を増やしてほしい。
 - ◆ 保健センターの開業時間を延長してほしい。
 - ◆ 予約制の宿泊施設をつくってほしい。
 - ◆ アルバイトのあっせんを増やしてほしい。
- ◆ 現行の進学振分け制度は不公平な部分がかかなり大きい。例えば平成21年度第1段階の進学振分けを見ても、同じ法学部への進学でも最低点は文一が73点、文二・文三が86点と10点以上も差がある。文二・文三は傍系進学だから仕方がないと思う人も多いだろうが、そもそも科別の別は入試の時点で決められる。入試時の選択が学部選択に大きく影響を及ぼすという事実はあまり認識されていない。そこで次のように提案したい。入試時の科別の別をなくし“文科”“理科”と大枠で募集してはどうか。そうすれば今よりはフェアな振り分けができると思う。
- ◆ キャンパス内にはごみのたまっている場所がたまにあり、学生のマナーの悪さに不快感をおぼえます。マナーの向上を呼びかけていただけたらうれしいです。
- ◆ 食堂の収容人数が少なく、昼休みに利用できない。
 - ◆ ロッカーが小さい、また場所的にも不便。
 - ◆ 女子の更衣室をつくって欲しい。
 - ◆ 留学生と交留する機会が少ない。また、もっと留学制度を整えて欲しい。
- ◆ 冷暖房の使用をもっと自由にしていただきたいです。

駒場の水はけが悪くて雨の日に水があふれかえってしまっていて困ります。

駒場の学館の工事を早くしてほしいです。

- ◆ シラバスをもっと充実させてほしい。授業計画、成績評価が書かれてないものは入れてほしいし、書いてあるものも漠然としすぎていたりするので。(授業開始前までにはなくてもいいと思うが、履習登録を証にはプリントなどを配ってほしい。)

- ◆ 東京大学に対しても常々思っていたし、この調査に対しても感じたことだが、どうしてこんなにも傲慢なのか。もちろん学校が学生に迎合する必要はないし、ある程度の距離が学校と学生の間にあることは学生の自立をたすけることになると思う。しかし今の東大は、学生をつきはなしすぎだ。愛がない。社会的地位に酔っていて、デリカシーを欠いている、とすら思う。私は東大を信用していない。

- ◆ 全員が希望の学部学科に進学できるような制度にしてほしいと思います。(よほど悪い成績の人以外)
 - ◆ 国立なのだから、もう少し授業料を下げしてほしいです。文系は私立との授業料の差がほとんどなく、(何度も書きますが)国立なのだから、もっと授業料を引き下げられるんじゃないかな、と思います。

[理Ⅰ男性]

- ◆ ALESSの授業と英Ⅰの授業がひどすぎる。改善の余地がない。今すぐ廃止すべき。あの授業で満足している東京大学英語部会の人たちの神経が知れない。
- ◆ ALESSはとにかくなくすべき。時間だけが異常にかかり、得られたものは何もなかった。
- ◆ 講義評価アンケートを全ての授業で行い、何らかのfeedbackをかけてほしい。
- ◆ 駒場の食堂をもっと大きくしてほしい。あとパンショップも。あの混雑具合を知っているはずなのに何も策を講じないのはどうかと思います。特にパンショップは最近新装したと思ったら大きさが変わってないし…。何がしたいのかよくわかりません。
- ◆ 優三割規定は相対評価なので同じ学力でもクラスによって差が出てしまうので、やめてほしい。
- ◆ 駒場の授業の採点基準や難易度に大きなばらつきがあり、みんな「優」をとりやすい授業を進振りのために履修している。自分が純粋に興味がある授業をとると不利になることもあり、何のために大学に入ったのか分からない。
- ◆ 有名人をもっと招いて、講演などをしてほしい。
- ◆ 進振りについてですが、似た内容の学科・コース間で、どこへ多くの人が流れるのかは予測が難しく、よっぽど点数が良くない限り内定できるかが運頼みになってしまうのは非常に問題だと思います。自分もそのせいで行きたかった学科に内定せずにすべり止めで出した学科に内定してしまったので、これから内定を取り消して留年して、進振りをもう一度受けようかと真剣に悩んでいます。こうならないために、進振りの段階では似た内容の学科・コースは極力統合すべきだと

思います。また別の対策として、学生がもっと多くの進振りに関わる情報を知れるようにすべきです。具体的には、志望集計表は、希望先の登録期限ぎりぎりまで、その時点での暫定の表をリアルタイム（最低でも一日ごと）に更新して行ってそれをネットで見れるようにして欲しいです。また、最低点や基準点だけでなく、そこを志望したすべての学生の点数（最低でも点数分布）も分かるようにしてもらいたいです。加えて、学期ごとの成績表で、最初から全ての科目の点数を知らないのも非常に不便です。とにかく進振り関係では学生が扱える情報が少なすぎるので、運に左右される部分が大きくて不公平な状況をも招いてしまっています。カリキュラムについては、一度単位をとった科目を受け直してその点数を更新できるようにして欲しいです。

- ◆ 工学部志望の学生に対し、理学部数学科の講師の数学・先端研の講師の生命科学等の授業は専門性が高すぎて、モチベーションが上がらない。（専門・役に立たないと先輩に聞くことも多い。）
運動会加入の部活ならば、試合当日の欠席ぐらひは考慮してほしい。
- ◆ 女子大（お茶等）と授業交流等を行ない、その中で、男女二人一組で創造的な課題に取り組むという事を通じ、喪男にも強制的に女性と接する機会を設けてみてはどうか。机上の恋愛論を教えるシンガポールと違い、こちらは実践で身に付けることを目指す。二十一世紀は少子化が問題になる。女性と付き合うことができない喪男の急増がこれに拍車を掛ける。男男格差の広がり、昭和に青春時代を過ごした大人には理解できないかもしれない。しかし現状は酷い。この現状を打破すべく立ち上がるのは、時代の先端をゆく東大しかないのではないだろうか。
- ◆ 理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、文Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを廃止し、理系、文系で一括に募集すべき。理Ⅰ・Ⅱが易しいことと医学部が難しいことから優秀な私立中高一貫校の学生は東京大学に（自らのプライドから）進学しようとしなない。「日本一の大学」とうぬぼれるのではなく、大学はこのような人材流出の実態を考慮すべき。
駒場と本郷が分かれているため、専門課程の実態が1、2年生にわかりにくい。このような情報閉鎖的な点を改善すべき。
- ◆ 教養のカリキュラムに選択科目として専門科目を増やして欲しい。進学振り分けに関しての議論を、全学的に活性化させて欲しい。入学前は魅力として映った進振りに嫌悪を持つようになった学生は非常に多い。
- ◆ 前期教養の授業が進振りのための「点取りゲーム」化している感がある。真面目に勉強している学生より要領よく点を取った学生の方が希望の学科に進めるといのは如何なものか。専門課程に進む前に学科について考えさせる期間をつくるという方針には賛成だが、だとしたらその専門課程について考えさせる・興味を持たせる授業をしてほしい。

- ◆ 工学部の単位基準を理学部にそろえて欲しい。簡単すぎる講義や中身の無い講義、時期的に不適当な講義をなくして、一つ一つの講義を難しくしてよいので、1つ1つ教えさせてくれるものがある講義にして欲しいと思う。
 - ・演習で、学生に出す問題を解けない教授やTAを送り込むのは止めて欲しい。役に立たない。
 - ・教養課程の必修で、教員による内容の差が激しすぎる。きちんと学生が学ぶべき内容を明確化し、具体的なシラバスとして制定して、それに沿って授業をするようにして欲しい。またその内容を専門課程にもしっかりと伝えて、うまく教養と専門が連携して授業を進めてほしいと思う。今のままでは無駄が多すぎる。
- ◆ 進振りの発想は素晴らしいと思うが、点数をその尺度とすることで（仕方ない面もあるが）弊害が生じている。やはり点取りが主体になるし、全ての科目を勉強しないとイケないのが大きな弊害。レイト・スペシャリゼーションの考え方はいいが、そのせいで自分の興味のある、将来に必要な分野の勉強が充分でできなかったり、他の活動に支障をきたしたりしている。そのようなカリキュラムは生徒の個性をかなり縮め、平均的にする。そんなことをするから、分野によっては京大や東工大にぬかれるし、ノーベル賞もとれないのだ。あと二外は少なくとも総合科目などにしてとらなくてもよいようにすべき。二外なんか一年ごときではどうせ身につかず卒業するころには忘れていた生徒が多いのだからそんなことするなら英語をちゃんとしろ。二外はその他の言語体系にふれるためにあるのでやってみいのあるという人もいるが、何でもやれば何かしら意義があるのは当然で、問題は限られた時間の中で他の勉強を（つまり二外がなければその時間にやったであろう勉強）を犠牲にしてまでやる価値があるのかということだ。第一他の言語体系や考え方を学ぶのならもっと効率的な方法があるだろうし、それは全ての学生におしつけるほど意味のあるものとはどういえないのだ。
最後に東大は女子が2割以下と大変少なく、特に理Ⅰ等ではクラスに女子2人など男子にとって異性と知り合う機会があまりにも少ないので大学が主宰して御茶女や津田塾等の女子大との交流会や懇親会を開いてくれることを要望する。
- ◆ 本郷キャンパスと駒場キャンパスが遠く、しかも交通の便も悪くて不便を感じる。2年生の冬学期で毎週1日～2日本郷に行かなければいけないのがとても不便で困る。
- ◆ 学生会館を早めに作ってほしい。
- ◆ イタトマ・ルヴェリンの次は中華だと思うのですが、駒場に中華料理店を誘致して頂けないでしょうか？
- ◆ 海外留学を考えているけれど、大学がどの程度までサポートしてくれるのか分からないので、もう少し海

外留学へ向けての説明会などがあってもいいと思う。

- ◆ パソコンをWindowsにしてほしい。自宅にあるPCとの完全な互換性がないのは、様々な面で不便である。
- ◆ とにかく、経済的に苦しんでいるので、もっと貧しい家庭の人に支援をしてほしい。
- ◆ 履習した全ての科目の成績が進振りに影響するため、(特に理一としては) 安易に興味だけで科目を選択できない。難しいと感じた科目は、平均点を下げかねないという懸念から取るのを断念することもしばしば。残念。
- ◆ 進学振り分けについて、たとえば物理学科への進学には物理学の授業の成績を重視する等の制度があってもよいと思う。自分が興味を持ってない分野の単位が進学振り分けに影響することに納得がいかない。
- ◆ 後期課程でもスポーツを続けていけるようにスポ身のような講義を解説、必修化してほしいです。また、東京大学キャンパスには、その知名度からか、多くのお客さんがやってきます。学問関係のみならず憩いや子どもの散歩なども多いです。もちろん歓迎しますが、昼食時に食堂が混雑する際も喫茶店のように居座られて大学関係者が迷惑することも多いのです。このような事態の解消のためにも、キャンパス内の飲食物を売買する所を増やしてほしいです(駒場が特にひどいです)。
- ◆ 進学振り分けのシステムをもう少し改善してもよいと思う。理系の身としては、総合科目のA~D系列を8単位以上取るために、他の科目と折り合いをつけなければならないのは残念です。また、興味本位であれこれ取ろうとすると、全体的に高得点が期待しにくくなるので、単位を多めに取った人にある程度有利になるシステムがあってもよいと思う。
- ◆ 圧倒的多数から批判されている授業は内容を真剣に吟味してほしい。英語Iは無くし、英語二列を増やすべき。
- ◆ 学部や学科、クラスなど小さな集団に応じた有用な情報をメールで発信してほしい。また、履習関係など重要な情報は全体に公示するだけでなく、メールで重ねて知らせるといいと思う。
英語Iを2限に行くと食堂がパンクするので、1、4、5限のいずれかに行うべき。なぜ、あえて2限にこだわっているのか不可解極まりない。
成績の内訳を開示できるようにすべき。また、成績確認の申請に対し、より融通を利かせ、応じるべき。
- ◆ 将来、研究者を志望しているので、博士課程程度の段階で自立した生活ができるような環境の整備を進めて欲しいと思います。
- ◆ 教養前期課程にはつまらない科目が多すぎる。教養など強制しても身につかない。もっと学生が興味をもって取り組める内容にすべきだ。特に必修くらいは、必修させるなら内容を再考すべき。進学に必要な単位数の違い等、明らかな理系イジメもやめてほしい。他の大学の友人の話などと比べても、この大学は無意味

で無駄なカリキュラム編成な上に時間的余裕もない。“国立大学の天下”と思わず、他大学に見習うべきところは見習うべし。

- ◆ 主題、総合科目が特定の曜日に集中していて、空いているコマに入れる総合科目が無かったり、興味のある授業が同じコマにかぶっていて片方しか選択できなかったことがあります。ある程度分散させてもらえると非常に助かります。
- ◆ 授業を安くしてほしい。無利子や返還義務のない奨学金を増やしてほしい。
- ◆ ・7号館の入り口と階段をひろげてほしい。
・キャンプラの部室をひろげてほしい。
- ◆ 授業料免除枠を、全額・半額ともに増やしてほしい。現在の基準ではかなりお金に困っていても申請が通らない。
給付の奨学金をもっと増やしてほしい。貸与の奨学金は要は「借金」なので、学業のためとはいえ数百万円の借金を抱えてしまうのは恐ろしく、申請がためらわれるし、申請しても恐くてあまり使うことができない。

[理I女性]

- ◆ 本郷キャンパスにも学生会館をつくってほしい。駒場キャンパスには学生会館があり、サークルの活動のみならず、クラスの話し合いで気軽に利用できるスペースとして活用されているが、本郷キャンパスにはそういったスペースがないので。
- ◆ サークル勧誘の場をわざわざ設けるのをやめてほしい。入学手続・健康診断など、疲れた後にあのような場に強制的に行かされるのはおかしい。また、途中で抜けようとしたら「順路だから抜けてはいけない」と言われたが、サークル勧誘と入学手続・健康診断は関係ないのだから「順路」などはないはずである。サークルの勧誘は通常の学校生活の中で十分行える。正直、今年のような強引で不愉快な勧誘を平気で行わせる大学側に、入学直後から大変失望した。日本トップクラスの大学とはとても思えなかった。
- ◆ 成績(入試ではなく、学期中の)開示をもっと簡単にできるようにしてほしいです。

[理II男性]

- ◆ 謝礼も無しに調査協力を要請するのは無理があると思う。
- ◆ 教員のやる気が疑われるような授業が多いので、改善して欲しい。
- ◆ 進学振り分け制度に点数のみを採用するのではなく、様々な事柄を取り入れ、点数だけで決めることがないようにしてほしい。たとえ行きたい学部・学科があっても、点数のせいで行けなかったら、何のために東大に来て、色々な教養を身につけてから自分の進路を決めるのかがわからない。学生個人の希望をもっと尊重してほしい。
必修教科も総合科目にし、自分の学びたいものを優先

して履修できるようにしてほしい。せめて、準必修程度の扱いにしてほしい。

この調査を忙しい年末ではなく2月の学期末テスト後とかの、時間に余裕のある時にずらしてほしい。

- ◆ 親の収入など聞くべきではないと思う。
封筒の大きさが間違っている。
パソコンによるアンケートにするべきである。
- ◆ 学問において文理を問わず、研究志向や、またアカデミカルな内容を求める傾向が強いと思う。もっと直接社会に出てすぐ使えるような知識を学ばせてもよいと思う。今の周りの生徒を見ていると研究志向の学生が多く、見たタイプが集まってしまう。学問の多様性を大きくすることで、学生の多様性を産み出してほしい。
- ◆ この間、授業に安藤忠雄氏がいらして、授業を受けさせてもらいました。その授業は、先生と生徒との距離がものすごく近く感じ、自分たち生徒はそんなに話していないのに、先生とのコミュニケーションが取れている感じがしました。安藤氏の言葉が自然と自分の中に入ってくる、そんな感覚でした。この時、私が浪人時代に持っていた東大の理想像に初めて触れた気がします。私の周りの人の大半が思っているのですが、東大の先生は、研究とかでは一流かもしれないですが、プレゼン能力、授業運営能力はきわめて低いと思います。とにかく先生の授業に対する姿勢、能力、これをどうにかして、かつて描いていた東大の理想像に近づけてほしいです。
- ◆ 教務課が仕事が遅い上にミスが多すぎる。電子化されているのならある程度すみやかに処理できるものをしていないうえ、ミスが多い。「訂正した」と発表してもミスが残っていることさえある。またカリキュラムについても、「大学の講義はもっとおもしろいものだ」と期待していただけに、楽しくないものが特に必修に多い。英語Iなどその最たるもので、あれでは読んでもおもしろくもない、試験は単に暗記、英語力が上がるとしたら大間違いだ。理系は即刻ALESSを英Iの代替にすべきである。また今なら「コンテンツ文化史」など、まだその分野の研究が進んでいないものにももっと手を出し、人を困らせるべきである。さもなければ海外に取られるだけになってしまう。
- ◆ 大学への要望といいますか、生協への要望といいますか、とりあえず食堂をなんとかして下さい。昼どきはカオスすぎます。特に冬は外で食べる訳にもいかないし、席は2限ない人々が占有していらっやいますし。もう少し広くするとか、理系と文系で昼休みの時間ずらすとか、昼休み時は一般人の方にご遠慮して頂くよう呼びかけてみるとか…。3限詰まると結構切実な問題です。せっかくメニューも多いので食堂使いたいですし。
- ◆ 個人的には始めから専門の勉強をしたかったです。
- ◆ 部活動で体育館などを使用していますが、シャワールームなどが汚すぎて困っています。課外活動施設に

も費用を投じて欲しいと思います。

- ◆ 駒場キャンパスの7号館の正面の扉を常に両開きにしてほしい。
- ◆ 駒場キャンパスの、前期課程生用の個人ロッカーをダイヤル式にしてほしい。
- ◆ 1限と2限の間、昼休み時における、駒場キャンパスのパンショップ、生協購買部、食堂の混雑を緩和してほしい。特に、冬に屋外で食事をするのは寒いので、食堂の座席を増やす、一部学生の居座り・占有を防ぐ、等の対策を取って欲しい。
- ◆ ALESSという授業は教員間の差が大きく、また、英語以外の部分が評価に影響し過ぎていると思う。
- ◆ 教養課程は1年でよいのでは？ 3年生以降（特に理系）がキツすぎる。
- ◆ 前期課程の学生に対して後期課程以降の学業や生活についての紹介をもっと多くして、それを参考にしてよりよい進学学部選択ができるようにして欲しい。
- ◆ 進振りに使う点の計算が面倒。点数開示も本郷まで行かなければならず、300円払うのでダメである。成績表に点数を印字するべき。
ALESSは不要。相当な時間がこれにさかれ、他の教科に手が回らない。早くやめるべき。
- ◆ 他大学のオーケストラでは夜遅くにも練習できるように東大では夜九時までしか練習できないのはおかしい。
- ◆ 学生会館の工事のペースを上げてほしい。
- ◆ 教官によって成績のつけ方がまちまち。開示手続きなしで点数を公表するべき。
- ◆ 医学部へ入学できるのは一部の学力の高い学生のみである。これは全国的に仕方ない傾向ではあるが、東大医学部に関していえば、東大の入学試験において、数学のできるものがほとんど高得点を取り、東大医学部に入学している。
東大医学部の基本方針は良く分からないが、医者に本当になるべき適性、能力を持つ人間が、東大医学部に入学しているとは到底思えない。よって、面接試験の比重の増大や、理Ⅲの廃止などを提言したい。
- ◆ 駒場のカリキュラムはぬるすぎる。もっと難しくするべき。4学期の授業も基礎的な内容が多く、むだが多い。
- ◆ 理科2類の必修について、少し物理系が多くないでしょうか？ 将来的に進む農学部や理学部の事を考え、もう少し生命科学系を充実させても良いかと思います。今の授業では分子生物学的な所に重きが置かれているので、生態や進化などについても扱ってくれると有難いです。
- ◆ PPTを使えばいいと思っている教授がいる。PPTはきれいなグラフや絵を見せるという点で便利だが、文字のみの羅列になった場合、通常の板書よりもスピーディーに進んだりするし、ページ間の関係が見えにくいので、頭に入りにくいという欠点がある。PPTを使う場合、紙に印刷して配るとか、書く内容を考え

直すとかして欲しい。

- ◆ 図書館を24時間開放して欲しいです。
- ◆ 第2外国語はやる必要がないと思う。単位を取るための勉強が本当にむだ。

〔理Ⅱ女性〕

- ◆ ・体育館、シャワー棟をきれいにしてほしい。ものを片付けるだけでなく、学生がものを放置しないような仕組みがあると良いのかもしれない。
- ・教養教育は、聖域として100年以上先でも続けてほしい。
- ・理系前期の必修科目の教官の人選についてもっと考えるべき。授業評価アンケートが活かされているとは考えにくい。
- ◆ このアンケートの意義がわからない。
- ◆ 奨学金関連は強い関心があるが常に項目の最後にあるが、これでは多少の負い目もあることに加え選択しづらい心理的圧力があります。他のアンケートでもよく思っていることです。
- ◆ 親の職業、収入まで答えさせる必要はない。インターネットによるアンケートを実施すれば、匿名性を維持しながら回答率を上げることができる。保健センターでの診療時間、曜日を増やしてほしい。予防接種などの実施も行ってほしい。三鷹国際学生宿舎が学校から遠い、さらに、駅から遠い。三鷹国際学生宿舎の部屋に浴槽をつけてほしい。冬に風邪をひきそうだと思う。新しくなった冷暖房の温度調節が不便。
- ◆ ・すでにおわかりのように、回答者はかなり特異な学生なので、特定しないと言っても特定されてしまうのが嫌でずっと回答をしなかったのですが、再三再四回答を要求する葉書が送られてきたので仕方なく提出しました。統計上すこしでも多くの回答というのはわかりますが、あまりに強要的だと何か別の意図があるのではと心配してしまいます。(さらに、収入状況については上記奨学金との兼ね合いと、冒頭で述べたように特定の可能性が高いので回答しておりません。)
- ・大学の方への要望としては、カリキュラムが物理の重視に傾きすぎている点の改定を強く望みます。「化学」と名のつく科目も実習は物理学で、生命科学との単位数差が不当に大きすぎます。数学と物理の得意な学生にしか高得点を与えないカリキュラムで「平等な進振」ができるとは思えません。「自然科学イコール物理学」ではないでしょう。このようなカリキュラムなら、進振には点数以外の要素を50%設定して下さい。
- ◆ ・構内に次々と奇抜な建物ができて、たくさんのお木々が切り倒されていくのがとても残念です。
- ・これほど大規模なアンケートを、毎年集計する意味があるか疑問です。

〔理Ⅲ男性〕

- ◆ 教務課は態度を改めなさい。
- ◆ 私は理Ⅲ生ですが、駒場のうちに医学以外の勉学を意欲的にしたいと思っています。しかし、文Ⅰの必修科目である法Ⅰや政治Ⅰなどの授業をとることができません。また、自分が必修のないコマに入れられる総合授業が「セルビア語」など、興味のない外国語の授業ばかり(しかも3ヵ国だけ)、というコマも存在します。私は、興味がある、または学ぶべきだと思う授業が揃ってさえいてくれれば25コマ以上とってもいいと思っていますが、理想とはやや遠い現実となってしまっています。もちろん、理想を実現することは困難ですが、法律も、政治も、経済も学びたい医学生がその意欲と能力をいかんなく発揮し、明日の日本を担うリーダーとなるサポートがもう少しあれば、と思います。これからは領域横断の時代ですので、なにとぞよろしくお願い致します。

〔法学部男性〕

- ◆ 法学部で学んでおり、カリキュラム等に疑問を感じることがある。実定法科目にばかり人が集まる一方で、その他の分野、とりわけ基礎法学科目にしわ寄せが来ている。かつて存在した「法学史」が開講されず、試験勉強に直結する実定法科目以外は要領よく「済ませよう」とする学生の傾向を助長している。加えて、ローマ法などかつて4単位であった科目が2単位になるなど、専門職大学院設置を理由になされた近年の改革には疑問である。学部における講義において「これ以上の深い内容は大学院で」と述べる教授も少なくないが、学生に失礼である。どうも近視眼的な態度で、教授の側も学生の側も法学部を「こなしている」ように見え、環境の劣化が進んでいると言われるのも仕方がない。
- ◆ 法科大学院の授業料が高すぎます。もっと減額するか、奨学金制度を拡充してほしいです。
- ◆ 学生・教員を問わず、分煙が徹底されていない。禁煙区域での喫煙者、とくに歩き煙草をする者は懲罰の対象とするなど、取締りを行ってほしい。また、喫煙スペースの存在自体はやむをえないが、煙がスペースより外には漏れないような場所にのみ設置してもらいたい。生協の購買部や食堂が昼休みに混雑するのは如何ともしがたいところであるが、観光客・修学旅行生等は極力昼休みの時間帯を避けて利用してもらおうよう誘導・要請してもらいたい。多くの観光客に訪れてもらえることは光栄の極みであるが、あくまで大学のメンバーを優先してほしい。外部の方が多すぎて、短い昼休みでは利用できないのでは生協組合員になった甲斐がない。
- ◆ 他大学に比べ、留学を支援する体制があまりに整っていないと思われるので改善を望む。奨学金を受けたくても受けられない人が多くいる。また、授業料自体も決して安くはない。大学自体は、諸々

の調査結果や報道を見るに、財務状況が極めて安定しているようであるから、金銭面における学生支援を一層拡充してみるべきではないか。

◆ 調査の回収率の伸び悩み・低下お察し致します。投函の手続につきましては、明確性と簡明を期すことを目的とし、是非とも手続手順を箇条書きやフローチャートにして示すことにより、視覚的に明快な案内をなされることを提案させていただきます。

ありがとうございました。

◆ 法科大学院の学費がきわめて高額です。経費がかさむのでやむを得ないと思いますが、こちらの方も全額免除可能な予算をつけていただけるとありがたいです。私は個人的には、免除して頂いた額は将来寄附等の形でご返還申し上げたいと思っておりますが、万一免除拡大についての予算が厳しいということであれば、別途長期徴収猶予（20年程度かけて弁済）等の制度を公式に設けて下さると助かります。また、自宅外生では学費以外の生活費等が意外にかさみますので、その点についての支援をして下さる学内奨学金（給付・貸与）があるととても助かります。

◆ 国立である以上、もう少し学費を安くしてほしい。私立と大きな差がないように感じられてしまう。大学院、法科大学院などの授業料免除を拡充してほしい。経済状況が苦しい中でも大学院まで通い、学ぶ意欲のある生徒に対する援助はもう少し必要な気がする。年収による原則免除を学部から大学院にまで広げること等は必要ではないか。

〔法学部女性〕

◆①本郷の中央食堂はあまり清潔感がなく利用したいと思えないので、全面改装してほしい。

②本郷キャンパス内で利用できるパソコンの台数を増やしてほしい。図書館のメディアプラザのみでは、使いたくても使えないことがしばしばあるが、だからといって情報基盤センターに行くのは大変すぎる。

③本郷の保健センターでインフルエンザの予防接種や、接種をしてもらえる病院の紹介をきちんとしてほしい。駒場ではしてもらえないという話を聞いたが、本郷は門前払いで不親切すぎる。

◆ 運動会への支援を充実させてほしい。学生が運動会での活動を通じて、心身を鍛え、社会に有用な人材となり巣立っていくことは、大学にとっても価値のあることだと思う。勝利を目指すための厳しい練習と大学生活が両立できるように、一定数の単位を部活動に対して認めたり、教授の理解を高めたり、また、東大の名前を背負って私たちは戦っているのだから、学部試験や大学院入試と試合の日程などを考慮したりしてほしいと思う。また、運動会を敬遠する新生が増えてきているので、大学側も運動会を支援している、推奨しているという姿勢を新生に対して打ち出してほしい。

◆ 本来の研究活動に差しつかえない限りで、費用があ

れば設備を充実させてほしい。学部によってかなり清潔さ等異なるので、最低ラインの底上げをしてほしい。その上で、伝統的な赤レンガ等の外観をなるべく守ってほしい。あまり近代的なコンクリートやガラスの建築物は「東大らしさ」を欠き伝統的雰囲気などが損なわれていると思う。（レンガ+近代素材のビルは、まだなじんでいる。）

・留学制度を拡げ、利用しやすく充実させてほしい。

◆ この調査はわかりにくい設問が多く、また無償で大量の設問に答えさせるのには無理があると思う。回収率が低くなってしまうのは、調査の内容や方法に問題があるからではないか。

・現在法学部に在籍しているが、マスプロ授業ばかりであるのが不満。2年間にわたり所属できるゼミで教授や他の学生と議論したり親交を深めたりできたら良いと思う。また、法学部の教室が老朽化している。他学部のように、新しく綺麗な建物にしてほしい。

◆ 食堂をもっときれいにして、ごはんがおいしく食べられるように整備してほしい。メニューもできれば増やしてほしい。

また、工学部などでは学部生でも研究室に入れば机やロッカーを与えられるなどするのに対し、法学部では小さいロッカー一つで2年間で4000円もとられるのは酷いと思う。同じ学生なのに強い不公平感を感じる。

◆ 法学部は2年間のゼミ制度を導入すべき。

大教室での講義ばかりで人的関係が薄く、うつ病になる人が多いのもうなずける。（実際うつ病になりました。友人は多い方ですが、やはり生活のベースになるゼミ制度があった方が良いと思います。

施設（特にトイレ）も古すぎるし本当に他大の人がうらやましいです。どうして文系はこうも学生に還元しないの？

◆ アンケートが長いために、回答を控える人もいます。もう少し内容をしぼって短くするか、聞きたいジャンルごとにアンケートを分けられないでしょうか。

〔医学部男性〕

◆ 現在の医学部のカリキュラムではすべての科を1-2 weekずつローテーションする方式になっているが、これでは細切れすぎて時間の無駄にしかありません。せめて、興味のある科をいくつか選んで1-2ヶ月かけてじっくり患者さんを診る機会を作ってください。また、留学生をもっと積極的に入れて、国際的な感覚を養う環境を作ってください。現在はあまりに閉鎖的で、自己完結型すぎます。また、教育に関して学生が教員を評価し、対価として教員の給料にfeedbackさせた方がよいと思います。やる気のない教員と時間を過ごすのは学生にとってあまりに苦痛ですし、真面目に教育に取り組んでおられる教員に対しても失礼になると思うからです。

- ◆ 私が教養学部の際にアンケートがあったが、進学した学部先でも必要だと感じる時がある。(授業を改善すべきという意味で)ただ、アンケートも良し悪しがあり、ちゃんと授業をしている先生がアンケートによって厳しく出来なくなったり、生徒の顔色をうかがって、本来の先生らしい授業が出来ないのも良くないと思う。実際、年々、厳しいことで有名な名物教師が、次第に少なくなっているのは淋しく感じる。アンケートの結果に全く従うのではなく、昔ながらの気骨もった先生の存在も大切にしてほしいと願う。(特に教養学部で)
- ◆ 専門課程に進むと他学科との交流が全くなくなってしまい、閉鎖的になってしまいます。他学部の方々と幅広い交流が気軽に出来る機会を提供して下されば、と思います。
- ◆ 私(03年入学)のころは教養は楽しむものであり、興味があれば試験のことを気にせず、学ぶことができた。しかし、昨今の改正で、学生が進学を念頭に教養の授業をえらび、点にキュウキュウとしなくてはならなくなったことは残念である。教養とは求める者に与えられるべきものであり、点や進学で無駄に教養の授業を受ける機会をシュリンクさせるべきではない。1、2年なまける学生がいるのはそれはそれでよいではないかという大きな懐と高い見地で、教養課程の再充実を切に願う。それでも学ばない学生は自らすばらしい機会を逃しているのだからそれはそれでかわいそうなもので、大目にみれば良いではないか!!
- ◆ ・この調査をインターネット上でも回答可能にして頂けるよう強く希望します。
・総合図書館の24時間化を実現して下さい。
・自分が入学した5年前と比べるとだいぶ大学が(国際的にも民間に対しても)オープンになったと思います。学外からのゲストを招いての講演も多くなったし、何よりアジアからの留学生が増えているのは良いことだと思います。ただ留学生に関して言うと、自分が2ヶ月だけ留学して感じたことは、留学生は想像以上に孤独だということです。彼らのサポートは非常に大切だと思います。
- ◆ 駒場の1年半を短縮すべきだと思う。特に理系学部は学ぶことが多く、深く学ぶためには時間が全く足りていない。教養が必要なことはわかるが、半年、長くても1年で十分だろう。教養学部(前期)が重視されていた昔の頃と現在とでは置かれている状況が全く異なっており、国際競争力をつける意味でも学部進学後の時間を長くした方がよいと思う。東大は現時点では日本のトップかもしれないが、教育システムが優れているわけではなく単に集まってくる学生のレベルの高さで支えられているだけである。「育てる」ことを重視しないと、いずれは他の大学に遅れをとることになりかねない。
- ◆ 現在医学部生です。今後医師免許取得後、2年間研修医を経て専門医資格を取得し、大学院へ進学して研

究・留学しようと考えています。以前は助手(助教)以上のポストであれば、日本で医師として給与を受けながら外国で研究できたのですが、現在は東大が独立行政法人になってから本制度はなくなってしまったと聞いています。研究者が経済的に苦勞せず研究できる体制を整備するのが大学の役目だと考えています。本制度をできれば復活させていただけないかと思いません。

〔医学部女性〕

- ◆ 医学部のそばに学食を造って下さい。孤島です。
- ◆ 付属病院に自転車で通っていますが、病院周辺で駐輪場整備がさらに進むことを希望します。(有料化には賛成です。)最近整備して頂いた部分は、奥に停めると入り口を後から来た人の駐輪にふさがれて出られなくなってしまい、せっかくの場所が十分生かされていません。ご一考お願いしたいと思います。このような調査があることに感謝したいと思います。

〔工学部男性〕

- ◆ 入学してから1年半の間、進路を考える時間があるのだからもう少し駒場にいる間に後期課程について知る機会があるといいと思う。学部ガイダンスなどはあるが、正直なところあまり有意義なものではない。もっと運動部を支援して欲しい。他の大学と比べて東大はサークルを優遇しすぎている。大学の名前を背負ってスポーツに打ち込む学生が練習環境について不満を感じ、大学に相談しても取りあってももらえないのはおかしいと思う。その一方で、サークルには(日数は制限されているものの)良い環境があるのは不思議である。
- ◆ 大学の先生方が多忙すぎるように感じます。
- ◆ 先日、東京大学をはじめとする国立大学が院生の就職活動の早期化に苦言を呈していたが、私はこれに賛同しない。それは以下の2つの理由に依る。第一に、多くの学生にとってはどこに就職するかが人生において非常に重要となるのだから、情報収集のための機会や決断のための期間を十分に設ける必要があるため、第二に、採用活動を遅めることにより修士論文の提出時期と重なってしまい学生にとってはより負担になってしまうため、である。学生の研究進度のみに着目するのではなく、もっと長期的かつ広範囲な視点を持っていただきたい。
- ◆ 勉強だけではなく、学生が人間性、社会性を持てるように、学生のクラス、学科内交流ができるような仕組みを積極的につくったり、部活、サークルへの加入、活動を大いに勧めるべき。今の東大は学生同士、さらには人間同士の関わり合いが希薄すぎる。
- ◆ 学費が高すぎるので、安くしてほしい。学生寮がないなら、地方出身の人には、家賃補助してほしい。

- ◆ 理系と文系を比べると、文系はとても楽をしている印象を受ける。
4年で既に内定をもらい、卒論も必須ではない文系の友人を見ると、不平等感さえある。
- ◆ 自分は大学院進学→博士課程→大学内で研究員として働く、というのも一つの選択として考えているが、博士課程を卒業した時点で、それ相当の歳になっているし、それまで経済的自立ができないのがマイナスになって、あまりその道に行こうと思えなくなってしまう。
- ◆ 健康診断時など、学生が自然とカウンセリングを受ける（又は受けようと思う）機会を設けてはどうか。わざわざ相談に行くのはためらうが、ちょっと悩んでいる、というコトを気軽に相談できるといいと思う。
- ◆ 授業料を軽減してほしい。（又は、成績によって優秀者のみ軽減するなど）
- ◆ 授業に関する事ですが、パワーポイントだけに頼った授業はやめてほしいです。その類の授業は、頭に入ってくる情報量が多すぎて、あまり授業の内容が頭に残りませんし、ノートも満足にとれません。パワーポイントを使うこと自体は悪くないのですが、特に重要な部分は板書するなど、授業をわかりやすくする工夫をして欲しいです。
- ◆ 東京大学はコミュニティとして閉鎖的すぎると思う。本郷キャンパスに移って以降（後期課程）においてそれは顕著で、学外の人間とほとんど交流を持たずに過ごしている人も多いようである。色々な（立場の）人と話すというのは、それ自体非常に良いことであるから、授業の部分開放や他大学との共同研究をもっと積極的に行い、人の往來を盛んにすべきである。
- ◆ 交換留学等、交換制度の充実をはかってほしいです。
- ◆ 授業料が高すぎる。多額の黒字経営をしているのなら、授業料を下げしてほしい。地方から出て来ると家賃等多くの出費がかさみ、授業料まで、あんなに高いと生活が厳しい。

〔工学部女性〕

- ◆ 女子が入れる寮で危なくなくて、綺麗な所があれば入りたかった。白金寮は汚すぎるし、豊島は女子用のお風呂がないため、アパートを借りるしかなかった。
- ◆ 学内での短期・長期でアルバイトの様なものが増えればよい。

〔文学部男性〕

- ◆ 授業料を世帯年収による累進制度にして下さい。400万以下か以上かではなく、数段階の差によって変化するものにしてもらいたいと思います。
- ◆ 受動喫煙防止の取り組みが不十分。駒場では食堂の屋外席、本郷では安田講堂前の太い道で煙草を吸っている人がいる。門に禁煙の札を立てても効果は無いので、パトロールと取り締まりを行ってほしい。
- ◆ 進学振り分け制度について、全科類枠の導入などに

より制度自体が明瞭なものとなったのは評価できる。また、科類間の格差も縮まったといえるが、これについては一層推進して欲しい。特に理科一類と理科二類はカリキュラムもほぼ同じなので、後期課程の先生方にはそのことをよく承知していただき、理系の学科ではどちらか片方を強く優先した人数枠をとらないようにしていただきたい。

〔文学部女性〕

- ◆ 「奨学金」の返済を考えなければ、大学院に行っていたと思います。バイト等が多くて十分に学べたとはいえなかったけれど、それでも自分が選んだ専門分野での学びが大好きだったので、条件が整ってさえあれば、研究の道に進みたかったです。研究職志望者は東大にとっても多いので、そういう人たちが夢をあきらめないですむよう、更なる支援制度の拡充・創設を心から望みます。
- ◆ 国立大学の独立行政法人化からしばらく経ちましたが、現在の国立大学は何を目指しているのか、運営の手段や状況はどうなっているのか、学生に何を求め、どのように接していくのか、国際化の流れの中で世界の大学とどのような関係を築き、どのような戦略をたてていくのか。国立大学の現状について、各大学のトップがパネルディスカッションを行い、広く一般公開する機会を設けていただきたいです。
- ◆ 教科書となる書籍の貸与、もしくは割引での共同購入の制度があればいいなあと思います。
- ◆ 後期課程に進学すると、他の研究室・学部等がどのようなことを行っているかが見えにくくなります。また、他学部の授業をとろうとしても専門度が高すぎる授業も多いので、できれば他学部生のための専門授業というものを（需要の高い分野に関しては）開講していただきたいと思います。また、学内生向けに授業のpodcastが充実するといいと思います。
- ◆ キャンパス内に入ってくる車の速度制限をしっかりとって欲しいです。また、二食前のロータリーが危険です。あそこから構内に入るときにウィンカー（左折）を出すように指示すべきだと思います。いつ誰かがひかれてもおかしくないと思います。
- ・自転車やバイクに登録料をとるのはおかしいです。
- ・キャンパス内禁煙と言いつつも、所々にある喫煙所のせいで煙に遭います。文学部2号館横の喫煙所をもっと離れたところに置いて下さい。
- ・書籍部にプレイボーイなどの週刊誌が堂々と並べられていることは恥ずかしいことなはずなのに、なぜ生協はそれを止めないのですか。女性を馬鹿にしているようで不快です。
- ・教務課（女子部）の人の学生に対しての態度が少し怖いです。もう少し普通にしてほしいです。と、よく耳にします。
- ・キャンパス内でキリスト教の勧誘が多くて困ります。

- ・石畳が歩きにくいです。お年寄も来ることで、歩きやすいものにすべきだと思います。
- ◆ 法学部図書館の館外貸し出しを許可して欲しいです。
- ・某学部図書館の司書さんが、eジャーナル等のサービスについて質問してもあまり理解されていないようでしたので、各学部図書館の司書さんも東京大学図書館全体に関わることへの理解を深めて頂きたいです。
- ・事務の方が、他学部と関係があまり良くなさそうな雰囲気をかもし出すので、生徒としては困ってしまいます。
- ◆ 学内で勧誘活動を行っている宗教団体に対する調査およびとりしまりを強化して欲しいです。

〔理学部男性〕

- ◆ 統計処理の都合上仕方の無い事なのかも知れないが、紙ベースで郵送してまで選択肢の決められたアンケート調査を行うのはナンセンスであると思う。返送するか否かが本人の意思に完全に依存するのであれば、学生証番号とパスワードで個人識別されている学務システムを利用するなどの方法で、オンラインで全学生参加可能にすれば大量のデータがより速やかに集まる筈である。導入コストはかかるが、毎回の集計効率と期待回答率を考えれば調査方法を改善すべき事は明らかだ。
- ◆ 博士課程に進学した学生の進路を、各学科のwebpageに掲載してほしい。現状まとまって知ることができるのは東大新聞のみだが、くくりがたまかであり、もう少し詳しい情報がほしい。
- ◆ システムの簡素化を頑張ってください。何かをお願いする用事があるといったときに、学部の事務か学科の事務か、本部に行くべきなのかわからない事も多く、手間がかかる。
- ◆ 駒場食堂の拡大や数の増加。
- ◆ 理学部1号館の前にドトールがあり、付近のサラリーマンが多数訪れています。それ自体は構わないのですが、その脇に理学部生用の喫煙所があり、そこでタバコを吸って帰られる方が多いです。1号館を利用する学生・教員でタバコを吸う人があまりいないにも関わらず、上記の理由で正面玄関を通るたびに受動喫煙をこうむっています。喫煙所は大学関係者専用にしてもらえないでしょうか。関連して、工業者が喫煙所以外（車の脇）で休けい中にタバコを吸っていることがあるので、警備の方は見かけたら注意して下さい。
- ・ポストペイでコピーができたなら便利だと思います。
- ・理学部1号館はドコモが完全に圏外です。不便です。あと、中央食堂内にもアンテナが設置されて電波が通じると便利だと思います。
- ・また、理学部1号館、4号館、7号館のトイレにウォシュレットがほとんどありません（僕の知る限り、

男子トイレは、小柴ホール横とそのフロアの別の1箇所のみ）ぜひ増設してください。

- ◆ 家計は苦しいが、授業料免除や奨学金の制度に助けられており、これらについては評価するとともに感謝している。しかし、院については、大学生活を延長してまで残る価値があるのか、はやく就職した方がよいのではないかと、思うときがある。修士、博士が経済的・社会的に困らないメリットを感じられる制度がほしい。たとえば、生活費の支給など。生活のプライベートな面でのカウンセリング制度については、現状のまま、利用するのにしきいを下げる努力に重点をおいてほしいと思う。
- ◆ 他学部、他学科の授業の履修が、もっと多くできるようにしてほしい。
- ◆ 数理学部研究科棟に自販機及び食堂の設置を！
- ◆ 「大学院重点化」の名の下で学部教育がなおざりになっている部分があると思う。教員が学部生への教育に使える時間をもっと増やしてほしい。31番目の質問でも書いたが、東京で暮らすにはとても高い家賃を払わなければならない。大学がもっと学生寮を充実させ負担を軽減してほしい。
- ◆ 学科で、将来の進路や就職に関する説明会などを増やしてほしい。

〔農学部男性〕

- ◆ 研究や勉学がより充実して行えるように、必要な設備の導入だけでなく、不要になった設備の処分、使いにくくなった設備の交換も早めに行ってほしい。
- ◆ 設問が自宅外生向けに偏っているために回答しづらい。また、家計の収支などは平均からは見えてこないものもあるのではないだろうか。大学の授業に対する質問を多くして、授業の改善に役立てて欲しい。その際、駒場生と本郷生で項目を分けるなどの工夫を期待したい。
- ◆ 授業料が高すぎる。払える人はよいが、払うのが苦しい状況の人には免除をもっと行うべき。
- ◆ 2年以上の長期留学プログラムの拡充。
- ◆ 今、農学部の3年に在籍していて、教職の授業をとっています。駒場のときからとれる科目は全て受講してきましたが、学部の必修や実験・実習と被っており、通常の手続きでは取得できないと思われるものが2つあります。駒場において全ての講義を受けられるようにして頂ければ、と思います。

〔農学部女性〕

- ◆ 弥生キャンパスに保健センターがほしいです。あるいは学内移動用の自転車貸し出しなど。また本郷の保健センターの昼休みを学生のそれとずらして昼の間に行けるようお願いしたいです。
- ◆ 学部ごとに研究室予算に大きな格差があるので、もっと平等な振り分けをしてほしいです。
- ◆ できれば農学部の施設をもっと充実させていただけ

ると、とてもありがたいです。

- ◆ 時間割の登録 (UT-mate) がわかりづらい。就職の支援が少ない。運動会への支援が少ない。4 F 建の建物 (研究室が入っている) で 2 F にしか女子トイレがない。2 回もこの調査にあたるのは確率的におかしい。
- ◆ 文科 3 類のみ 4 学期に語学を必修にするのは、進学振り分けが自由化されたのに合わないと感じる。そのために (時間がかぶったので) 農学部 of 4 学期の講義「環境倫理」が受けられなかった。また、文学部に進学する文 3 以外の学生が語学をあまり学ばないのもよくないと感じる。

[経済学部男性]

- ◆ これだけ国際化が進んでいるので、英語教育にもっと力を入れていいと思う。留学制度も拡充して欲しい。
- ◆ マスプロ授業が多すぎるし、カリキュラムが学生のニーズに合っていない。卒業の必要な単位数が他大学に比して、かなり多いが、授業が大人数で教員との質疑応答もままならないような授業ばかりなので、単位を取得しても、まともな能力が身に付くとはとても思えない。卒業単位を減らしてでも少人数教育を充実させて、教員と学生との意思疎通がよりはかれるような体制にしてほしい。

[経済学部女性]

- ◆ 奨学金を利用したいので、より分かりやすく周知してほしい。

[教養学部 (文系) 男性]

- ◆ 勉強の方法の授業 (資料の探し方、使い方、論文・レポートの書き方など) をより充実させ厳しく行っていただけるとよいと思います。授業という形態でなくとも冊子などにまとめたり、あるいは参考文献を紹介するなどが必要だと思います。高校までと大学では勉強方法が全く異なりますが、それについての指導はほとんどないのが現状です。それに関連しますが前期課程でゼミの授業を充実して欲しいです。
- ◆ 学生の間に「どうせ何を言っても実現しない」という学校への不信感が強いように思われる。今後、学生の満足を高めるための改革を進めるならば、信頼関係の構築に努めるべきだ。そうして初めて学生との密な意見交換が可能となるように思われる。
- ◆ 東大という大学がどのような方向に向かうのかにもよりますが、個人的な意見としては、社会に貢献するために必要なことは、研究者を育てるだけではないと思います。他大以上に進路を決めるサポート (特に就職活動) を充実させ、是非社会の各方面で活躍する人材を送り出す大学を作ってほしいです。よろしくお願い致します。

[教養学部 (文系) 女性]

- ◆ 学生の生活や学業の充実に資するためとはいえ、督促をするなど、本人の意志を無視して強制的に回収しようとするのはおかしいのではないかと思います。回答の負担を減らしたり、調査に協力することの魅力を高めるなどの工夫をしてほしいです。プライバシーが守られても、回答すること自体苦痛に感じる部分もありました。

[教養学部 (理系) 女性]

- ◆ 最近いわゆるオタク的な学生や社会性の欠如した学生が多いように思う。他大学に出向くこともあるが特に東大に多いと感じる。具体的な方策が講じられるわけではないが、キャンパスに居てある種の居心地の悪さを感じる事がしばしばある。また、他大では健康診断に尿や血液が含まれていると聞いたが、東大では身長体重 X 線問診で、あまり検診の意味を為していないのではないかと。

[教育学部男性]

- ◆ 進学振り分けの基準については検討の余地が多分あると思います。教員間の「点数」に対する認識に大きな隔たりがあるのは問題ではないでしょうか。特に、二外など必修授業で生徒に教員の選択権がない場合大きな弊害を生むと思います。二外も、英 I の様に同じ言語を選択している履修者全員に同じ水準の単位認定試験を受けさせるべきだと思います。
- ◆ 〈大学への要望〉学部どうして足の引っ張り合いをするのはみっともないのですが、人文・社会科学系部局への予算配分が少ない。企業・金融機関からの出資を見込めない研究 (自然・人文・社会いずれにもあるが) にも光が当たると良い。〈調査への要望〉設問 23 の「失業の心配がない」と「雇用が安定している」とが似ている気がします。設問 21 以降に対して、就活の終了した学生がどのように答えればよいのか分からないとか、設問 28 に父母のいない家庭が考慮されているのか分からないとか色々疑問点がありますが、調査おつかれさまです。願わくばこの調査がこの大学のもっとマシな将来に役立つことを。
- ◆ ・ここで書くことではないかもしれませんが、前期課程の進振りには点数だけはやはり問題だと思います。点数ばかりを気にして安心して学習できないような気が致します (でも自分で選んだ授業は大体は有意義なものだと思いました)。
- ・今所属している学科は思ったよりも違っていました。一応、説明会には出たのですが、説明があまり詳しくなく内定してからやっとわかったことが多かったです。なので進振りの説明会をもっと充実したものにしたい方いいと思います。

・これもここで書くことではないと思いますが、前期課程で語学を特別視しすぎのような気が致します。(文三での話)。語学に時間を奪われて他の分野の学習が逆に疎かになりやすいです。

◆ 教養学部キャンパスに運動施設を充実させてほしい。グラウンド等だけでなく、せめて運動会所属部が一通り練習できる程度には。

表紙(黄緑色の紙)に「特定できないことになっています」と書かれているのですが、この言い回しだと「実は特定できてしまうけど」ということなのでしょう。

◆ 上述のことですが、工事など必要外の支出をしているならば(必要ならば是非していただければよいのですが)学生の負担が軽くなるようなご配慮を願います。駒場●●●●、もっと学生のやる気が出るような魅力ある講義を求めます。「何故学生は勉強しないのか、学生にはやる気がないのか」ではなく、「何故学生にやる気を出させてやることができないのか」、つまり学校の責務も考えてほしいと考えます。進振りで学生に将来を選ばせるならば、それができるだけの魅力ある選択肢の提示の必要があるのではないのでしょうか。

◆ 奨学金を収入としてカウントして授業料免除の計算をするのは勘弁して下さい。

片親の家庭で収入も少ないので、借りられるときに多めに借りとう、という意図で奨学金を借りたのだが、奨学金を収入としてカウントされたために授業料免除適用外になったことがある。教科書代だけでも馬鹿にならないのだから、奨学金を授業料に持っていかないでほしい。

[教育学部女性]

◆ ・事務の対応が悪い。
・教授が学部生の指導に意欲的でない。
・社会の現場で働く人材をもっと育成すべき。(研究ばかりでなく)

◆ 答えてくれた人に図書カードを渡すなどすると回収率が上がると思う。

このような実態調査(生協のもの?)で、図書カードを実際にもらえるものがあるので、それと比べると答えるのがおっくうになってしまうのは分かる。もちろん学生の4分の1という数なので中々難しいだろうが…。

◆ 国内外のボランティア活動やインターンシップを大学主催で運営または支援・斡旋するような組織を設けてほしい。

[薬学部男性]

◆ 私のように期限までに提出しない人のせいでもあるんでしょうが、提出期限から集計結果の公表までの期間が1年と長くて調査する側のやる気が感じられず、本当に調査結果が有効活用されるのか疑問に思います。

[薬学部女性]

◆ 1年生のときにもこの調査を書いた気がする。同じ人に何回もあたらないように配慮して欲しい。学費値下げ・奨学金の拡充など、学生の経済的な負担を減らして欲しい。特に修士課程生には今援助がないので、将来不安である。自転車の登録にお金を取らないでほしい。薬学部の3年生は毎日実習でつらかった。レポートがきつい。研究室に関しても、普通の生活ができるようにすべきだと思う。他学部の授業でも単位を認めてほしい。

第58回（2008年）学生生活実態調査票

I. 基本的事項について伺います。

| | | | | | | |
|-----------------------|-------------------------|----------|--------|------------|-------|--------|
| 1. 性別 | 男 | 1192 人 | 75.2 % | 女 | 373 人 | 23.5 % |
| | 無回答 | 20 | 1.3 | 合計 | 1585 | 100.0 |
| 2. 科類・学部 【1・2年生の方】 | 文Ⅰ | 125 人 | 7.9 % | 文Ⅱ | 98 人 | 6.2 % |
| | 文Ⅲ | 119 | 7.5 | 理Ⅰ | 317 | 20.0 |
| | 理Ⅱ | 155 | 9.8 | 理Ⅲ | 22 | 1.4 |
| | 法学部 | 128 | 8.1 | 経済学部 | 45 | 2.8 |
| 【3年生以上の方】 | 文学部 | 86 | 5.4 | 教育学部 | 26 | 1.6 |
| | 教養(文系) | 27 | 1.7 | 教養(理系) | 11 | 0.7 |
| | 理学部 | 80 | 5.0 | 工学部 | 200 | 12.6 |
| | 農学部 | 64 | 4.0 | 薬学部 | 24 | 1.5 |
| | 医学部 | 52 | 3.3 | | | |
| | 無回答 | 6 | 0.5 | 合計 | 1585 | 100.0 |
| | 3. あなたの出身高校は、どれに該当しますか。 | 国立(大学附属) | 159 人 | 10.0 % | 公立 | 514 人 |
| 中高一貫型の私立 | | 845 | 53.3 | その他の私立 | 45 | 2.8 |
| 高等学校卒業程度 認定試験 | | 4 | 0.3 | 外国学校 | 8 | 0.5 |
| その他 | | 3 | 0.2 | | | |
| 無回答 | | 7 | 0.5 | 合計 | 1585 | 100.0 |
| 4. 現役・浪人等 | 現役 | 1098 人 | 69.3 % | 1 浪 | 421 人 | 26.6 % |
| | 2 浪以上 | 36 | 2.3 | 学士入学 | 2 | 0.1 |
| | その他 | 17 | 1.1 | | | |
| | 無回答 | 11 | 0.6 | 合計 | 1585 | 100.0 |
| 5. 現在の学年 | 1 年 | 407 人 | 25.7 % | 2 年 | 430 人 | 27.1 % |
| | 3 年 | 341 | 21.5 | 4 年 | 366 | 23.1 |
| | 5 年(医学・獣医) | 17 | 1.1 | 6 年(医学・獣医) | 15 | 0.9 |
| | 無回答 | 9 | 0.6 | 合計 | 1585 | 100.0 |
| | 6. 入学年度 | 1999年 | 1 人 | 0.1 % | 2001年 | 3 人 |
| 2002年 | | 3 | 0.2 | 2003年 | 27 | 1.7 |
| 2004年 | | 87 | 5.5 | 2005年 | 300 | 18.9 |
| 2006年 | | 334 | 21.1 | 2007年 | 412 | 26.0 |
| 2008年 | | 396 | 25.0 | | | |
| 無回答 | | 22 | 1.3 | 合計 | 1585 | 100.0 |
| 7. 進学年度(後期課程の方のみ) | 2001年 | 1 人 | 0.1 % | 2003年 | 1 人 | 0.1 % |
| | 2004年 | 1 | 0.1 | 2005年 | 24 | 3.2 |
| | 2006年 | 71 | 9.5 | 2007年 | 298 | 40.2 |
| | 2008年 | 316 | 42.5 | | | |
| | 無回答 | 31 | 4.2 | 合計 | 743 | 100.0 |

Ⅱ. 入学・進学・学業について

| | | | | | | |
|---|----------------------|------|-----|------|------|-------|
| 8. 東大を受験する際に東大に入学することをどの程度希望していましたか。 | 東大にどうしても入りたかった | 926 | 人 | 58.4 | % | |
| | 東大がダメなら他大学でもよいと思った | 618 | | 39.0 | | |
| | 他大学がダメなら東大でもよいと思った | 31 | | 2.0 | | |
| | 無回答 | 10 | 0.6 | 合計 | 1585 | 100.0 |
| | | | | | | |
| 9. 東大入学の動機は、どれにあたりますか。 (主なものを3つまで選んでください。) | 社会的評価が高いから | 814 | 人 | 51.4 | % | |
| | スタッフ・設備が優れているから | 447 | | 28.2 | | |
| | 将来の就職を考えて | 502 | | 31.7 | | |
| | 難関を突破したかったから | 432 | | 27.3 | | |
| | 私大に比べて授業料が安いから | 658 | | 41.5 | | |
| | 東大の伝統や雰囲気に憧れて | 317 | | 20.0 | | |
| | 入学後に学部の選択が可能だから | 700 | | 44.2 | | |
| | 親・兄弟・姉妹の勧めで | 99 | | 6.2 | | |
| | 高校の先生や友人などの勧めで | 267 | | 16.8 | | |
| | その他 | 129 | | 8.1 | | |
| | 無回答 | 8 | 0.5 | 合計 | 1585 | |
| 10. 入学するときに進学する学部あるいは学科等を決めていましたか。 | 学科等まで決めていた | 371 | 人 | 23.4 | % | |
| | 学部のみを決めていた | 536 | | 33.8 | | |
| | 学部・学科等は決めていなかった | 669 | | 42.2 | | |
| | 無回答 | 9 | 0.6 | 合計 | 1585 | 100.0 |
| | | | | | | |
| 11. 学部・学科等の選択に際し、どのような点を重視しましたか(しますか)。 (主なものを2つまで選んでください。) | 最先端の学問・技術が学べること | 264 | 人 | 16.7 | % | |
| | 自分が惹きつけられた分野であること | 1265 | | 79.8 | | |
| | その学部・学科等の教員に魅力を感じること | 177 | | 11.2 | | |
| | 社会に役立つ度合いの大きい分野であること | 330 | | 20.8 | | |
| | 就職の際に企業等から高く評価されること | 142 | | 9.0 | | |
| | 就きたい職業に必要な能力を磨けること | 443 | | 27.9 | | |
| | 特に重視した(する)点はない | 83 | | 5.2 | | |
| | 無回答 | 10 | 0.6 | 合計 | 1585 | |
| 12. 進学の内定(内定)は、希望通りでしたか。 | 希望通り決定(内定)した | 938 | 人 | 80.2 | % | |
| | ほぼ希望通り決定(内定)した | 166 | | 14.2 | | |
| | 希望通りでなかった | 43 | | 3.7 | | |
| | 無回答 | 22 | 1.9 | 合計 | 1169 | 100.0 |
| | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--------------------------|-------|--------|-----------|-------|-------|---|
| 13. 現在在籍している学部・学科等（科類）に満足していますか。 | 満足している | 566 人 | 35.7 | まあ満足している | 652 人 | 41.1 | % |
| | どちらとも言えない | 198 | 12.5 | やや不満である | 94 | 5.9 | |
| | 不満である | 62 | 3.9 | | | | |
| | 無回答 | 13 | 0.9 | 合計 | 1585 | 100.0 | |
| 14. 進学振り分け制度についてどのように考えていますか。 | 特に考えていることはない | | | | 349 人 | 22.0 | % |
| | 現行のままでよい | | | | 653 | 41.2 | |
| | 入試時にもう少し細かく進路を決める制度の方がよい | | | | 134 | 8.5 | |
| | 点数以外の振り分け基準を取り入れた方がよい | | | | 318 | 20.1 | |
| | その他 | | | | 104 | 6.6 | |
| | 無回答 | 27 | 1.6 | 合計 | 1585 | 100.0 | |
| 15. 現在のカリキュラムに満足していますか。 | 満足している | 181 人 | 11.4 % | まあ満足している | 757 人 | 47.8 | % |
| | どちらとも言えない | 335 | 21.1 | やや不満である | 214 | 13.5 | |
| | 不満である | 90 | 5.7 | | | | |
| | 無回答 | 8 | 0.5 | 合計 | 1585 | 100.0 | |
| 16. 現在のカリキュラムは消化できますか。 | できる | 500 人 | 31.5 % | まあできる | 733 人 | 46.2 | % |
| | 多少困難 | 305 | 19.2 | できない | 41 | 2.6 | |
| | 無回答 | 6 | 0.5 | 合計 | 1585 | 100.0 | |
| 設問16で「多少困難」または「できない」と答えた方に伺います。 17. その理由は何にあたりますか。 (主なものを3つまで選んでください。) | 進学・卒業に必要な単位数が多過ぎる | | | | 94 人 | 27.2 | % |
| | 講義の内容が高度すぎて理解できない科目がある | | | | 168 | 48.6 | |
| | カリキュラムの組み方が不適切である | | | | 83 | 24.0 | |
| | 教育上の指導助言が十分でない | | | | 77 | 22.3 | |
| | 入試科目でないので勉強しなかった科目がある | | | | 39 | 11.3 | |
| | 高校までの勉強の仕方ではうまく適応できない | | | | 51 | 14.7 | |
| | 授業の予習と復習の時間が十分とれない | | | | 143 | 41.3 | |
| | 授業への自分の意欲や努力が足りない | | | | 142 | 41.0 | |
| | その他 | | | | 43 | 12.4 | |
| | 無回答 | 1 | 0.1 | 合計 | 346 | | |
| 18. 学部卒業後、どのような進路を予定していますか。 | 大学院に進学する | 827 人 | 52.2 % | 学士入学をする | 4 人 | 0.3 | % |
| | 就職する | 514 | 32.4 | 進学も就職もしない | 3 | 0.2 | |
| | まだ決めていない | 205 | 12.9 | 起業する | 6 | 0.4 | |
| | その他 | 19 | 1.2 | | | | |
| | 無回答 | 7 | 0.4 | 合計 | 1585 | 100.0 | |

| | | | | | | |
|--|-----------------------|----|-----|----|-------|--------|
| 設問18で「大学院に進学する」と答えた方に伺います。 19. どこまで進学を予定していますか。 | 大学院修士課程 | | | | 548 人 | 66.3 % |
| | 大学院博士課程 | | | | 200 | 24.2 |
| | 専門職学位課程 | | | | 68 | 8.2 |
| | 無回答 | 11 | 1.3 | 合計 | 827 | 100.0 |
| 設問18で「大学院に進学する」と答えた方に伺います。 20. その理由は、次のうちどれにあたりますか。 (主なものを2つまで選んでください。) | より高度の知識・技術を身に付けるため | | | | 654 人 | 79.1 % |
| | 大学の教育職に就くため | | | | 100 | 12.1 |
| | 大学外で研究職に就くため | | | | 116 | 14.0 |
| | 必要な資格を得るため | | | | 133 | 16.1 |
| | 良い就職先を得るため | | | | 183 | 22.1 |
| | まだ社会に出たくないから | | | | 121 | 14.6 |
| | 就職先が決まらないから | | | | 26 | 3.1 |
| | 周囲に勧められたから | | | | 14 | 1.7 |
| | 大学院修了ということの社会的評価が高いから | | | | 76 | 9.2 |
| | 学部での進路指導に従って | | | | 18 | 2.2 |
| | その他 | | | | 28 | 3.4 |
| | 無回答 | 1 | 0.1 | 合計 | 827 | |

Ⅲ. 就職について

| | | | | | |
|--|---------------------------------|-----|-----|------|------|
| 21. どのような職業に就きたいと思いますか。 (主なものを3つまで選んでください。) | 大学・公的機関の教育・研究職 | 595 | 人 | 37.5 | % |
| | 企業等の研究職 | 626 | | 39.5 | |
| | 技術職 | 410 | | 25.9 | |
| | 事務職 | 331 | | 20.9 | |
| | 教育職(大学を除く) | 104 | | 6.6 | |
| | 行政職(公務員) | 461 | | 29.1 | |
| | マスコミ(新聞記者、放送記者、アナウンサー、プロデューサー等) | 201 | | 12.7 | |
| | 専門職(医師、法曹、公認会計士等) | 417 | | 26.3 | |
| | その他 | 92 | | 5.8 | |
| | 無回答 | 9 | 0.6 | 合計 | 1585 |
| 22. その職業に就きたいと考えるのは、どのような理由からですか。 (主なものを3つまで選んでください。) | 人を助けたり社会に奉仕する | 705 | 人 | 44.5 | % |
| | 安定した生活が保証されている | 513 | | 32.4 | |
| | 十分な収入が期待できる | 451 | | 28.5 | |
| | 自分の特技・能力や専門知識が活かせる | 944 | | 59.6 | |
| | 華やかで、世間からもてはやされる | 33 | | 2.1 | |
| | 社会的な地位・名声が得られる | 190 | | 12.0 | |
| | 組織にしばられず、自由な活動ができる | 231 | | 14.6 | |
| | 人や組織を動かすことができる | 145 | | 9.1 | |
| | 独創性や創造性を発揮できる | 374 | | 23.6 | |
| | その他 | 85 | | 5.4 | |
| | 無回答 | 25 | 1.6 | 合計 | 1585 |

| 23. 仕事や職場を選ぶ際にどのようなことを重視しますか。 (主なものを3つまで選んでください。) | | | 人 | % |
|--|----|-----|-----|------|
| | | | | |
| 給料がよい | | | 587 | 37.0 |
| 休みをとりやすい | | | 148 | 9.3 |
| 責任が軽い | | | 28 | 1.8 |
| 失業の心配がない | | | 278 | 17.5 |
| 福利厚生が充実している | | | 199 | 12.6 |
| 出世の見込みが多い | | | 32 | 2.0 |
| 技術や知識を身につけられる | | | 264 | 16.7 |
| 権限が大きい | | | 54 | 3.4 |
| やりがいがある | | | 929 | 58.6 |
| 能力が発揮できる | | | 682 | 43.0 |
| 仕事を行う上で男女の差別がない | | | 89 | 5.6 |
| 人から評価される | | | 100 | 6.3 |
| 将来発展する見込みがある | | | 184 | 11.6 |
| 海外勤務の機会が多い | | | 46 | 2.9 |
| 転勤が少ない | | | 36 | 2.3 |
| 職場が都心のオフィス街にある | | | 18 | 1.1 |
| 職場が自然環境のよい郊外にある | | | 7 | 0.4 |
| いろいろな人と知り合える | | | 136 | 8.6 |
| オフィスが新しくきれい | | | 7 | 0.4 |
| 職場の人間関係がよい | | | 238 | 15.0 |
| 職場が近い | | | 31 | 2.0 |
| 残業が少ない | | | 54 | 3.4 |
| 雇用が安定している | | | 123 | 7.8 |
| 世界的な仕事ができる | | | 164 | 10.3 |
| 英語（外国語）を使う機会が多い | | | 26 | 1.6 |
| 公務員である | | | 47 | 3.0 |
| その他 | | | 35 | 2.2 |
| 無回答 | 16 | 1.0 | 合計 | 1585 |

| | | | | | | |
|---|-------------------------|-------|--------|----|--------|--------|
| 24. あなたはこれまで就職活動をしたことがありますか。 | ある | 308 人 | 19.4 % | ない | 1258 人 | 79.4 % |
| | 無回答 | 19 | 1.2 | 合計 | 1585 | 100.0 |
| 設問24で「ある」と答えた方に伺います。 25. 就職活動として、どのようなことをしていますか(いましたか)。 (該当するすべての項目をチェックしてください。) | インターネット等で、情報を収集する | | | | 271 人 | 88.0 % |
| | 企業等のセミナーや説明会に参加する | | | | 279 | 90.6 |
| | 就職に有利なように、大学以外の場所で勉強する | | | | 53 | 17.2 |
| | 職業資格を取るために、大学以外の場所で勉強する | | | | 38 | 12.3 |
| | その他 | | | | 27 | 8.8 |
| | 無回答 | 1 | 0.3 | 合計 | 308 | |
| 26. 就職する場所はどこを希望しますか。 | 東京圏（東京近郊）を希望する | | | | 862 人 | 54.4 % |
| | 東京圏（東京近郊）以外を希望する | | | | 23 | 1.5 |
| | 出身地に近いところを希望する | | | | 85 | 5.4 |
| | 東京圏、東京圏以外どちらでもよい | | | | 471 | 29.7 |
| | 海外を希望する | | | | 60 | 3.8 |
| | その他 | | | | 28 | 1.8 |
| | 無回答 | 56 | 3.4 | 合計 | 1585 | 100.0 |

IV. 不安・悩みについて

27.現在の学生生活の中で、次の各項目について、どの程度悩んだり不安を感じたりしていますか。

(それぞれの項目について、4段階の中から該当するものを選んでください。)

| (上段：人数、下段：%) | よく悩む | ときに悩む | あまり悩まない | 全く悩まない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|---------------|
| | 勉学(成績・単位など) | 403 25.4 | 657 41.5 | 390 24.6 | 124 7.8 | 11 0.7 |
| 学部進学や大学院進学 | 385 24.3 | 538 33.9 | 427 26.9 | 222 14.0 | 13 0.9 | 1585 100.0 |
| 就職 | 503 31.7 | 579 36.5 | 358 22.6 | 132 8.3 | 13 0.9 | 1585 100.0 |
| 将来の進路や生き方 | 734 46.3 | 573 36.2 | 216 13.6 | 51 3.2 | 11 0.7 | 1585 100.0 |
| 友人との対人関係 | 214 13.5 | 485 30.6 | 634 40.0 | 241 15.2 | 11 0.7 | 1585 100.0 |
| 教職員との対人関係 | 37 2.3 | 119 7.5 | 608 38.4 | 811 51.2 | 10 0.6 | 1585 100.0 |
| 性・異性・恋愛・結婚 | 331 20.9 | 626 39.5 | 451 28.5 | 165 10.4 | 12 0.7 | 1585 100.0 |
| 経済的なことや経済的自立 | 396 25.0 | 636 40.1 | 415 26.2 | 125 7.9 | 13 0.8 | 1585 100.0 |
| 自分の性格 | 375 23.7 | 531 33.5 | 473 29.8 | 196 12.4 | 10 0.6 | 1585 100.0 |
| 自分の体調や健康 | 181 11.4 | 426 26.9 | 622 39.2 | 343 21.6 | 13 0.9 | 1585 100.0 |
| 人生の意義・目標 | 415 26.2 | 553 34.9 | 430 27.1 | 168 10.6 | 19 1.2 | 1585 100.0 |

28.あなたは、不安や悩みを感じたとき、だれと相談したり、話し合ったりしますか。

(それぞれの項目について、4段階の中から該当するものを選んでください。)

| (上段：人数、下段：%) | よく相談する | ときどき相談する | たまに相談する | 全く相談しない | 無回答 | 合計 |
|------------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|---------------|
| | 父・母 | 241 15.2 | 425 26.8 | 543 34.3 | 363 22.9 | 13 0.8 |
| 兄弟・姉妹 | 63 4.0 | 151 9.5 | 352 22.2 | 980 61.8 | 39 2.5 | 1585 100.0 |
| なんでも相談コーナー・学生相談所 | 13 0.8 | 19 1.2 | 85 5.4 | 1452 91.6 | 16 1.0 | 1585 100.0 |
| 大学の教職員 | 9 0.6 | 35 2.2 | 228 14.4 | 1293 81.6 | 20 1.2 | 1585 100.0 |
| 大学内の同じ学科や研究室の友人 | 170 10.7 | 415 26.2 | 548 34.6 | 437 27.6 | 15 0.9 | 1585 100.0 |
| 大学内のサークルや団体の友人 | 220 13.9 | 422 26.6 | 436 27.5 | 491 31.0 | 16 1.0 | 1585 100.0 |
| 大学外の友人 | 172 10.9 | 414 26.1 | 552 34.8 | 430 27.1 | 17 1.1 | 1585 100.0 |
| 先輩 | 112 7.1 | 284 17.9 | 512 32.3 | 660 41.6 | 17 1.1 | 1585 100.0 |
| 恋人 | 189 11.9 | 195 12.3 | 218 13.8 | 931 58.7 | 52 3.3 | 1585 100.0 |

29.あなたは最近6ヶ月の間に、次の項目について、体験したり悩んだりしましたか。

(それぞれの項目について、4段階の中から該当するものを選んでください。)

| (上段：人数、下段：%) | よく体験した | ときに体験した | あまり体験しなかった | 全く相談しなかった | 無回答 | 合計 |
|---|-------------|-------------|-------------|--------------|-----------|---------------|
| 強い不安に襲われた | 311 19.6 | 519 32.7 | 368 23.2 | 379 23.9 | 8 0.6 | 1585 100.0 |
| 自分でもバカらしいと思う考えが浮かんだり、自分のすることを何度も確かめてみなければならなかった | 177 11.2 | 350 22.1 | 487 30.7 | 562 35.5 | 9 0.5 | 1585 100.0 |
| 人と話していてもとても緊張したり、不安を感じた | 186 11.7 | 453 28.6 | 496 31.3 | 440 27.8 | 10 0.6 | 1585 100.0 |
| 他人の人が自分に敵意を持っている、人から監視されていると感じた | 94 5.9 | 205 12.9 | 431 27.2 | 846 53.4 | 9 0.6 | 1585 100.0 |
| バス・地下鉄・電車などの乗り物に乗るのがこわかった | 22 1.4 | 49 3.1 | 178 11.2 | 1327 83.7 | 9 0.6 | 1585 100.0 |
| 気分が落ち込んだり、何にも興味が持てなくなった | 184 11.6 | 468 29.5 | 413 26.1 | 509 32.1 | 11 0.7 | 1585 100.0 |
| 人と一緒にいてもさびしい感じがした | 151 9.5 | 373 23.5 | 425 26.8 | 625 39.4 | 11 0.8 | 1585 100.0 |
| 体の病気でもないのに、息切れ・めまい・動悸などがした | 47 3.0 | 126 7.9 | 268 16.9 | 1134 71.5 | 10 0.7 | 1585 100.0 |
| イライラしたり、物を壊したり人を傷つけたりしたい衝動にかられた | 109 6.9 | 299 18.9 | 384 24.2 | 784 49.5 | 9 0.5 | 1585 100.0 |
| やる気がなくなり、無気力状態（アパシー）になった | 190 12.0 | 427 26.9 | 405 25.6 | 553 34.9 | 10 0.6 | 1585 100.0 |
| つつい過食してしまう傾向があった | 141 8.9 | 328 20.7 | 372 23.5 | 737 46.5 | 7 0.4 | 1585 100.0 |
| 食欲がなくなり、食べ物を口にしたくないと思った | 44 2.8 | 159 10.0 | 336 21.2 | 1035 65.3 | 11 0.7 | 1585 100.0 |

30.あなたの悩みや不安を解消するために、大学にどのような対応があればよいと思いますか。
(それぞれの項目について、4段階の中から該当するものを選んでください。)

| | 全くそ う思う | まあそ う思う | あまり そう思 わない | 全くそ う思わ ない | 無回答 | 合計 |
|-----------------------------|-------------|-------------|-------------------|------------------|-----------|---------------|
| (上段：人数、下段：%) | | | | | | |
| 学生が教員や職員と接触する機会を増やす | 124 7.8 | 503 31.7 | 571 36.0 | 375 23.7 | 12 0.8 | 1585 100.0 |
| 教務課や学生課などの事務機能を充実させる | 128 8.1 | 434 27.4 | 620 39.1 | 389 24.5 | 14 0.9 | 1585 100.0 |
| クラス担任制度やチュータ制度を充実させる | 120 7.6 | 374 23.6 | 623 39.3 | 455 28.7 | 13 0.8 | 1585 100.0 |
| 学習方法や学習内容について相談機能を充実させる | 158 10.0 | 544 34.3 | 529 33.4 | 341 21.5 | 13 0.8 | 1585 100.0 |
| 学部進学や大学院進学について相談機能を充実させる | 255 16.1 | 694 43.8 | 357 22.5 | 262 16.5 | 17 1.1 | 1585 100.0 |
| 就職指導や進路相談の機能を充実させる | 341 21.5 | 684 43.2 | 320 20.2 | 225 14.2 | 15 0.9 | 1585 100.0 |
| 健康相談や保健センターの機能を充実させる | 247 15.6 | 607 38.3 | 472 29.8 | 244 15.4 | 15 0.9 | 1585 100.0 |
| 個人的な悩みの学生相談やカウンセリング機能を充実させる | 158 10.0 | 600 37.9 | 524 33.1 | 285 18.0 | 18 1.0 | 1585 100.0 |
| 奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援を強化する | 535 33.8 | 536 33.8 | 321 20.3 | 176 11.1 | 17 1.0 | 1585 100.0 |
| 学生同士が支え合うネットワークづくりを強化する | 227 14.3 | 623 39.3 | 481 30.3 | 237 15.0 | 17 1.1 | 1585 100.0 |

V. 大学への要望

31. 大学へ特に要望したいことや期待することは何ですか。
(主なものを3つまで選んでください。)

| | | |
|-------------------------|-------|--------|
| カリキュラムの改革 | 432 人 | 27.3 % |
| 教室の充実 | 369 | 23.3 |
| 実験室や実習室の充実 | 209 | 13.2 |
| 教育スタッフの充実 | 203 | 12.8 |
| 進学振分け制度の改善 | 317 | 20.0 |
| 少人数教育の実施 | 95 | 6.0 |
| 授業の方法の工夫・改善 | 605 | 38.2 |
| 単位認定や学年試験を緩やかに | 301 | 19.0 |
| 単位認定や学年試験を厳しく | 65 | 4.1 |
| キャンパスの拡大・移転・統合 | 72 | 4.5 |
| 図書館の充実 | 325 | 20.5 |
| カウンセリング・相談体制の充実 | 64 | 4.0 |
| 学生自治に対する適切な助成と助言 | 57 | 3.6 |
| 学生自治の尊重 | 31 | 2.0 |
| 奨学金（育英資金）・育英貸付金などの拡充や増額 | 465 | 29.3 |
| 就職対策の充実 | 370 | 23.3 |
| その他 | 149 | 9.4 |
| 無回答 | 21 | 1.3 |
| 合計 | 1585 | |

| 32. 現在、大学では大学の社会的貢献を促進し、また、国際化を推進しようとしています。これらに関連して右に挙げるそれぞれの事項はどの程度重要だと思いますか。 (それぞれの項目について、5段階の中から該当するものを選んでください。) | (上段:人数、下段:%) | | 重 要 | あまり重要でない | ほとんど重要でない | 無回答 | 合計 |
|--|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|---------------|
| | 非常に重要 | かなり重要 | | | | | |
| 社会的貢献を促進するために、授業の外部開放を進める | 104 6.6 | 184 11.6 | 551 34.8 | 550 34.7 | 185 11.7 | 11 0.6 | 1585 100.0 |
| 社会的貢献を促進するために、産学協同をより推進する | 236 14.9 | 392 24.7 | 598 37.7 | 278 17.5 | 71 4.5 | 10 0.7 | 1585 100.0 |
| 社会的貢献を促進するために、直接的に社会的要請の高い研究を推進する | 137 8.6 | 277 17.5 | 560 35.3 | 438 27.6 | 162 10.2 | 11 0.8 | 1585 100.0 |
| 社会的貢献を促進するために、(むしろ)基礎研究を充実させる | 271 17.1 | 380 24.0 | 715 45.1 | 175 11.0 | 34 2.1 | 10 0.7 | 1585 100.0 |
| 研究の国際化を推進するため、研究者の交流をより積極的に進める | 474 29.9 | 530 33.4 | 467 29.5 | 80 5.0 | 24 1.5 | 10 0.7 | 1585 100.0 |
| 研究の国際化を推進するため、国際共同研究をより推奨する | 353 22.3 | 525 33.1 | 562 35.5 | 107 6.8 | 25 1.6 | 13 0.7 | 1585 100.0 |
| 教育の国際化を推進するため、日本から外国へ留学する機会をもっと拡大する | 506 31.9 | 432 27.3 | 492 31.0 | 112 7.1 | 31 2.0 | 12 0.7 | 1585 100.0 |
| 教育の国際化を推進するため、外国からの留学生をより一層受け入れる | 353 22.3 | 402 25.4 | 541 34.1 | 203 12.8 | 73 4.6 | 13 0.8 | 1585 100.0 |

VI. 家庭の状況について

33. 家庭の所在地はどこですか。

A. 地区

| | | | | | |
|-------|-------|--------|-----|-------|--------|
| 東京都 | 448 人 | 28.3 % | 関東 | 523 人 | 33.0 % |
| 北海道 | 23 | 1.5 | 東北 | 46 | 2.9 |
| 中部 | 195 | 12.3 | 近畿 | 135 | 8.5 |
| 中国 | 65 | 4.1 | 四国 | 35 | 2.2 |
| 九州・沖縄 | 102 | 6.4 | その他 | 3 | 0.2 |
| 無回答 | 10 | 0.6 | 合計 | 1,585 | 100.0 |

都市規模が不明の場合は具体的に都市名を記入してください。

B. 都市規模

| | | | | | |
|---------------|--------|--------|----|-------|-------|
| 大都市=人口100万人以上 | 651 | 41.1 % | | | |
| 中都市=人口10万人以上 | 576 | 36.3 | | | |
| 小都市=人口10万人未満 | 164 | 10.3 | | | |
| 郡部 | 61 | 3.8 | | | |
| 無回答 | 133 | 8.5 | 合計 | 1,585 | 100.0 |
| 具体的都市名 | _____市 | | | | |

34. 主たる家計支持者はだれですか。(複数回答可) 「父」または「母」と回答された方は設問35-39について回答ください。

| | | | | | |
|------------|--------|--------|------|-------|--------|
| 父 | 1443 人 | 91.0 % | 母 | 468 | 29.5 % |
| 本人 | 8 | 0.5 | 兄弟姉妹 | 10 | 0.6 |
| 祖父母 | 17 | 1.1 | 配偶者 | 3 | 0.2 |
| だれと一口にいえない | 25 | 1.6 | その他 | 3 | 0.2 |
| 無回答 | 15 | 0.9 | 合計 | 1,585 | |

**35. 家計支持者(父)の職業は
どれにあたりますか。**

※設問34で、「父、母」両方を
選択された方は、設問35～37に
についても「父」「母」
それぞれについて
回答ください。

| | | | | |
|-----------------------|---|-------|-------|----|
| 専門的、 技術的職業 | 科学研究者、技術者、医師、薬剤師、裁判官、検察官、弁護士、公認会計士、税理士、芸術家、宗教家、著述家、記者、俳優、職業スポーツ家、プログラマーなどの方 | 336 人 | 23.3 | % |
| 教育的職業 | 大学（研究所）、短大、高専の教授・助教授などの方、小・中・高校の教員（校長・副校長・教頭を含む。）、その他の教員（私塾等） | 140 | 9.7 | |
| 管理的職業 | 会社役員、課長以上の会社員、課長以上の公務員などの方 | 610 | 42.3 | |
| 事務 | 一般事務（管理的職業を除く）の方 | 116 | 8.0 | |
| 販売 | 小売店主、卸売店主、飲食店主、行商人、保険代理人、販売店員などの方 | 36 | 2.5 | |
| 農・林・漁業 | | 11 | 0.8 | |
| 生産工程・ 採掘作業 | 金属工業、機械工業、繊維工業などの工程従事者の方、洋服仕立職、大工、印刷工、菓子製造工などの方、建設作業員、倉庫作業員、運搬作業員、配達作業員などの方、採掘作業員の方 | 46 | 3.2 | |
| 運輸・通 信・保安・ サービス | 鉄道・自動車の運転手、車掌、船舶乗組員、無線通信士、電話交換手などの方自衛官、警察官、消防士、守衛などの方、理容師、美容師、料理人、クリーニング職、給仕、下宿・アパート等の管理人、清掃員などの方 | 67 | 4.6 | |
| 無職 | 不動産収入・金利・年金生活者などを含む。 | 22 | 1.5 | |
| その他 | | 20 | 1.4 | |
| 無回答 | | 39 | 2.7 | 合計 |
| | | 1443 | 100.0 | |

35. 家計支持者（母）の職業はどれにあたりますか。

※設問34で、「父、母」両方を
選択された方は、設問35～37に
についても「父」「母」
それぞれについて
回答ください。

| | | | | |
|-----------------------|---|------|-------|----|
| 専門的、技 術的職業 | 科学研究者、技術者、医師、薬剤師、裁判官、検察官、弁護士、公 認会計士、税理士、芸術家、宗教家、著述家、記者、俳優、職業ス ポーツ家、プログラマーなどの方 | 94 人 | 20.1 | % |
| 教育的職業 | 大学（研究所）、短大、高専の教授・助教授などの方、小・中・高 校の教員（校長・副校長・教頭を含む。）、その他の教員（私塾 等） | 110 | 23.5 | |
| 管理的職業 | 会社役員、課長以上の会社員、課長以上の公務員などの方 | 18 | 3.8 | |
| 事務 | 一般事務（管理的職業を除く）の方 | 112 | 23.9 | |
| 販売 | 小売店主、卸売店主、飲食店主、行商人、保険代理人、販売店員な どの方 | 27 | 5.8 | |
| 農・林・漁業 | | 4 | 0.9 | |
| 生産工程・ 採掘作業 | 金属工業、機械工業、繊維工業などの工程従事者の方、洋服仕立 職、大工、印刷工、菓子製造工などの方、建設作業員、倉庫作業 員、運搬作業員、配達作業員などの方、採掘作業員の方 | 12 | 2.6 | |
| 運輸・通 信・保安・ サービス | 鉄道・自動車の運転手、車掌、船舶乗組員、無線通信士、電話交換 手などの方自衛官、警察官、消防士、守衛などの方、理容師、美容 師、料理人、クリーニング職、給仕、下宿・アパート等の管理人、 清掃員などの方 | 39 | 8.3 | |
| 無職 | 不動産収入・金利・年金生活者などを含む。 | 17 | 3.6 | |
| その他 | | 23 | 4.9 | |
| 無回答 | | 12 | 2.6 | 合計 |
| | | 468 | 100.0 | |

| | | | | | |
|---|--|-----|------|------|------------|
| 36. 家計支持者(父)の勤務先 (設問35の職業分類)の規模 はどれにあたりますか。 | A. 職業が「教育的職業」以外の方は次の中から選んでください。 | | | | |
| | 従業員が1,000人以上の企業及び官公庁 | 545 | 人 | 37.8 | % |
| | ” 100人以上1,000人未満の企業 | 280 | | 19.4 | |
| | ” 10人以上100人未満の企業 | 190 | | 13.2 | |
| | ” 10人未満の企業 | 158 | | 10.9 | |
| | B. 職業が「教育的職業」の方は次の中から選んでください。 | | | | |
| | 大学(研究所)、短大、高専の教授・助教授 | 64 | | 4.4 | |
| | 小・中・高校の校長・教頭 | 20 | | 1.4 | |
| | 上記以外の教員 | 52 | | 3.6 | |
| | 無回答 | 134 | 9.3 | 合計 | 1443 100.0 |
| 36. 家計支持者(母)の勤務先 (設問35の職業分類)の規模 はどれにあたりますか。 | A. 職業が「教育的職業」以外の方は次の中から選んでください。 | | | | |
| | 従業員が1,000人以上の企業及び官公庁 | 58 | 人 | 12.4 | % |
| | ” 100人以上1,000人未満の企業 | 62 | | 13.2 | |
| | ” 10人以上100人未満の企業 | 105 | | 22.4 | |
| | ” 10人未満の企業 | 68 | | 14.5 | |
| | B. 職業が「教育的職業」の方は次の中から選んでください。 | | | | |
| | 大学(研究所)、短大、高専の教授・助教授 | 12 | | 2.6 | |
| | 小・中・高校の校長・教頭 | 4 | | 0.9 | |
| | 上記以外の教員 | 93 | | 19.9 | |
| | 無回答 | 66 | 14.1 | 合計 | 468 100.0 |
| 37. 家計支持者(父)の雇用 形態は大きく分けてどれ にあたりますか。 | 自分1人 (だれにも雇用されていない、まただれも 雇用していない。) | 70 | 人 | 4.9 | % |
| | 民間企業に勤務(民間企業・団体の職員等) | 844 | | 58.5 | |
| | 官公庁に勤務(国・自治体、公共企業体の職員等) | 283 | | 19.6 | |
| | 経営者・役員又は人を雇用している | 183 | | 12.7 | |
| | 無回答 | 63 | 4.4 | 合計 | 1443 100.0 |

| | | | | |
|---|---|-------|-------|----|
| 37. 家計支持者(母)の雇用形態は大きく分けてどれにあたりますか。 | 自分1人 (だれにも雇用されていない、 まただれも雇用していない。) | 30 人 | 6.4 | % |
| | 民間企業に勤務(民間企業・団体の職員等) | 262 | 56.0 | |
| | 官公庁に勤務(国・自治体、公共企業体の職員等) | 111 | 23.7 | |
| | 経営者・役員又は人を雇用している | 31 | 6.6 | |
| | 無回答 | 34 | 7.3 | 合計 |
| | | 468 | 100.0 | |
| 38. あなたの生活を支えている家族の世帯年収(税込み)はどれくらいですか。 (ボーナスも含めてください。) | 年収を単位「十万円」で記入してください。 (平均値、十万円未満四捨五入して記入) | 848 人 | 118.8 | 十万 |
| | わからない | 699 人 | | |
| | 無回答 | 38 | 2.4 | 合計 |
| | | 1585 | 100.0 | |

VII. 生活費の状況について

39. 右の各欄に金額を記入してください。

(最近3ヶ月の実績から、平均1ヶ月の収支額を記入してください。)

1ヶ月の支出額を単位「千円」で記入してください。

(注)

食費

自宅生は外食代(費)を記入する。

住居費

自宅外生のみ記入する。

勉学費

勉学に必要な書籍代、実習材料費、文房具代、実習旅費等(授業料等の学校納付金を除く。)

教養・娯楽費

教養・娯楽費のための書籍代、サークルの支出、勉学以外の旅行の費用、交友費、スポーツ代、映画・演劇・音楽会の入場料等。

雑費

理・美容代、タバコ代、化粧品代、ガソリン代、電話代、医療費、水・光熱費等。

| | | |
|--------------|--------|---------|
| 衣料費 | 1490 人 | 8.57 千円 |
| 食費 | 1507 | 23.85 |
| 住居費 | 800 | 62.68 |
| 勉学費 | 1493 | 7.76 |
| 教養・娯楽費 | 1497 | 14.69 |
| 通学費 | 1491 | 6.66 |
| 雑費 | 1482 | 11.17 |
| 支出額合計 | 1498 | 101.10 |

家庭からの仕送り・小遣い
親・兄弟・親類等からの
仕送り。

1ヶ月の収入額を単位「千円」で記入してください。

| | | | | |
|--------------|------|---|--------|----|
| 家庭からの仕送り・小遣い | 1497 | 人 | 59.96 | 千円 |
| 奨学金 | 1262 | | 15.64 | |
| アルバイト・雑収入 | 1454 | | 33.14 | |
| 収入額合計 | 1479 | | 102.65 | |

40. 授業料はどのように負担
していますか。

| | | | | |
|-----------|------|-----|------|------------|
| 家庭からの仕送り | 1324 | 人 | 83.5 | % |
| 奨学金 | 68 | | 4.3 | |
| アルバイト・雑収入 | 8 | | 0.5 | |
| 授業料免除 | 81 | | 5.1 | |
| その他 | 26 | | 1.6 | |
| 無回答 | 78 | 5.0 | 合計 | 1585 100.0 |

Ⅷ. 通学・住居について

| | | | | | | | | |
|-------------------|---------------------------|-----|-----|----|------|-------|------|---|
| 41. 現在どこに住んでいますか。 | 足立・葛飾・荒川 | | | | 44 人 | 2.8 | % | |
| | 江戸川・江東・墨田 | | | | 26 | 1.6 | | |
| | 台東・文京・豊島 | | | | 292 | 18.4 | | |
| | 千代田・中央・港 | | | | 29 | 1.8 | | |
| | 板橋・練馬・北 | | | | 106 | 6.7 | | |
| | 中野・杉並・新宿 | | | | 151 | 9.5 | | |
| | 世田谷・渋谷・目黒 | | | | 227 | 14.3 | | |
| | 品川・大田 | | | | 28 | 1.8 | | |
| | 東京都（23区外） | | | | 227 | 14.3 | | |
| | 横浜市 | | | | 135 | 8.5 | | |
| | 川崎市 | | | | 51 | 3.2 | | |
| | 神奈川県（「横浜市」「川崎市」を除く） | | | | 51 | 3.2 | | |
| | さいたま・川口・蕨の各市 | | | | 40 | 2.5 | | |
| | 埼玉県（「さいたま・川口・蕨の各市」を除く） | | | | 48 | 3.0 | | |
| | 千葉・船橋・市川・習志野の各市 | | | | 42 | 2.6 | | |
| | 千葉県（「千葉・船橋・市川・習志野の各市」を除く） | | | | 54 | 3.4 | | |
| | その他の県 | | | | 20 | 1.3 | | |
| | 無回答 | 14 | 1.1 | 合計 | 1585 | 100.0 | | |
| | 42. 居住形態はどれにあたりますか。 | 自宅 | | | | 825 人 | 52.1 | % |
| | | 自宅外 | | | | 751 | 47.4 | |
| 無回答 | | 9 | 0.5 | 合計 | 1585 | 100.0 | | |

| | | | | | | | |
|--|-----------------------------|----|-----|----|--------|-------|---|
| <p>自宅外の方に伺います。 43. 現在住んでいる住居の区分はどれにあたりますか。</p> | 分譲マンション | | | | 20 人 | 2.7 | % |
| | 賃貸マンション・アパート（バスつき） | | | | 512 | 68.2 | |
| | アパート（バスなし）・下宿 | | | | 55 | 7.3 | |
| | 豊島学寮・白金学寮・豊島国際学生宿舎・三鷹国際学生宿舎 | | | | 70 | 9.3 | |
| | その他の寮 | | | | 80 | 10.7 | |
| | その他 | | | | 6 | 0.8 | |
| | 無回答 | 8 | 1.0 | 合計 | 751 | 100.0 | |
| <p>44. 学寮・学生宿舎等を作れば、あなたは入居しますか</p> | する | | | | 216 人 | 13.6 | % |
| | しない | | | | 548 | 34.6 | |
| | 入居費による | | | | 560 | 35.3 | |
| | わからない | | | | 231 | 14.6 | |
| | 無回答 | 30 | 1.9 | 合計 | 1585 | 100.0 | |
| <p>45. あなたが通学に利用している交通機関を記入してください。 <small>（移動時間の多いものを1つ選んでください。）</small></p> | 電車 | | | | 1183 人 | 74.6 | % |
| | バス | | | | 5 | 0.3 | |
| | 自家用車 | | | | 2 | 0.1 | |
| | バイク | | | | 9 | 0.6 | |
| | 自転車 | | | | 264 | 16.7 | |
| | 徒歩のみ | | | | 63 | 4.0 | |
| | その他 | | | | 1 | 0.1 | |
| | 無回答 | 58 | 3.7 | 合計 | 1585 | 100.0 | |
| <p>46. 片道の通学所要時間はどれくらいですか。 <small>（分単位で記入してください。）</small></p> | 所要時間 | | | | 1565 人 | 49.3 | 分 |

Ⅸ. 奨学金について

| | | | | | |
|--|------------------------|-------|------|----|------|
| 47. 日本学生支援機構又は他の団体から定期的に奨学金を受けていますか。 | 受けている | 345 人 | 21.8 | % | |
| | 受けたいが受けられなかった | 229 | 14.4 | | |
| | 受けたくない | 79 | 5.0 | | |
| | 受ける必要がない | 915 | 57.7 | | |
| | 無回答 | 17 | 1.1 | 合計 | 1585 |
| 設問47で「受けたいが受けられなかった」または「受けたくない」と答えた方に伺います。 48. その理由はどれに当たりますか。 | 出願はしたが採用されなかった | 28 人 | 9.1 | % | |
| | 書類を期限までに整えられなかった | 16 | 5.2 | | |
| | 貸与なので申請しなかった | 108 | 35.1 | | |
| | 事務手続きが煩雑だから | 39 | 12.7 | | |
| | 掲示等に気がつかなかった | 16 | 5.2 | | |
| | 資格がない | 74 | 24.0 | | |
| | その他 | 14 | 4.5 | | |
| | 無回答 | 13 | 4.2 | 合計 | 308 |
| 設問48で「書類を期限までに整えられなかった」または「貸与なので申請しなかった」と答えた方に伺います。 49. これから受けたいと思いますか。 | 受けたい | 58 人 | 46.8 | % | |
| | 受けたくない | 51 | 41.1 | | |
| | 無回答 | 15 | 12.1 | 合計 | 124 |
| 奨学金を受けている方に伺います。50～52までお答えください。 50. どの奨学金を受けていますか。 (複数回答) | 日本学生支援機構第一種奨学金（無利息奨学金） | 180 人 | 52.2 | % | |
| | 日本学生支援機構第二種奨学金（利息付奨学金） | 146 | 42.3 | | |
| | 公益法人等・地方公共団体等の奨学金 | 78 | 22.6 | | |
| | 無回答 | 1 | 0.3 | 合計 | 345 |

| | | | | |
|--|--------------------|-------|------|----|
| 51. 奨学金はどんな面で役に立っていますか。 (主なものを2つまで選んでください。) | 家庭の経済的負担が軽減される | 253 人 | 73.3 | % |
| | 多少ともゆとりのある生活ができる | 90 | 26.1 | |
| | アルバイトが軽減される | 55 | 15.9 | |
| | 奨学金があるので生活が成り立っている | 132 | 38.3 | |
| | 定期的な収入になるので助かる | 66 | 19.1 | |
| | その他 | 5 | 1.4 | |
| | 無回答 | 2 | 0.6 | 合計 |
| 52. 奨学金の主たる支出目的(用途)はどれにあたりますか。 (主なものを3つまで選んでください。) | 生活費(衣・食・住居費) | 265 人 | 76.8 | % |
| | 授業料 | 110 | 31.9 | |
| | 教養・勉学費 | 153 | 44.3 | |
| | 娯楽費 | 83 | 24.1 | |
| | 旅行(帰省旅行も含む) | 15 | 4.3 | |
| | 技術・資格等取得の費用 | 12 | 3.5 | |
| | 預貯金 | 57 | 16.5 | |
| | その他 | 7 | 2.0 | |
| | 無回答 | 2 | 0.6 | 合計 |

X. アルバイトについて

| | | | | | |
|---|---------------------------------|---------|---------|----|------|
| 53. 過去一年間にアルバイトをしましたか。 「しなかった」を選んだ方は設問60に進んでください。 | 継続的（1ヶ月以上）アルバイトをした | 861 人 | 54.3 % | | |
| | 臨時（1ヶ月未満）アルバイトをした | 133 | 8.4 | | |
| | 継続的+臨時アルバイトをした | 279 | 17.6 | | |
| | しなかった | 298 | 18.8 | | |
| | 無回答 | 14 | 0.9 | 合計 | 1585 |
| 54. そのアルバイトの種類はどれにあたりますか。 （主なものを2つまで選んでください。） | 家庭教師 | 466 人 | 36.6 % | | |
| | 塾講師 | 482 | 37.9 | | |
| | 試験監督・採点 | 220 | 17.3 | | |
| | 特殊技能（翻訳、通訳、プログラミング等）を要すること | 57 | 4.5 | | |
| | 一般事務 | 135 | 10.6 | | |
| | 販売・セールス・サービス業 | 348 | 27.3 | | |
| | 肉体労働 | 115 | 9.0 | | |
| | 宿直・警備 | 51 | 4.0 | | |
| | その他 | 89 | 7.0 | | |
| | 無回答 | 10 | 0.8 | 合計 | 1273 |
| 55. アルバイトに費やす時間と収入額はどれくらいでしたか。 | A. 時間 | 1252 人 | 11.2 時間 | | |
| | （往復時間を含め、一週間当たりの平均時間を記入してください。） | | | | |
| B. 収入額 | 1252 人 | 47.0 千円 | | | |
| （アルバイトをした期間について1ヶ月当たりの平均額を単位「千円」で記入してください。） | | | | | |

| | | | | |
|--|----------------------|-------|------|----|
| 56. アルバイトの紹介者は誰でしたか。 (主なものを2つまで選んでください。) | 大学の担当事務 | 124 人 | 9.7 | % |
| | 研究室 (指導教員も含む) | 16 | 1.3 | |
| | 日本学生支援機構 (旧内外学生センター) | 7 | 0.5 | |
| | 新聞広告・アルバイト広告誌 | 166 | 13.0 | |
| | インターネット | 454 | 35.7 | |
| | 友人・知人等 | 476 | 37.4 | |
| | アルバイト先と直接 | 343 | 26.9 | |
| | スーパー・銀行等の伝言板 | 4 | 0.3 | |
| | その他 | 62 | 4.9 | |
| | 無回答 | 17 | 1.3 | 合計 |
| 57. アルバイトをした理由はどれにありましたか。 (主なものを1つ選んでください。) | 生活費を稼ぐため | 417 人 | 32.8 | % |
| | 勉学費を稼ぐため | 13 | 1.0 | |
| | 学生生活を楽しむため | 413 | 32.4 | |
| | 社会経験のため | 308 | 24.2 | |
| | その他 | 57 | 4.5 | |
| | 無回答 | 65 | 5.1 | 合計 |
| 58. アルバイトの収入は何に使っていましたか。 (主なものを2つまで選んでください。) | 生活費(衣・食・住居費) | 582 人 | 45.7 | % |
| | 授業料 | 14 | 1.1 | |
| | 教養・勉学費 | 186 | 14.6 | |
| | 娯楽費 | 806 | 63.3 | |
| | 旅行 (帰省旅行も含む) | 194 | 15.2 | |
| | 技術・資格等取得の費用 | 26 | 2.0 | |
| | 預貯金 | 372 | 29.2 | |
| | その他 | 29 | 2.3 | |
| | 無回答 | 11 | 0.9 | 合計 |

| | | | | | | | |
|--|-----------------|----|-----|----|-------|-------|---|
| 設問53で「継続的にアルバイトをした」または「継続的+臨時アルバイトをした」と答えた方に伺います。 59. 継続的アルバイトは勉学の妨げになりませんか（でした）か。 | かなり妨げになる（なった） | | | | 103 人 | 9.0 | % |
| | 多少妨げになる（なった） | | | | 542 | 47.5 | |
| | 妨げにならない（ならなかった） | | | | 483 | 42.4 | |
| | 無回答 | 12 | 1.1 | 合計 | 1140 | 100.0 | |
| 60. 現在の暮らし向きについてどうお考えですか。 | かなり楽な方 | | | | 389 人 | 24.5 | % |
| | やや楽な方 | | | | 348 | 22.0 | |
| | 普通 | | | | 484 | 30.5 | |
| | やや苦しい方 | | | | 210 | 13.2 | |
| | 大変苦しい方 | | | | 48 | 3.0 | |
| | 分からない | | | | 12 | 0.8 | |
| | 無回答 | 94 | 6.0 | 合計 | 1585 | 100.0 | |
| 61. 設問58預貯金と答えた方に伺います預貯金の目的はどれですか。 | 将来の生活費（衣・食・住居費） | | | | 157 人 | 42.2 | % |
| | 将来の勉学費 | | | | 71 | 19.1 | |
| | 教養・娯楽費 | | | | 95 | 25.5 | |
| | その他 | | | | 33 | 8.9 | |
| | 無回答 | 16 | 4.3 | 合計 | 372 | 100.0 | |

X I . サークル活動について

| | | | | |
|--|---------------------|--------|------|------|
| 62. あなたは、学内外のサークルに入っていますか(いましたか)。 「入ったことがない」を選んだ方は質問68に進んでください。 | 入っている | 1053 人 | 66.4 | % |
| | 入っていた | 331 | 20.9 | |
| | 入ったことがない | 188 | 11.9 | |
| | 無回答 | 13 | 0.8 | 合計 |
| 設問62で「入っている」または「入っていた」と答えた方に伺います 63. そのサークルはどんなサークルですか(でしたか)。 (主なものを3つまで選んでください。) | 東大運動会加入の運動部 | 319 人 | 23.0 | % |
| | スポーツ同好会 | 536 | 38.7 | |
| | 学術的なサークル | 142 | 10.3 | |
| | 芸術・趣味のサークル | 532 | 38.4 | |
| | 宗教関係のサークル | 5 | 0.4 | |
| | 事業団体(出版・厚生など) | 26 | 1.9 | |
| | 社会的活動を行うサークル | 82 | 5.9 | |
| | 純粋な親睦そのものを目的とするサークル | 25 | 1.8 | |
| | その他 | 25 | 1.8 | |
| | 無回答 | 9 | 0.7 | 合計 |
| | | | | 1384 |

| | | | | | |
|---|-------------------------|-------|--------|----|------------|
| 64. サークルに入った目的は何ですか (主たるものを3つまで 選んでください。) | 活動内容そのものをやりたい | 1097人 | 79.3% | | |
| | 知識・技能を得たい | 219 | 15.8 | | |
| | 社会性を得たい | 188 | 13.6 | | |
| | 精神生活を豊かにし人間性を磨きたい | 229 | 16.5 | | |
| | 体力をつけ健康を増進させたい | 301 | 21.7 | | |
| | 友人を得たい | 811 | 58.6 | | |
| | 異性と交際する機会を持ちたい | 117 | 8.5 | | |
| | 将来(就職など)に有利 | 35 | 2.5 | | |
| | サークルに入ると大学での居場所ができる | 389 | 28.1 | | |
| | リーダーシップを身につけたい | 25 | 1.8 | | |
| | 純粋・真剣に人生を考えたい | 20 | 1.4 | | |
| | その他 | 25 | 1.8 | | |
| | 無回答 | 10 | 0.7 | 合計 | 1384 |
| 65. サークルに入って満足していますか (いましたか)。 | 満足 | 741人 | 53.5% | | |
| | どちらかといえば満足 | 465 | 33.6 | | |
| | どちらかという不満 | 110 | 7.9 | | |
| | 不満 | 67 | 4.8 | | |
| | 無回答 | 1 | 0.1 | 合計 | 1384 100.0 |
| 66. サークル活動に要する時間 及び費用はどれ位ですか (でしたか)。 | A. サークル活動時間 | 1358人 | 11.1時間 | | |
| | (1週間当たりの平均時間を記入してください。) | | | | |
| | B. サークル活動の費用 | 1242人 | 10.7千円 | | |
| | (1ヶ月当たりの平均額を記入してください。) | | | | |

| | | | | | |
|--|---------------------------|-----|------|----|-----|
| 設問62で「入っていた」と答えた方に伺います。 67. サークルをやめた理由はどれに当たりますか。 (主なものを2つまで選んでください。) | 活動に興味を失った | 71人 | 21.5 | % | |
| | 体力的に苦しい | 37 | 11.2 | | |
| | 能力が足りない | 31 | 9.4 | | |
| | 学業と両立しない | 99 | 29.9 | | |
| | 就職活動で忙しい | 14 | 4.2 | | |
| | 出費が多い | 39 | 11.8 | | |
| | 家族の反対 | 6 | 1.8 | | |
| | 人間関係の不和 | 49 | 14.8 | | |
| | 運営が非民主的 | 6 | 1.8 | | |
| | サークルの方針に不満 | 46 | 13.9 | | |
| | 指導者に不満 | 13 | 3.9 | | |
| | その他 | 102 | 30.8 | | |
| | 無回答 | 11 | 3.3 | 合計 | 331 |
| 設問62で「入ったことがない」と答えた方に伺います。 68. サークルに入らない理由はどれに当たりますか。 (主なものを2つまで選んでください。) | 学業と両立しない | 41人 | 21.8 | % | |
| | アルバイトが忙しくて時間が足りない | 17 | 9.0 | | |
| | 授業だけで満足しており、サークルの必要性を認めない | 16 | 8.5 | | |
| | 個人的にできる趣味・娯楽で満足だ | 62 | 33.0 | | |
| | 入りたいと思うサークルがない | 56 | 29.8 | | |
| | 人間関係が煩わしい | 45 | 23.9 | | |
| | サークルに入る経済的な負担が心配である | 23 | 12.2 | | |
| | 入りたいと思っているが参加の機会がない | 23 | 12.2 | | |
| | 入って何かをしたいと考えたことがない | 21 | 11.2 | | |
| | その他 | 16 | 8.5 | | |
| | 無回答 | 4 | 2.1 | 合計 | 188 |

※学生生活実態調査は、本年（2009年）も引続き行っています。

2009年

第59回

東京大学
学生生活
実態調査

とどけえ!

私たちの声



- ◎ 授業方法の工夫・改善
- ◎ 図書館機能の充実
- ◎ 奨学金の充実
- ◎ 就職支援の充実
- ◎ カリキュラムの改革
- ◎ 課外活動施設・福利厚生施設の充実

締め切り:2009年12月18日(金)

大学側のおよそ1/4に調査票が送られます。

マークシート方式

学生生活委員会学生生活調査室

平成21年11月現在

| | |
|-------|--------------------------|
| 調査室長 | 下山晴彦（大学院教育学研究科・教育学部） |
| 副調査室長 | 山口勸（大学院人文社会系研究科・文学部） |
| 室員 | 高原明生（大学院法学政治学研究科・法学部） |
| ◇ | 上別府圭子（大学院医学系研究科・医学部） |
| ◇ | 前田康二（大学院工学系研究科・工学部） |
| ◇ | 青木健一（大学院理学系研究科・理学部） |
| ◇ | 高橋伸一郎（大学院農学生命科学研究科・農学部） |
| ◇ | 柳川範之（大学院経済学研究科・経済学部） |
| ◇ | 竹村文彦（大学院総合文化研究科・教養学部） |
| ◇ | 金井求（大学院薬学系研究科・薬学部） |
| ◇ | 佐々木司（学生相談ネットワーク本部） |
| ◇ | 矢野由美（本部統括長（教育・学生支援系）） |
| ◇ | 関根弘（本部学務グループ長（教育・学生支援系）） |

調査集計担当 本部学務グループ学生総務チーム（教育・学生支援系）

◆ 表紙写真 ◆

- 左 上 パレードの出発を待つ東大応援部
（消防署前通りから本郷通りに入り、正門まで行進した。）
 - 左 下 工学部1号館前・パレード後のセレモニー
（東大応援部主将へ各大学が意気込みを伝える）
 - 右 イベント終了後夕映えの中、七大学応援部主将揃っての記念撮影
- ※ 本学が主管校となって開催した、第48回全国七大学総合体育大会において、8月3日（月）午後から、七大学応援部による公道パレードが盛大に行われた。

この「学内広報」の記事を転載・引用する場合には、事前に広報委員会の了承を得、掲載した刊行物若干部を広報委員会までお送りください。なお、記事についての問い合わせ及び意見の申し入れは、本部広報グループを通じて行ってください。

No.1393 2009年12月4日

東京大学広報委員会

〒113-8654

東京都文京区本郷7丁目3番1号

東京大学本部広報グループ

TEL：03-3811-3393

e-mail：kouhou@ml.adm.u-tokyo.ac.jp

<http://www.u-tokyo.ac.jp>